

MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2
ユーザーズマニュアル[1/2]
～プリンタの取り扱い～

このユーザーズマニュアル[1/2]は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

プリンタを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアル[1/2]の指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアル[1/2]には装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアル[1/2]ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。




指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の三種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。



	△記号は注意を怠ると、危険が発生するおそれがあることを示します。記号内の絵表示は危険の内容を図案化したものです。(注意の喚起)		(感電注意)
	⊘記号は行為の禁止を表します。記号内や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。(行為の禁止)		(接触禁止)
	●記号は行為の強制を表します。記号内の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。(行為の強制)		(プラグを抜け)

ユーザズマニュアルおよび 警告ラベルで使用する記号とその内容


注意の喚起

	指示を守らないと、毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、感電のおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指示を守らないと火傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、発煙または発火のおそれがあることを示します。		指示を守らないと、指などがはさまれるおそれがあることを示します。

行為の禁止

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります。
--	---------------------------------------	--	--

行為の強制

	プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
---	---

商標について

NMPS、PrintAgentは日本電気株式会社の商標です。

Microsoftとそのロゴ、およびWindows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1、Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。

Windows NT3.5/3.51/4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version3.5/3.51/4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version3.5/3.51/4.0の略です。

i486は米国Intel Corporationの商標です。

HP 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

NetWare、IntranetWareは米国Novell, Incの登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickDraw、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXオペレーティングシステムはX/Open Company, Ltd.がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

TranXitはPuma Technology, Incの登録商標です。

AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated社（アドビシステムズ社）の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2
ユーザーズマニュアル[1/2]
～プリンタの取り扱い～



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 2200X2、MultiWriter 2200XE、MultiWriter2000X2は新しい高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンタです。

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただけるNMPS(NEC MultiWriter Printing System)ソフトウェアを採用しています。このNMPSの機能により、プリンタの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピュータ側から行うことができます。

2200X2/2200XE/2000X2にはプリンタの付属品として、2種類のマニュアルとCD-ROMが添付されています。(枠内が本書です。)



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2 ユーザーズマニュアル[1/2]

～プリンタの取り扱い～

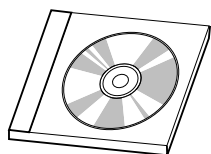
プリンタを箱から取り出し、設置し、印刷できるようにコンピュータを準備するまでの手順やオプションについて、および日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法を説明しています。



MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2 ユーザーズマニュアル[2/2]

～NMPSソフトウェアの使い方～

NMPSソフトウェアのインストールおよびその使い方をOS別に説明しています。



プリンタソフトウェアCD-ROM

プリンタドライバをはじめ、MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使われるNMPSソフトウェアが収録されています。また、メニューモードについての詳しい説明や、印刷範囲、その他の技術情報について説明しています。詳細については「プリンタソフトウェアCD-ROMについて」(15ページ)をご覧ください。

2200X2/2200XE/2000X2の特長

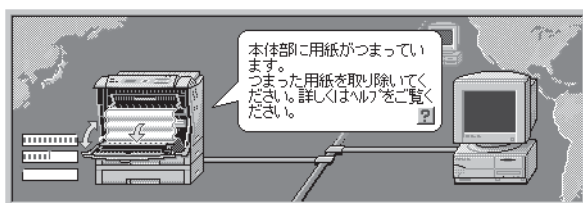
● 快適高速印刷

新たに開発した20ppm(2200X2、2200XE)/12ppm(2000X2)エンジンを採用するとともに、コントローラには64bit CPUを搭載し、従来のプリンタに比べて、より高速な印刷を実現しています。また、NPD (Level 2) を拡張しWindowsに対する適応性を高めた印刷システム、NMPS (NEC MultiWriter Printing System) を採用することにより、印刷時のコンピュータ側、プリンタ側の変換処理を大幅に軽減しました。同時にコンピュータ本体とプリンタの処理の分担の最適化を図り、コンピュータ上での印刷開始からプリンタの印刷終了までトータルでの時間短縮を実現しました。

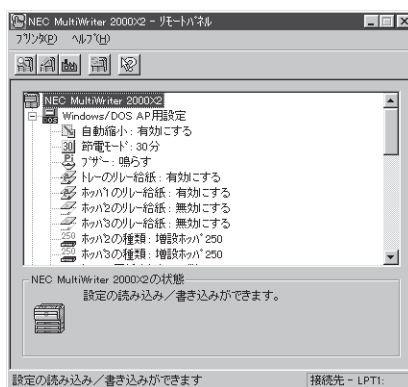
NMPSはNPDの拡張によって実現されています。したがって、従来のNPD (Level 2) 対応プリンタと同様にお使いいただけます。

● PrintAgentによる一歩進んだ使いやすさ

PrintAgentを使用すると、コンピュータの画面や音声によりプリンタの状態(用紙切れ、カバーオープンなど)や印刷の進行状況を確認することができます(プリンタステータスウィンドウ)。またプリンタの各種設定も以下のようにコンピュータの画面上で行うことができます(リモートパネル)。

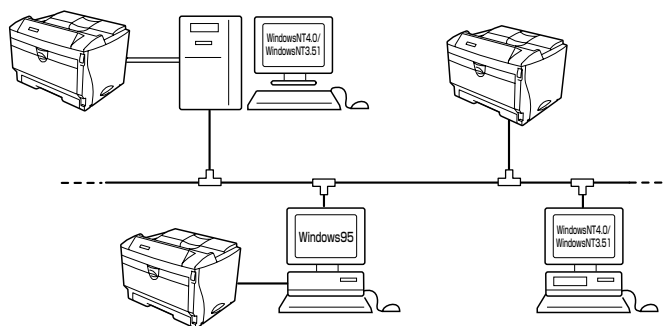


これらPrintAgentによるプリンタの状態確認やプリンタの設定機能は、ネットワーク上のプリンタであっても区別なく使用することができます。PrintAgentの対応環境についてはユーザーズマニュアル[2/2] (3ページ)をご覧ください。



● 各種ネットワークOSに対応*1

PrintAgentによるプリンタの状態確認やプリンタの設定機能は、ネットワーク上のプリンタであっても区別なく使用することができます。PrintAgentの対応環境についてはユーザーズマニュアル[2/2] (3ページ)をご覧ください。



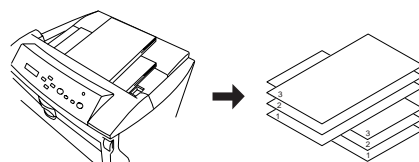
*1 添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」から「NEC TCP/IP Printing System」をインストールすることが必要です(詳細はユーザーズマニュアル[2/2]参照)。また2200X2/2200XE/2000X2に装着できるマルチプロトコルLANボードはPC-PR-L01またはPC-PR-L02です(詳細は本書の3章を参照)。

● リプリント機能

一度印刷した文書をアプリケーションを再起動させずにプリンタステータスウィンドウ(PSW)を操作することにより、短時間で再出力を実現する機能です。試し印刷および追加印刷する場合に便利です。

● ジョブセパレート機能

ソータ機能の代わりとして利用できる機能です。ジョブセパレート機能は、印刷ジョブごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、スタッカ上に排出される用紙を印刷ジョブごとに仕分ける機能です。また、丁合い機能と組み合わせることによって、複数の部数を印刷するときなど印刷後の用紙を部ごとに仕分けることなくスタッカ上に排出させることができます。この機能はホッパまたはトレーのいずれか2か所にA4用紙が縦置きおよび横置きでセットされている時に有効です。



● 印刷ログ出力機能*2

印刷した履歴をログ情報として記録させる機能です。これらのログ情報を活用することによって、年間または月ごとのプリンタの使用頻度の統計、消耗品の準備時期などの管理が容易になります。

● 両面印刷

2200X2では両面印刷機構を搭載していますので、用紙の両面に印刷することができます。

2200XE/2000X2では両面印刷ユニットを装着することにより*3、同じように用紙の両面に印刷することができます。

A3、B4、A4、B5、A5、レターのさまざまなサイズの内紙に対応しています。用紙を節約して印刷したい場合に便利です。

● USBに対応*4

USBはコンピュータと周辺機器の接続を容易にし、かつマルチメディアにも対応するように仕様化されたインターフェースです。2200X2/2200XE/2000X2はオプションのUSBプリンタケーブルを使ってUSBコネクタを持つコンピュータと接続することができます。

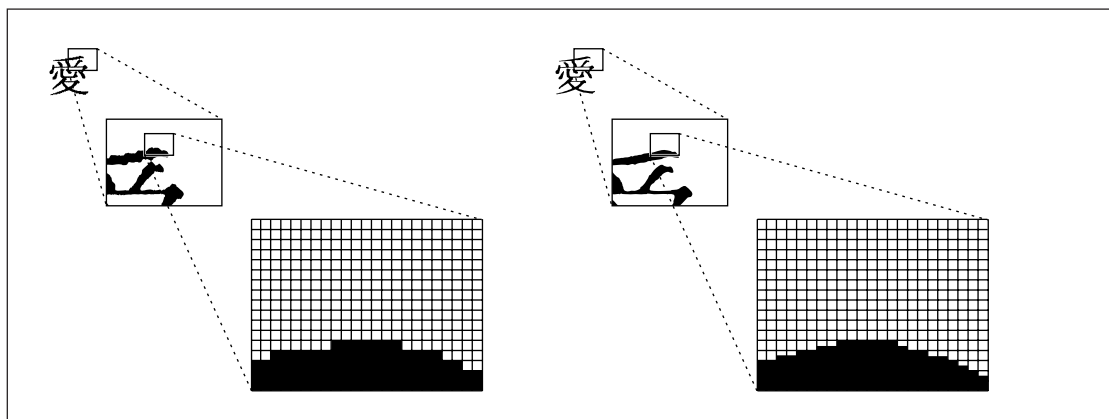
*2 Windows NT4.0/3.51のプリントサーバを経由した印刷でご利用になれます。また、この機能はプリンタ管理者のみご使用になれます。

*3 オプションの両面印刷ユニットPR-L2000X2-DLを装着することにより可能です(詳細は本書の3章を参照)。

*4 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるUSBプリンタケーブルはPR-CA-U01です。このプリンタケーブルの使用にあたってはコンピュータに「USBプリンタケーブルドライバ」(プリンタソフトウェアCD-ROMに添付)がインストールされていることが必要です。USBプリンタケーブルについての詳細情報は「情報サービスについて」(10ページ)に記載されている窓口より入手できます。双方向通信については一部使用できない機能があります。Windows 95(OSR 2.11以降)のみ対応。

● SET

SETとは、印刷画像のエッジ部分をなめらかにする技術です。従来は文字やグラフィックの曲線部や斜線部において、微小なギザギザが見えてしまうことがありましたが、SETを使用することで、印刷画像のエッジ部分を微細にコントロールし、ギザギザをなくした大変なめらかな印刷（1500DPI相当の印刷品質）を実現することができます（当社評価）。



● 節電機能

2200X2/2200XE/2000X2は、国際エネルギー省プログラムに準拠した節電機能をサポートしています。この機能を設定すると電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないと自動的に消費電力を30W以下に抑えることができます。

● トナー節約機能

トナー節約機能を使用すると、特に画像面積比が大きい（1ページ中の黒い部分の割合が大きい）印刷時のトナー消費量を減らし、ランニングコストを向上させることができます*5。

● リレー給紙

プリンタ本体のホッパ、フロントトレイまたはオプションの増設ホッパに同じサイズ用の紙がセットされていれば、使用しているホッパの用紙がなくなったとき、自動的に同じサイズの用紙が入った別のホッパまたはトレイから用紙を吸入し印刷を継続する機能です。

*5 黒い部分を囲引で印刷しますので、OCR文字やバーコードなどの機械読み取り用の印刷には適しません。また図形、イメージデータの印刷では期待どおりの印刷結果が得られない場合があります。あくまで「試し印刷」用としてご使用になることをお勧めします。

本書の読み方

安全にお使いいただくために

プリンタを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

1章 プリンタの設置

プリンタを箱から取り出して、プリンタケーブルでコンピュータとつなぐまでの手順を説明しています。

2章 操作パネルについて

プリンタの操作パネル(ディスプレイ/ランプ/スイッチ)の機能について説明しています。

3章 オプション

プリンタの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品について説明しています。オプション品の取り付け方から設定方法までより詳しく説明しています。

4章 日常の保守

プリンタの日常的な保守(EPカートリッジの交換、清掃など)の方法について説明しています。

5章 故障かな?と思ったら




プリンタが思うように動作しなかった場合の原因および対処方法について説明しています。

付録

2200X2/2200XE/2000X2の仕様、用紙の規格および使用できるプリンタケーブルについて説明しています。

本文中で使用の記号の意味

このユーザズマニュアル[1/2]では、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれは次のように定義されています。

記号	内容
	マニュアルに記載されている注意事項および指示を守らないと、プリンタ本体が損傷する恐れがあることを示しています。
	プリンタを使用する際に守っていただきたいこと、およびプリンタを正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。
	プリンタを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

安全にかかわる表示について
ユーザーズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容

はじめに	iii
2200X2/2200XE/2000X2の特長	iv
本書の読み方	vii

安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
正しく動作させるために	6

ユーザーサポートについて 7

お客様登録申込書について	7
保証について	7
修理に出される前に	8
保守サービスについて	9
プリンタの寿命について	10
補修用部品について	10
ユーザーズマニュアルの再購入について	10
情報サービスについて	10

1章 プリンタの設置 11

① 設置に必要なスペース	12
設置してはいけない場所	13
② 箱の中身を確認する	14
プリンタソフトウェアCD-ROMについて	15
NMPSソフトウェアをフロッピーディスクが必要な場合	16
③ 固定用部材を取り外す	17
④ 各部の名称を確認する	19
⑤ EPカートリッジを取り付ける	20
⑥ 用紙をセットする	23
用紙について	23
ホッパに用紙をセットする	25
トレイに用紙をセットする	29
⑦ 電源コードを接続する	32
⑧ テスト印刷をする	33
⑨ コンピュータに接続する	36
プリンタを運搬・廃棄するときは	38
プリンタを運搬するときは	38
プリンタ・消耗品を廃棄するときは	38

2章 操作パネルについて 39

ディスプレイ	40
ランプ	41
スイッチ	42
通常のスイッチ機能	42
メニューモード時のスイッチ機能	45
シフト時のスイッチ機能	46
メニューモード	47
メニューモードでの設定変更のしかた	47
メニューモード設定項目一覧	48
メモリスイッチの内容	50
メニューツリー	52
ESC/Pエミュレーションでの機能	60
PC-PTOS環境での機能	61

3章 オプション 63

オプション品の紹介	64
増設ホッパ	68
増設ホッパの設置に必要な高さ	68
増設ホッパの取り付け	69
増設ホッパへの用紙のセット	70
プリンタの設定	71
ホッパの切り替え	72
① プリンタが初期化されるまで維持する方法	72
② プリンタが初期化されても増設ホッパが選択される方法	73
テスト印刷	74
増設ホッパの取り外し	75
増設カセット	77
増設カセットの取り付け	77
増設カセットの取り外し	78
赤外線通信インタフェースボード(PC-PR-R01)	79
動作環境	79
赤外線インタフェースボードの接続例	80
赤外線インタフェースボードの取り付け	80
赤外線インタフェースボードの取り外し	81
赤外線通信インタフェースアダプタ(PC-CA291)	82
動作環境	82
赤外線通信インタフェースアダプタの接続例	83
赤外線通信インタフェースアダプタの取り付け	83
赤外線通信インタフェースアダプタの取り外し	84
プロッタエミュレーションボード	85
プロッタエミュレーションボード取り付け	85
テスト印刷	87
プロッタエミュレーションボード取り外し	87
マルチプロトコルLANボード	88
マルチプロトコルLANボードの取り付け	89
マルチプロトコルLANボードの取り外し	90

漢字アウトラインフォントカード	91
漢字アウトラインフォントカードの取り付け	91
テスト印刷	92
漢字アウトラインフォントカードを使って印刷するには	93
漢字アウトラインフォントカードの取り外し	94
増設RAMサブボード	95
増設RAMサブボードの取り付け	95
テスト印刷	96
増設RAMサブボードの取り外し	97
両面印刷ユニット	98
両面印刷ユニットの取り付け	98
テスト印刷	99
両面印刷ユニットの取り外し	100

4章 日常の保守 101

EPカートリッジの交換	101
交換する前に	101
EPカートリッジの廃棄と購入	102
廃棄について	102
購入について	102
EPカートリッジの交換手順	103
清 掃	105
清掃箇所と清掃時期	105
清掃手順	106

5章 故障かな?と思ったら 111

印刷がおかしいときは	111
思うように印刷できないとき	111
印刷に異常が見られるとき	116
印刷できないとき	118
アラーム表示が出ているときは	120
紙づまりのときは	122
紙づまりの処理	122
A 給紙部の紙づまり	124
B プリンタ内部の紙づまり	126
C 排出部の紙づまり	127
D 両面印刷ユニット部の紙づまり	128
紙づまり処理後の確認	128

付録 129

仕様	129
MultiWriter 2200X2/2200XE	129
MultiWriter 2000X2	131
用紙の規格	133
両面印刷時の用紙の規格	133
使用できるプリンタケーブル	134

用語解説	135
------------	-----

索引	139
----------	-----

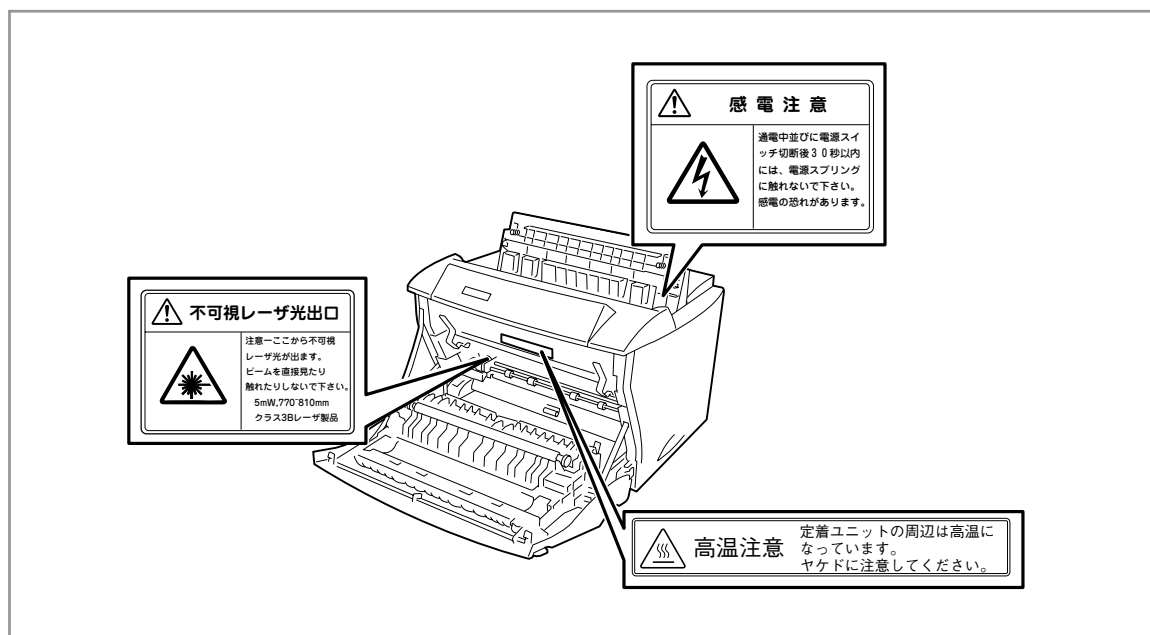


安全にお使い いただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2プリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を、常にお客様に意識していただくためのものです。

もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読不能な状態であったら、販売店にご連絡ください。



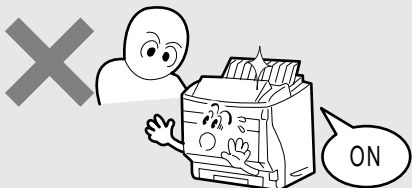
警告ラベルの位置

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

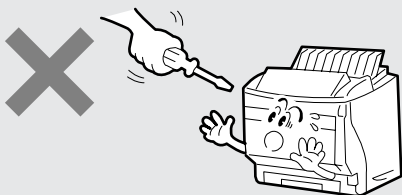
警告

プリンタの内部をのぞかない



このプリンタはレーザ(レーザダイオード)を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザ光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザ光は目に見えません)。

分解・修理・改造はしない



ユーザズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンタが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

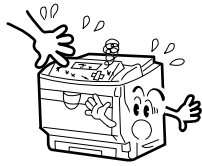
針金や金属片を差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

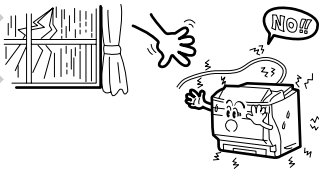
⚠ 注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない



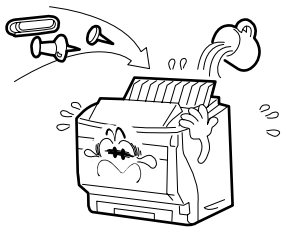
操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、万一、口に入った場合は、すぐうがいをし、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が発生しそうなきは装置に触らない



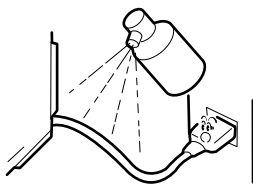
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなきは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

プリンタ内に水や異物を入れない



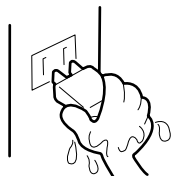
プリンタ内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

電源コードに薬品類をかけない



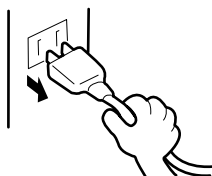
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜かない



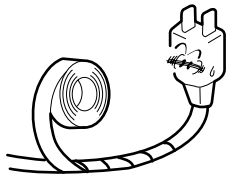
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない



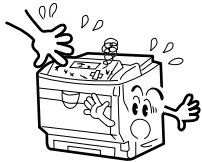
電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない



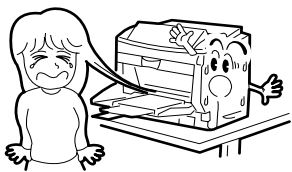
損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニルテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意



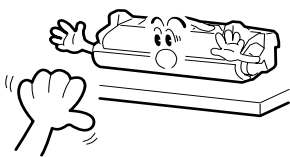
プリンタの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

巻き込み注意



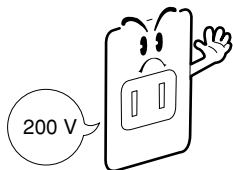
プリンタの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

お子様に注意



EPカートリッジはお子様の手が届かない所に保管してください。EPカートリッジに入っているトナーが、目や口等に入ったりすると健康を損なうおそれがあります。

正しい電圧で



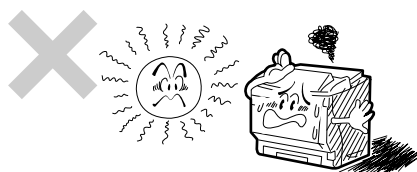
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

ほこり・湿気の多い場所を避ける



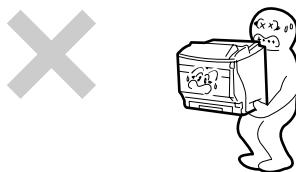
- プリンタをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったら、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

日の当たるところには置かない



プリンタを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンタが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンタを運ぶときは



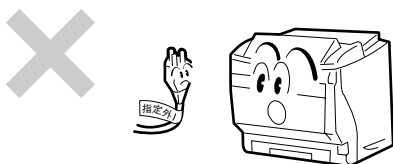
プリンタの重量は約19kgの重さがあります(EPカートリッジ含まず)。装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて二人以上で運んでください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

不安定な場所に置かない



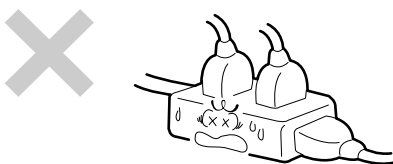
プリンタを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

指定以外の電源コードは使わない



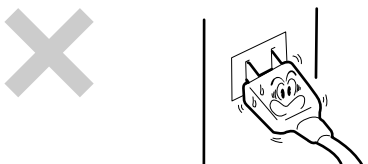
プリンタに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない



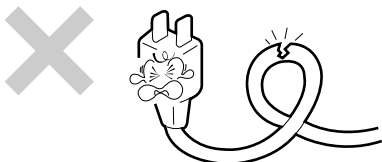
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になるおそれがあります。

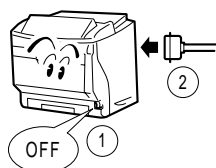
電源コードは曲げたり、ねじったりしない



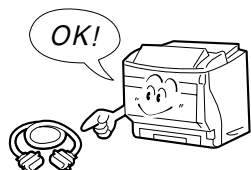
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステップル等で固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

正しく動作させるために

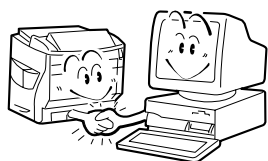
プリンタを正しく動作させるために、次に示す注意事項を守ってください。



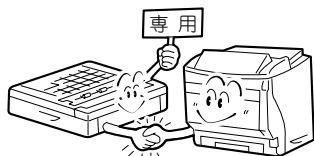
プリンタケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行う前に、電源スイッチをOFFにしてください。電源が入ったまま行くと誤動作するようになり、故障することがあります。



用意したプリンタケーブルがお客様のコンピュータに合っていることを確認してください。



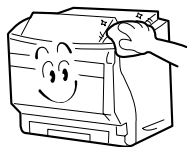
ご使用になるコンピュータ環境に合った方法でコンピュータ側からプリンタを指定してください。(指定方法についてはユーザーズマニュアル[2/2]を参照してください。)



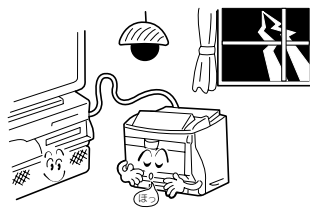
オプションは2200X2/2200XE/2000X2専用のものお使いください。たとえ取り付けることができても正常に動作しないばかりか、プリンタ本体が故障することがあります。(詳しくは、本書の3章をお読みください。)



プリンタの周りに物を置いてプリンタをふさがないでください。プリンタ内の温度が異常に高くなり、正しく動作しなくなることがあります。



定期的にプリンタを清掃してください。(清掃の内容は本書の4章で説明しています。)定期的な清掃は印刷品位を保つだけでなく、さまざまな故障の発生を未然に防ぐ効果もあります。



落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。

ユーザーサポート について

NECはMultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の「お客様登録」された方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、本章で説明している保証、サービス内容について確認してください。

お客様登録申込書について

添付の「お客様登録申込書」に所定事項をご記入の上、投函してください。

保証について

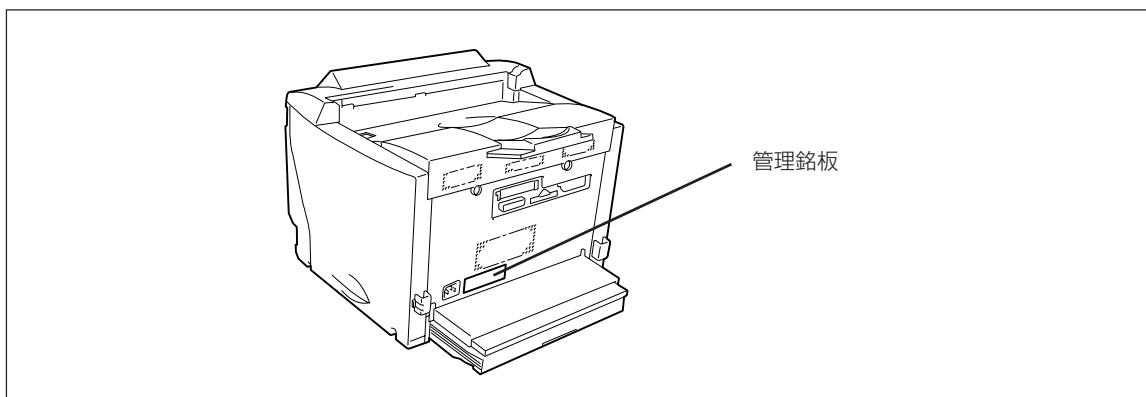
プリンタには『保証書』が付いています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」をご覧ください。プリンタをお買いあげの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。



チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンタが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

修理に出される前に

「故障かな?」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンタケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。
- ② 定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認します。
- ③ 5章「故障かな?と思ったら」をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示もお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NEC サービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、『保証書』を添えてお申し込みください。

またプリンタをお持ち込みいただくときは本書や梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンタを梱包してください。



弊社パーソナルコンピュータプリンタシリーズは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合 NECの海外拠点で修理することはできません。

保守サービスについて

保守サービスはNECが指定した保守サービス会社によってのみ実施されます。部品交換は純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心いただけます。しかもお客様のご都合に合わせてご利用いただけるように次の4種類を用意しております。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、お買い上げの販売店または、添付の「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。

- 契約保守 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理(スポット修理) サービス担当者がお客様のところへ伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- 持込修理 お客様に修理品をサービス窓口にお持ち込みいただくシステムです。
- 引取修理 修理品を引き取りにうかがい、修理後お届けするシステムです。

種 類	概 要	修理料金		お支払い方法	受付窓口
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合もありますのでご了承ください。)保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成に応じた 年間一定料金		年間一括前払い	お買い上げ販売店 NEC商品サービス(株) NEC Bit-INN NECマイコンショップ
出張修理 (スポット 修理)	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合もありますのでご了承ください。)ご契約は不要です。	無料*	修理料 + 出張料	修理完了後 そのつど清算	
持込修理	修理を経済的に済ませたい場合の保守サービスです。お客様がご自身で、最寄りの修理受付窓口に修理品をお持ち込みください。修理後、修理完了品をお持ち帰りいただきます。	無料	修理料のみ		
引取修理	お客様のご都合で修理品をお持ち込みいただけない場合は、最寄りのサービス拠点より修理品を引き取りに参ります。修理完了後お届けいたします。	引き取り料 + 返却料	修理料 + 引き取り料 + 返却料	NEC商品サービス(株) NECマイコンショップ	

* プリンタは出張修理対象品につき無料です。出張修理品の対象になっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンタの寿命について

MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2の製品寿命は印刷枚数30万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。継続使用される場合は、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用部品について

プリンタの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失された場合は、お買い求めの販売店もしくは、お近くの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアルを再度購入することができます。

- 品名 MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2 ユーザーズマニュアル
- 型名 PR-L2200XE-UM

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、品名と型名をメモしておくようにしてください。

情報サービスについて

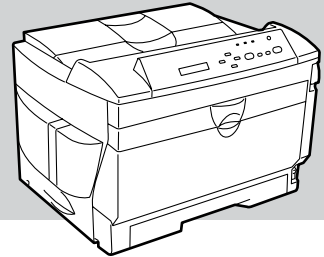
プリンタに関するご質問・ご相談は、NEC Bit-INNおよび当社指定のサービス窓口でお受けしています。また技術的なご質問・ご相談はNECパソコンインフォメーションセンターにご連絡ください。

上記窓口の電話番号、受付時間については、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

また以下のパソコン情報サービスにおいて、2200X2/2200XE/2000X2に関しての最新情報やプリンタドライバがアップロードされます。ご利用ください。

Faxサービス	NECパソコン情報FAXサービス 東京 03-3769-9821 大阪 06-304-9821
PC-VAN	NECパソコン情報 (J NECPC)
NIFTY-Serve	NEC Information Center Forum (GO FNECINFO)
インターネット	98インフォメーション (http://www.nec.co.jp/98/)

障 プリンタの設置



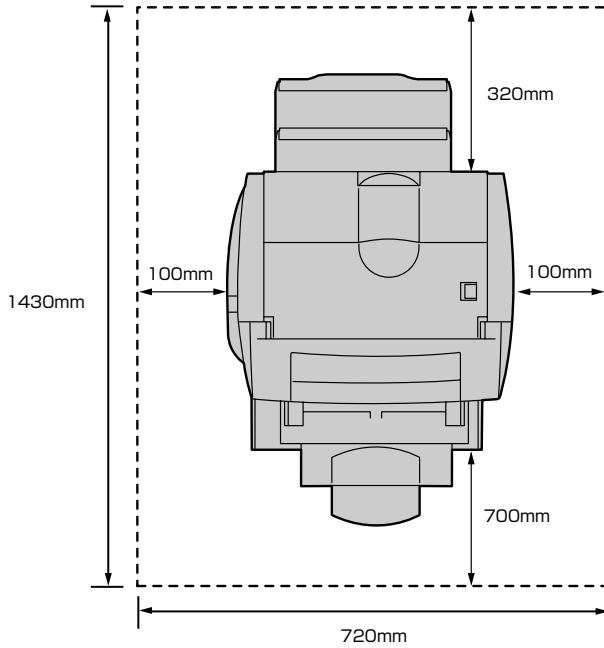
この章では、お買い上げになったプリンタの箱を開けて、中身を確認し、テスト印刷ができるようになるまでを次のような手順で説明します。

- ① 設置に必要なスペースを確認する
- ↓
- ② 箱の中身を確認する
- ↓
- ③ 固定用部材を取り外す
- ↓
- ④ 各部の名称を確認する
- ↓
- ⑤ EPカートリッジを取り付ける
- ↓
- ⑥ 用紙をセットする
ホッパにセットする
トレーにセットする
- ↓
- ⑦ 電源コードを接続する
- ↓
- ⑧ テスト印刷をする
- ↓
- ⑨ コンピュータに接続する

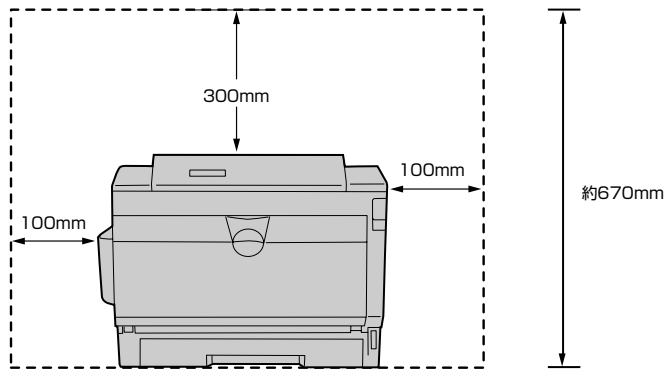
この後にプリンタを運搬するとき、またプリンタを廃棄するときの注意事項が記載されています。

1 設置に必要なスペース

MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2 の設置に必要なスペースは次のとおりです。2200X2/2200XE/2000X2 を安全に、快適にご使用いただくために十分なスペースを確保し、風通しのよい場所に設置してください。



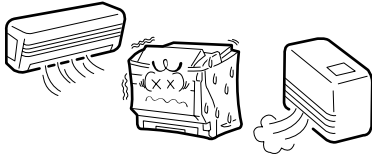
プリンタ上面



プリンタ正面

設置してはいけない場所

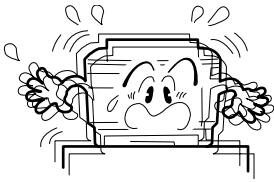
次のような場所には設置しないでください。



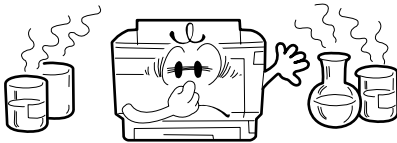
直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



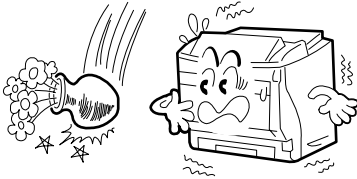
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



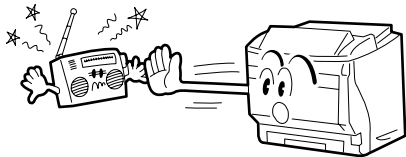
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



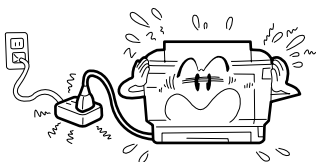
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しないことがあります。



ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンタのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

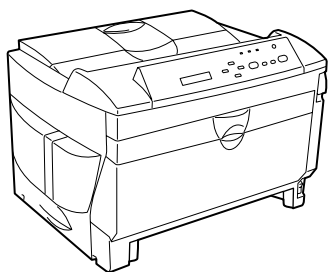


添付の電源コードのみでは届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

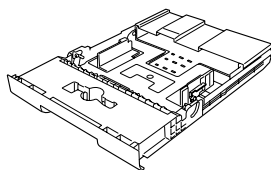
2 箱の中身を確認する

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万
足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。

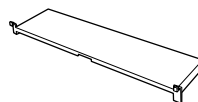
① MultiWriter 本体



② 用紙カセット



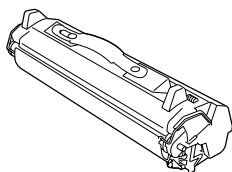
③ キャノピー



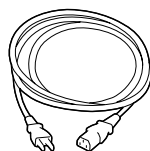
④ ケーブル
クランプ



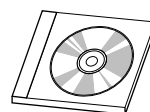
⑤ EPカートリッジ



⑥ 電源コード



⑦ プリントソフトウェア
CD-ROM



⑧ フォントカード
ガイド



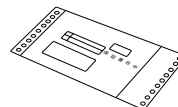
⑨ ユーザーズマニュアル
[1/2] (本書)



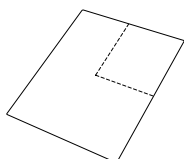
⑩ ユーザーズマニュアル
[2/2]



⑪ 保証書



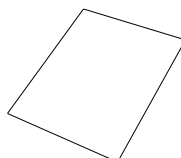
⑫ お客様登録申込書



⑬ NECサービス網
一覧表



⑭ ソフトウェア
のご使用条件



チェック

- 保証書とNECサービス網一覧表は大切に保管してください。
- お客様登録申込書は、所定事項を記入の上、投函してください。
- 梱包材料(箱や緩衝材など)はプリンタを運搬するときに必要となりますので、保存しておいてください。

プリンタソフトウェアCD-ROMについて

2200X2/2200XE/2000X2に添付されているプリンタソフトウェアCD-ROMは、Windows 95、Windows NT4.0、Windows NT3.51、Windows 3.1のコンピュータ環境に対し次のようなソフトウェアを提供しています。

ディレクトリ名	内 容
MW2200X2	MultiWriter 2200X2用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。2200X2で印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
MW2200XE	MultiWriter 2200XE用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。2200XEで印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
MW2000X2	MultiWriter 2000X2用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。2000X2で印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
MW1400X	MultiWriter 1400X用のPrintAgent/NMPSソフトウェアです。1400Xで印刷するために必要なファイルが入っています。画面上のダイアログボックスに従うことにより個々の環境に合わせた必要なファイルが自動的にインストールされます。
FDCONV	CD-ROMに納められたPrintAgent/NMPSソフトウェアを3.5インチフロッピーディスクにコピーするツールです。詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。
BARCODE	NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウェアをインストールすることによりWindows環境でMultiWriterにバーコードフォント（5種類）の印刷をさせることができます。 1 Industrial 2 of 5（モジュール比2.2、3.0） 2 NW-7（モジュール比2.2、3.0） 3 CODE39（モジュール比2.2、3.0） 4 JAN（13桁、8桁） 5 カスタマバーコード（郵便番号） 詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。
MANUAL	メニューモードを使って設定できるプリンタの設定内容など技術情報を納めたマニュアルです。ディレクトリ内のリーダ「Adobe Acrobat Reader」を使って閲覧します。詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。
USBUPDT	USBプリンタケーブルを使って印刷をするために必要なUSBプリンタケーブルドライバファイルが入っています。詳細については本ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。

[MANUAL]について

CD-ROM内の[MANUAL]には下記の内容が含まれています。

- **メニューモードとメモリスイッチの詳細**

- **メニューモード**

- **技術情報**

- 使用できるコンピュータとプリンタケーブル
- 印刷範囲
- NPDLの初期状態
- インタフェース
- 制御コード一覧
- 機能拡張制御コード

- 文字の種類
- テスト印刷のプリント結果
- 文字コード表
- ディスプレイ表示一覧
- PrintAgent通知一覧



ヒント

このCD-ROMはISO9660フォーマットに従って作成されています。MacintoshでこのCD-ROMを見るためには、ISO9660機能拡張ファイルが必要です。詳しくはMacintosh本体またはOSのマニュアルをご覧ください。

ハードディスク容量について

PrintAgent/NMPSソフトウェアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。

- Windows 95 日本語版 約2.8MB以上
(プリンタドライバのみインストールする場合は約0.6MB)
- Windows NT4.0 日本語版 約2.8MB以上
(プリンタドライバのみインストールする場合は約0.6MB)
- Windows NT3.51 日本語版 約2.8MB以上
(プリンタドライバのみインストールする場合は約0.6MB)
- Windows 3.1 日本語版 プリンタドライバとして約0.6MB以上



チェック

PrintAgentをインストール時に指定する、PrintAgentモジュールのディレクトリ名(指定しなければ「PrintAgent」になります)はインストール終了後に変更しないでください。Windows 3.1やDOS上でディレクトリの移動などを行うと、ディレクトリの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。



重要

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめWindows 95の場合は、「Microsoftネットワーク共有サービス」、Windows NT4.0/3.51の場合は「サーバー」などクライアントソフトウェアを組み込んでおく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

NMPSソフトウェアをフロッピーディスクで必要な場合

通常PrintAgent/NMPSソフトウェアのインストールは添付のCD-ROMにより行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに入っているPrintAgent/NMPSソフトウェアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。添付のCD-ROMには、このためのツール(CD-ROMからNMPSソフトウェアをフロッピーディスクにコピーして、インストールできるようにするソフトウェア)が入っています。詳しくは前ページの表中の「FDCONV」の内容をご覧ください。もし「CD-ROMドライブを持っていない」等でフロッピーディスクにコピーできない場合は、必要事項を下記宛先までFAXまたは電話でご連絡ください。ご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

- ① プリンタ品名 「MultiWriter 2200X2」、 「MultiWriter 2200XE」または「MultiWriter 2000X2」
- ② プリンタの製造番号 保証書をご覧ください。9桁の英数字です。
- ③ フロッピーディスクタイプ 1.44MBタイプ*1、または3.5インチの1.2MBタイプ*2
- ④ ご住所
- ⑤ ご氏名
- ⑥ ご連絡先 昼間ご連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。

*1 PC98-NXシリーズ用、DOS/V機(IBM PC/AT 100%互換機)用

*2 PC-9800シリーズ用

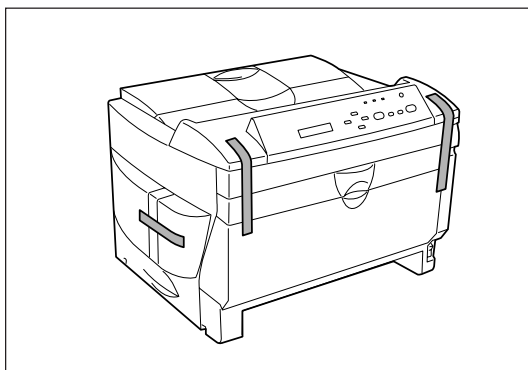
連絡先

NEC商品サービス(株) サプライ品販売促進部
TEL: 044-813-2400
FAX: 044-813-2610

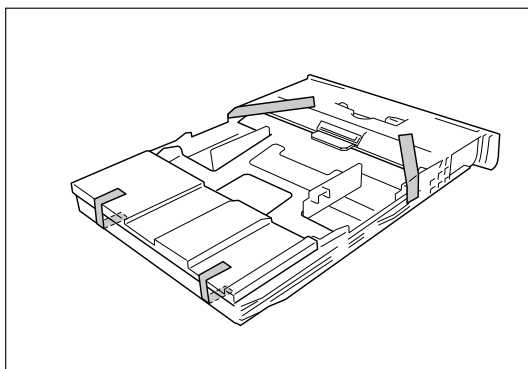
3 固定用部材を取り外す

プリンタは輸送中の損傷を防ぐために、動きやすいあるいは外れやすい箇所をテープで固定してあります。次の手順に従ってテープを取り除きます。

1. カバーに貼り付けてあるテープ(3か所)を取り外す。

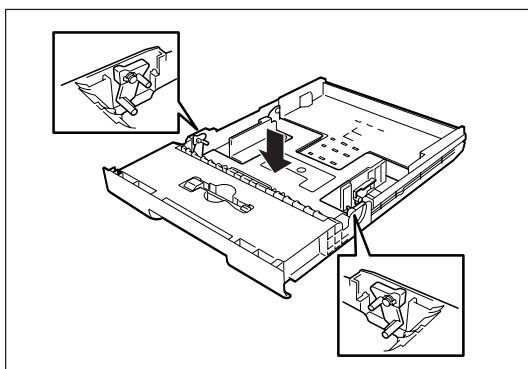


2. 用紙カセットに貼り付けてあるテープ(4か所)を取り外す。

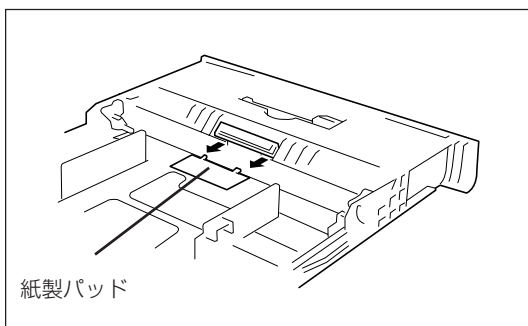


3. 用紙カセット内のリフトプレートを押し、確実に下がっていることを確認する。

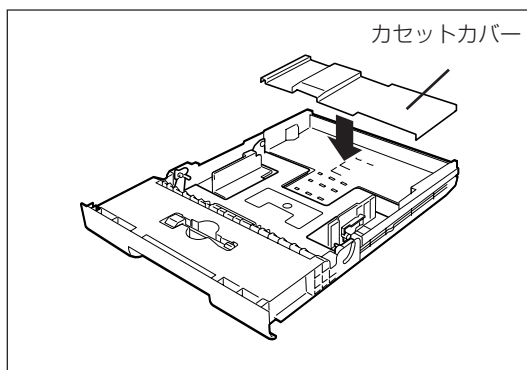
リフトプレートが完全に下がっていないと用紙カセットをホッパに取り付けることはできません。



4. 紙製パッドを取り外す。

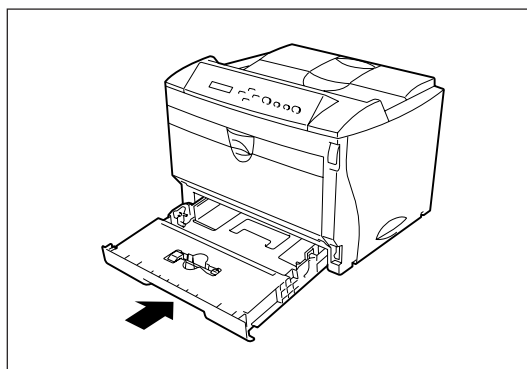


5. カセットカバーを取り付ける。



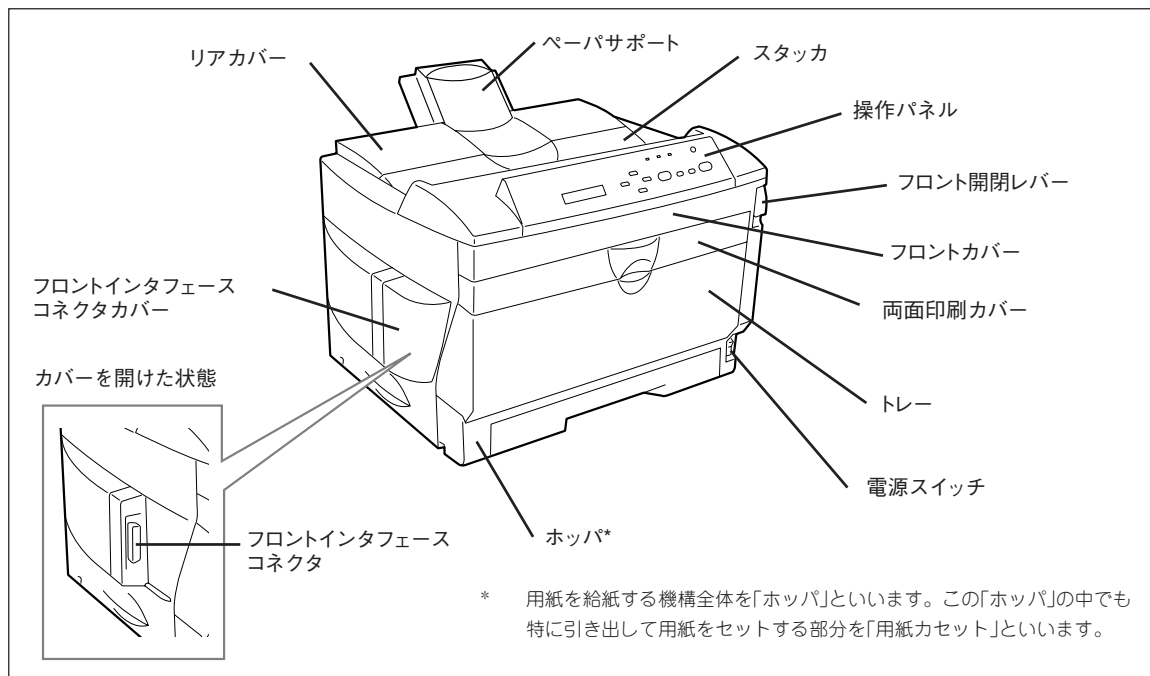
6. 用紙カセットをプリンタに差し込む。

用紙カセットはゆっくり差し込んでください。

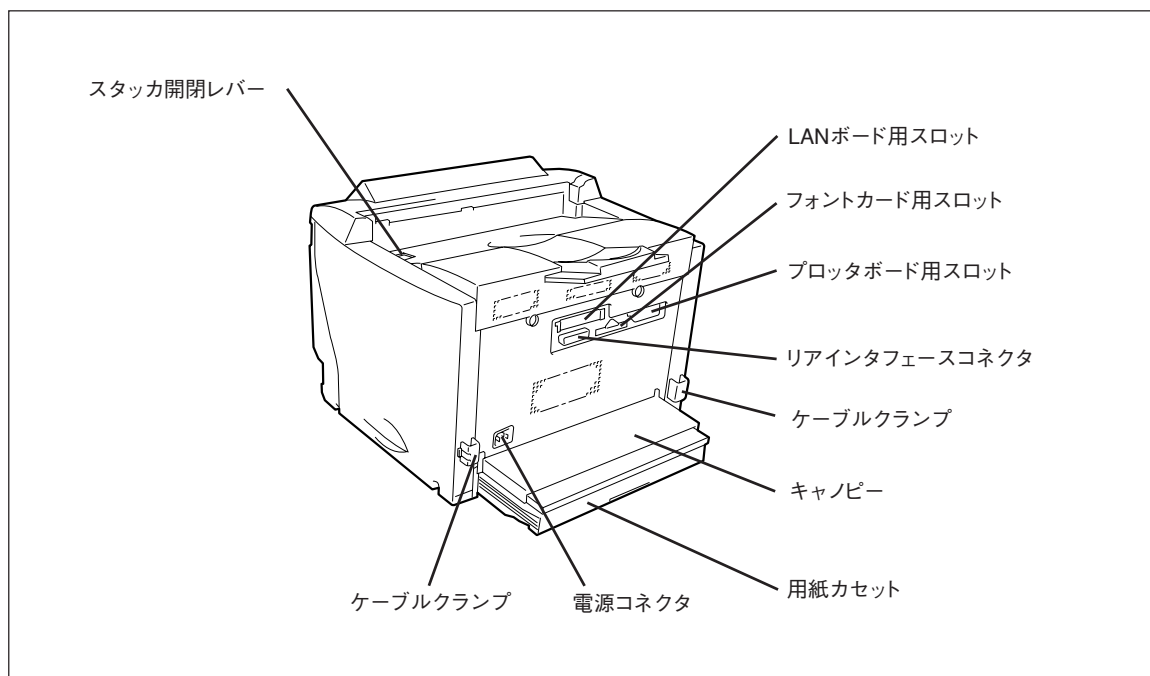


4 各部の名称を確認する

プリンタの各部の名称について説明します。プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。



プリンタ前面



プリンタ背面

5 EPカートリッジを取り付ける

EPカートリッジはトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します。



チェック

このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しております。お客様にはお手数ながら、ご使用後はお買い上げの販売店または最寄りのNECサービス窓口までお持ち寄りください。

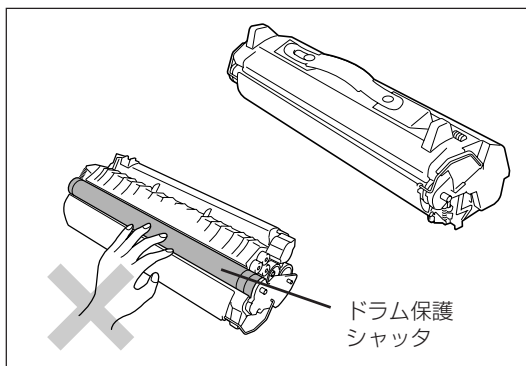
1. EPカートリッジを袋から取り出す。

EPカートリッジに傷がないことを確認してください。



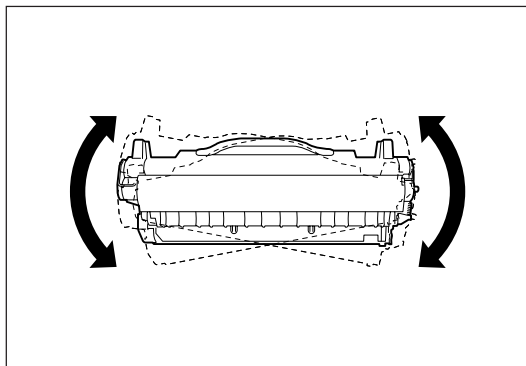
重要

EPカートリッジのドラム保護シャッターには触らないようにしてください。



2. 新しいEPカートリッジの中のトナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくり振る。

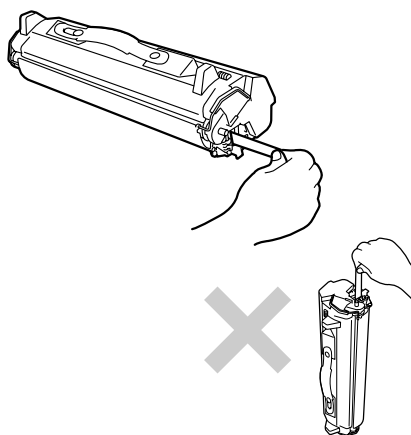
この時、取っ手を持って振らないでください。



重要

EPカートリッジは取っ手を上にして、机など水平な面に置いてビニールシールを引いてください。EPカートリッジを立てた状態でビニールシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。

もしビニールシールが途中で引き抜けなくなった状態で、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンタ自身に障害が生じることがあります。



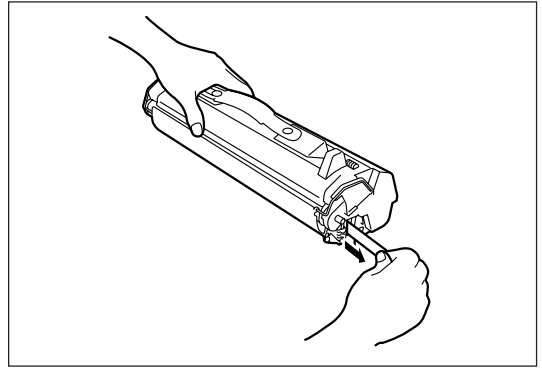
3. EPカートリッジの取っ手を上にして机など水平な場所に置き、側面にとめられているビニールシールの端を持って、ゆっくり引き抜く。

ビニールシールを引き抜くとき少量のトナーが出る場合があります。

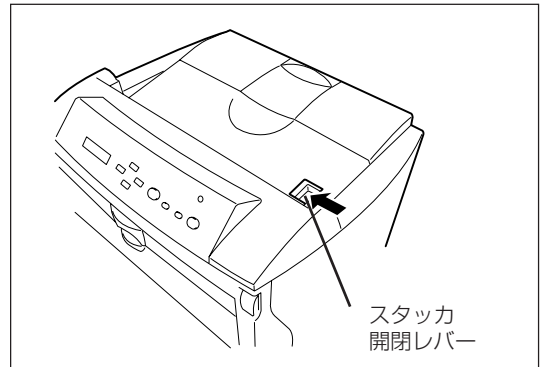


チェック

ビニールシールは正常に引き抜けた場合約60cmの長さになり、シールの端は“のこば状”となっています。正常に引き抜けなかった場合は、プリンタを購入された販売店に連絡してください。

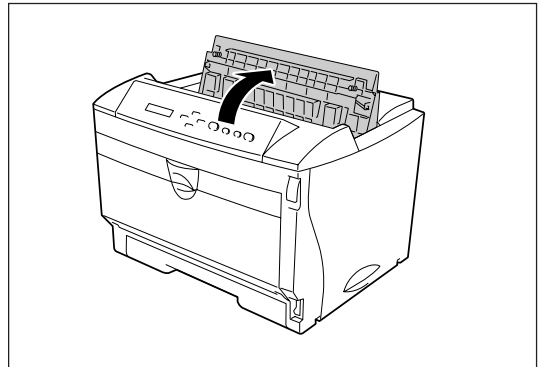


4. スタッカ開閉レバーを左側に押ししてロックを解除する。



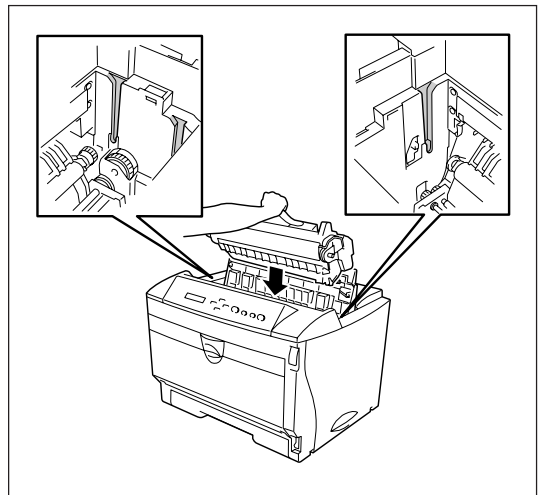
5. スタッカをゆっくりと開ける。

スタッカ開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタッカを開けてください。



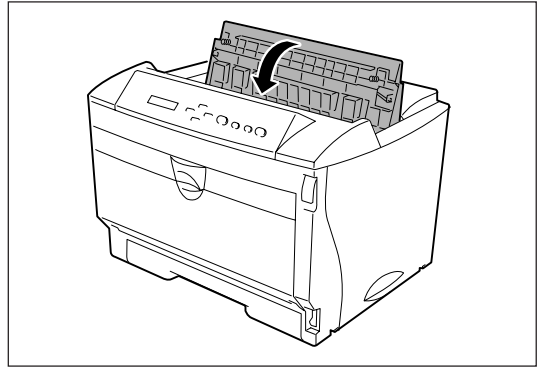
6. EPカートリッジ上部に書いてある矢印の方向をプリンタ正面に向けて、図のようにEPカートリッジの取っ手をもちカートリッジの両側の金属部(銀色、3か所)をプリンタの内側の溝に合わせてセットする。

EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせず、確実に下までセットされていることを確認してください。



7. スタッカを閉じる。

カチッと音がするまでしっかり押し下げます。開閉レバーが確実に閉まったことを確認してください。



6 用紙をセットする

用紙について

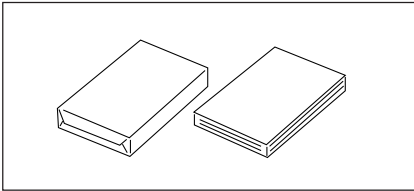
MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できる用紙は次のとおりです。なお、用紙の規格については本書133ページ、「印刷範囲」についてはプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]をご覧ください。



チェック

- 普通紙とラベル以外の用紙はホッパからの給紙はできません。
- 普通紙以外の用紙は両面印刷できません。

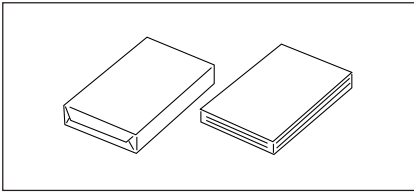
普通紙



「乾式PPC用紙」が最適です。連量55～70kgのものを使用してください。A3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。

ホッパまたはトレーにセットすることができます。

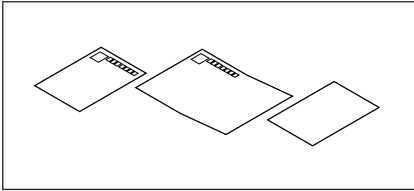
厚紙



「乾式PPC用紙」が最適です。連量70～110kgのものを使用してください。A3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。

トレーにセットすることができます。

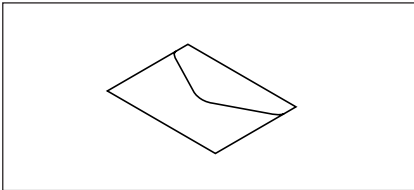
はがき



官製はがき、官製往復はがき、あるいはそれらはがきと同等のものを使用してください。

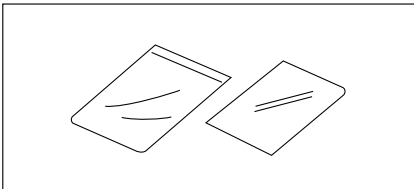
トレーにセットすることができます。

封筒



洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)の封筒を使用してください。トレーにセットすることができます。

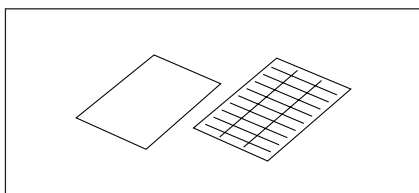
OHPフィルム



乾式PPC用で厚さ0.1mm±0.025mmで、表面処理されているものを使用してください。大きさはA4判が使えます。

トレーにセットすることができます。

ラベル紙



台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。大きさはA4判、B4判が使えます。

トレーまたは標準ホoppaにセットすることができます。



重要

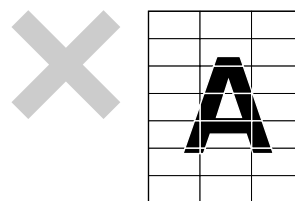
次のような用紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、故障の原因になります。

- 無塵紙
- 裏移り防止用の白粉(マイクロパウダ)が塗布された用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- シワがある、折れている、破れている、湿っている、濡れている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- のりがついている封筒
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後の用紙
- 次のような状態のラベル紙
台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したものの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
- すでに片面が印刷されている用紙



チェック

- 再生紙、ラベル紙の使用については、制限があります。お買い求めの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、封筒、OHPフィルムおよびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。
- OHPフィルム、ラベル紙をプリンタにセットするときは十分にさばいてから行ってください。



ホッパに用紙をセットする

ホッパに用紙をセットします。用紙は普通紙(連量55kg用紙)なら250枚までセットできます。

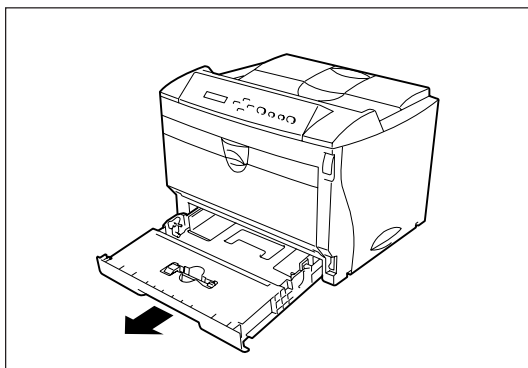


ホッパにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙をホッパにセットしないでください。
片面印刷してある用紙をセットし印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンタの故障の原因となる場合があります。

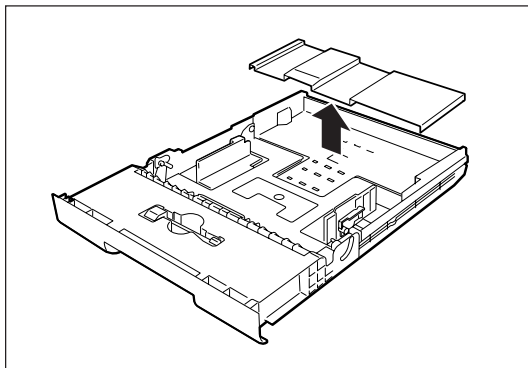


用紙カセット前側のコルク部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

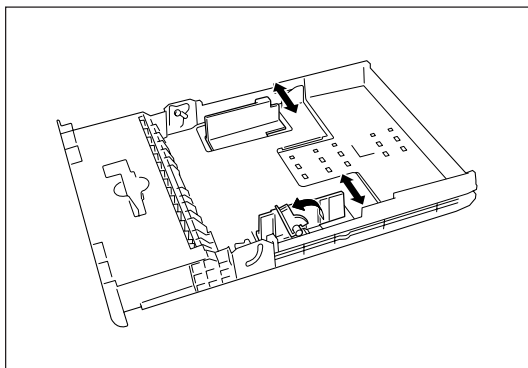
1. 用紙カセットをゆっくり引き出す。



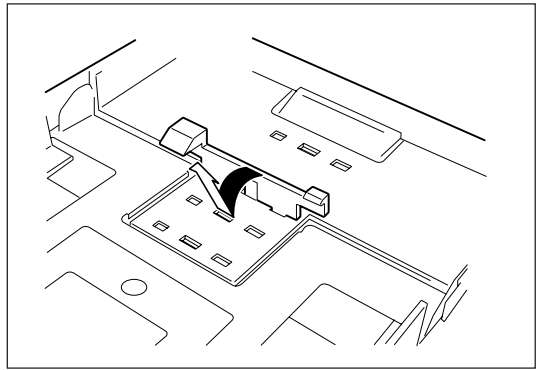
2. カセットカバーを取り外す。



3. サイドガイドのつまみを引き上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。

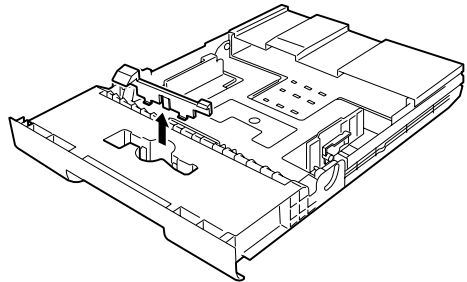


4. エンドガイドのつまみ中央部を押しながら手前に倒し、上に引き抜く。



チェック

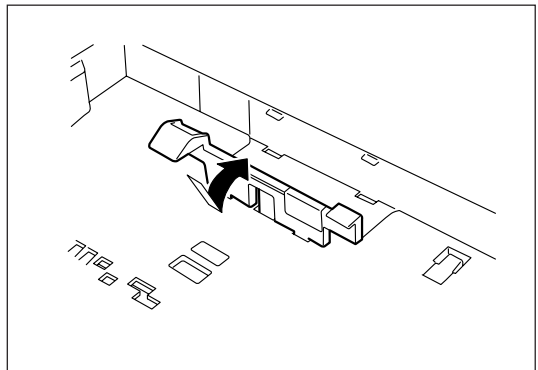
お買い上げ時、エンドガイドは用紙カセット手前に入っています。



5. 使用する用紙サイズの溝に合わせてエンドガイドをはめ込む。

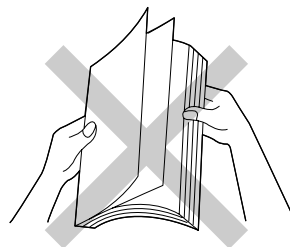
B4、A3の用紙をセットするときは、エンドガイドをはめ込む必要はありません。用紙カセット手前のエンドガイド入れに入れて保管してください。

6. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットする。(次のチェックをご覧ください。)



チェック

- 新しく袋から出した用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

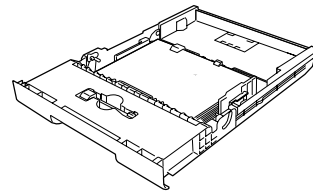




用紙のセット方向

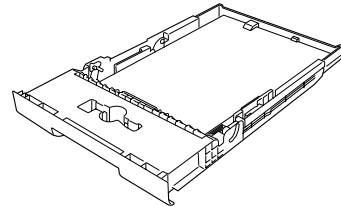
B5、A5サイズ、レターサイズ … 横置き

B5、A5サイズ、レターサイズの場合は用紙を右図のようにセットします。
このセット方法を今後、本ユーザーズマニュアルでは「横置きにセットする」と言うことにします。



A3、B4サイズ … 縦置き

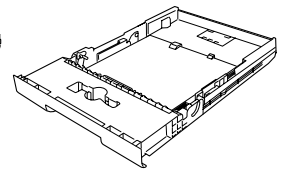
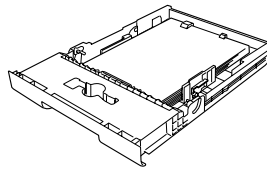
A3、B4サイズの場合は用紙を右図のようにセットします。
このセット方法を今後、本ユーザーズマニュアルでは「縦置きにセットする」と言うことにします。



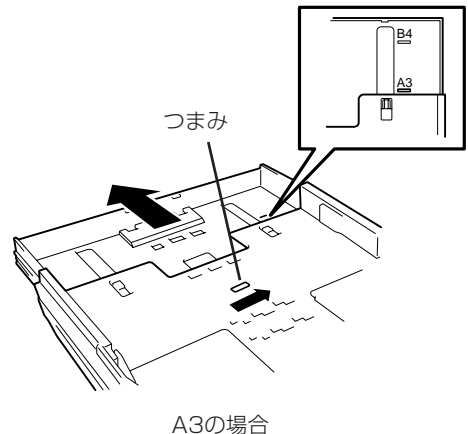
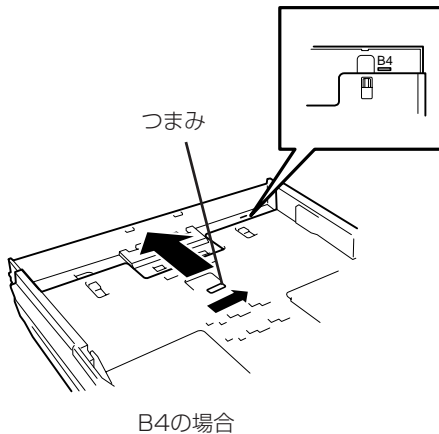
A4サイズ(縦置き)

A4サイズ(横置き)

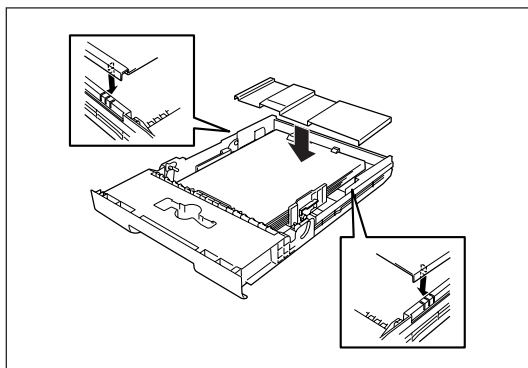
A4サイズの場合は用紙を下図のように縦置き、横置きどちらの方向でもセットできます。



A3、B4サイズをセットするときはつまみを右に動かし、用紙カセットを引き伸ばして使ってください。

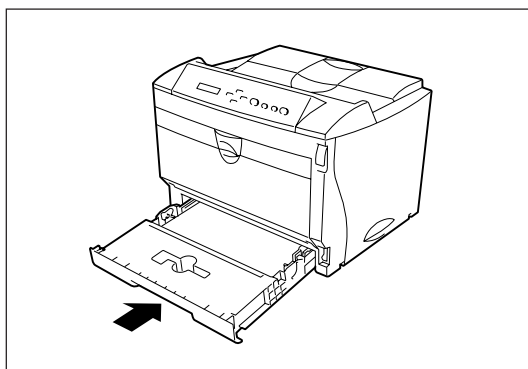


7. カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。



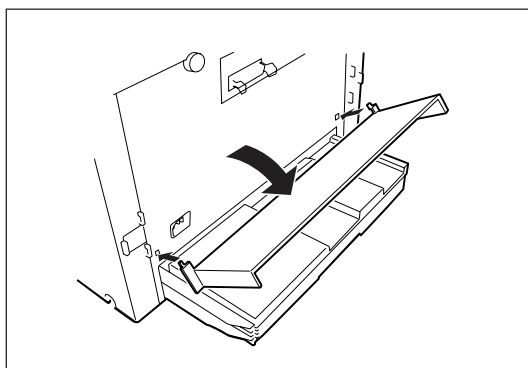
8. 用紙カセットをプリンタに差し込む。

用紙カセットはゆっくり差し込んでください。



9. キャノピーをプリンタ背面に取り付ける。

キャノピーには何も物を載せないでください。破損の原因となります。



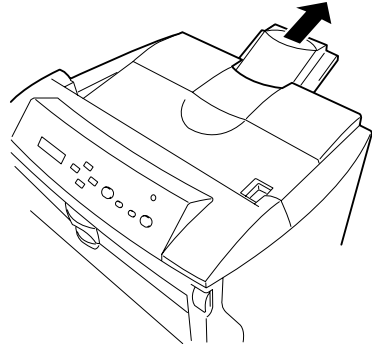
チェック

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

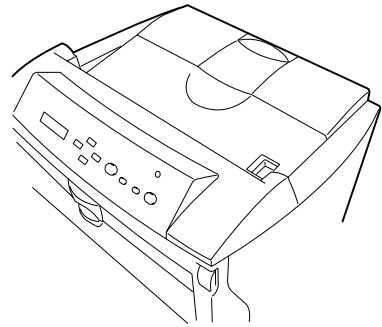
- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなどがつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

10. ペーパーサポートを準備する。

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。



A4、B5、A5、レターサイズの場合、そのままお使いください。



トレーに用紙をセットする

トレーには普通紙やラベル紙をはじめ、ホッパにセットできない厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルムをセットすることができます。

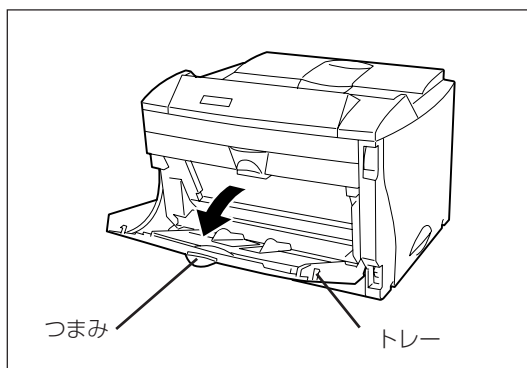
トレーの容量は連量55kgの普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベルは約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。



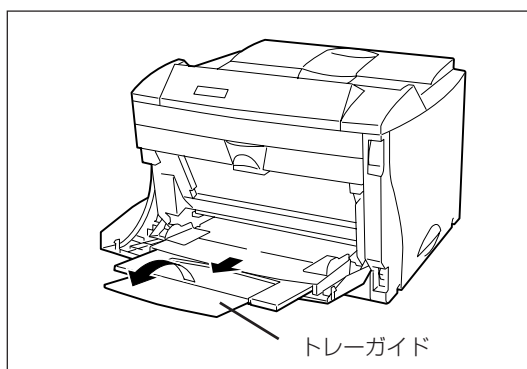
トレーにセットする用紙は両面とも印刷していない用紙をセットしてください。すでに片面印刷してある用紙をトレーにセットすることはできません。片面印刷した用紙をセットし、その用紙の裏に印刷しようとするか給紙できなかったり、紙づまりになったりするばかりでなく、プリンタの故障の原因となる場合があります。

1. トレーを開く。

トレーのつまみを持ち、手前に引きます。

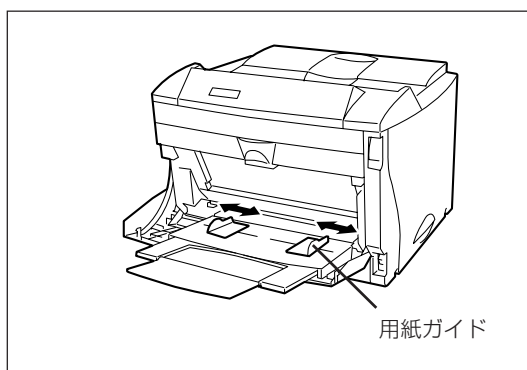


2. トレーガイドをクリック感があるまで伸ばし、さらに1段手前に開く。



3. 印刷したい用紙のサイズに用紙ガイドを合わせる。

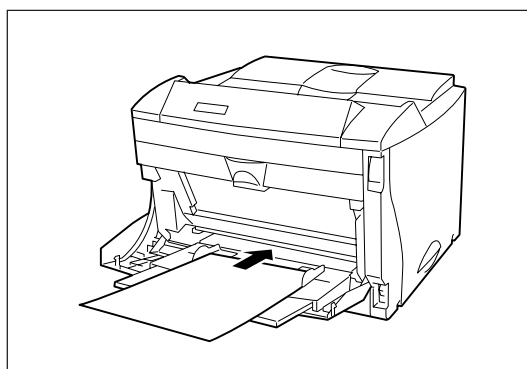
右側の用紙ガイドを動かすと左側の用紙ガイドも一緒に動きます。



4. 印刷したい面を下にして、用紙を用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。

A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズの普通紙、OHPフィルムは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットすることができます。



チェック

封筒をセットする場合は、あらかじめ、フラップ(封筒の折り返し部分)を折り込んだ状態で印刷したい面を下にしてセットしてください。折り込まない状態でセットすると、用紙サイズエラーになるおそれがあります。

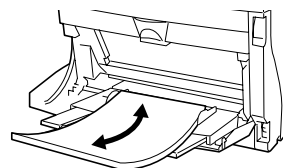
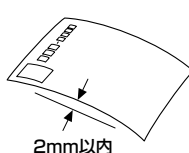


チェック

はがき、往復はがきをセットするときの注意

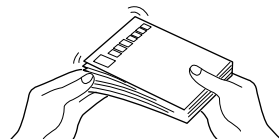
往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンタが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるようにし、反りの方向が右の図のようになるように反りを直してからセットしてください。



- 印刷所で印刷を施された官製はがき(年賀状など)には裏移り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンタでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンタ内部のローラの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面を乾いた布などで粉を軽く払ってください。

- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。



- 印刷したはがきをポストに入れるときは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。



チェック

封筒をセットするときの注意

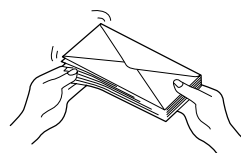
フラップ(封筒の折り返し部分)面は印刷を行わないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンタが故障するおそれがあります。

- トレーにセットする封筒は、洋形4号(LIFE洋封筒E506ライフ(株)製)をご使用ください。

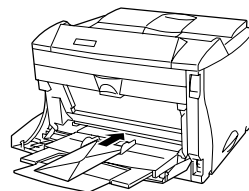
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ(封筒の折り返し部分)をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。



- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。



- 印刷する面を下にして、封筒を用紙ガイドに沿って奥に突き当たるまで挿入してください。



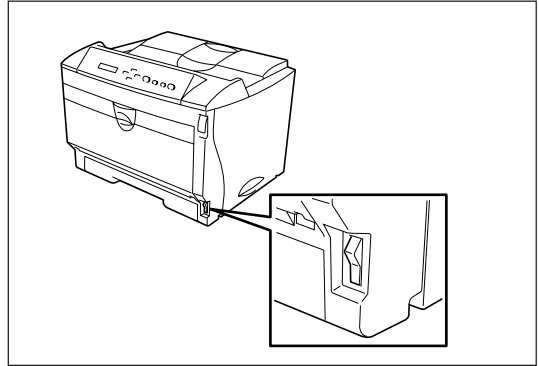
7 電源コードを接続する



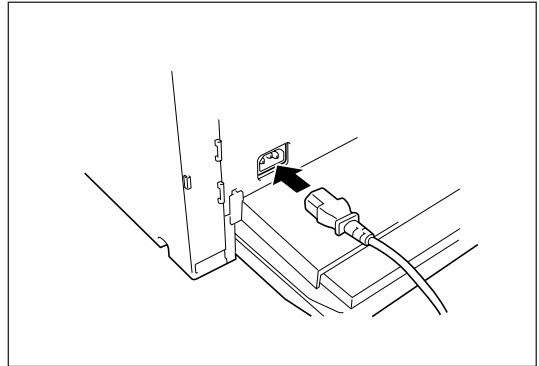
注意

電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

1. プリンタの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

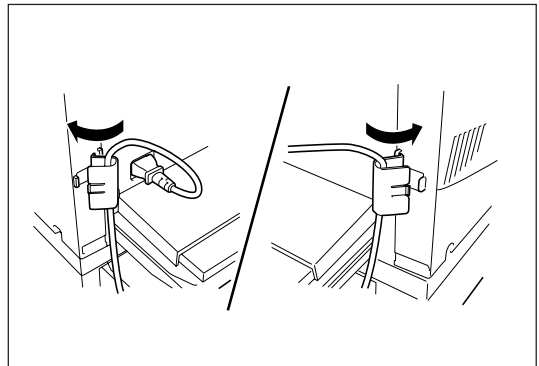


2. 電源コードの三極プラグをプリンタ背面の電源コネクタに差し込む。



3. ケーブルクランプを装置背面に取り付け、電源コードを通す。

ケーブルクランプの取り付け場所は左右に用意されています。設置場所に応じて使い分けてください。

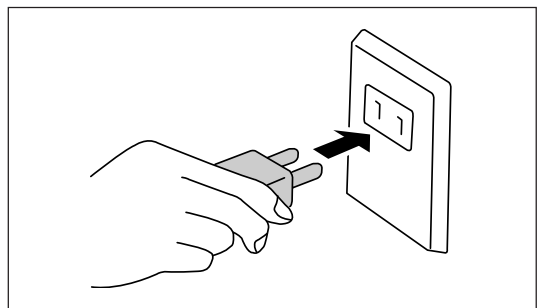


4. もう一方の電源プラグを壁付きコンセント(電流容量10A以上)に差し込む。



チェック

プリンタの電源コードは、コンピュータ本体の補助コンセントには接続しないでください。



8 テスト印刷をする

プリンタが正常に動くことを確かめるために、テスト印刷を行います。

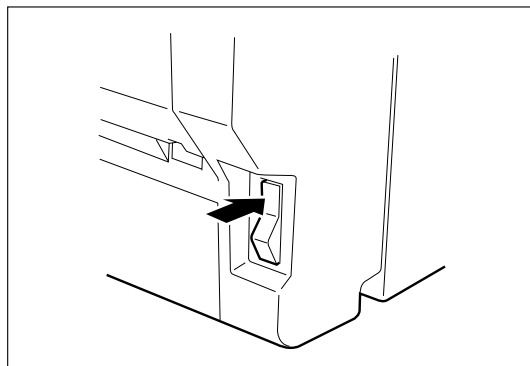


印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりになります。



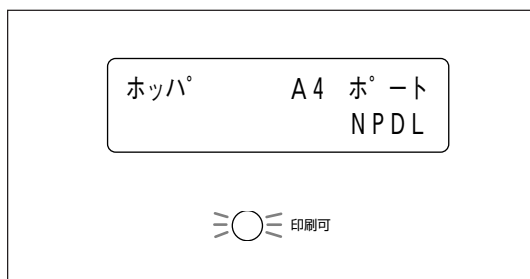
このテスト印刷は「5章 故障かな?と思ったら」の処置が済んだ後に実行することをお勧めします。

1. 電源スイッチをONにする。



2. ディスプレイに次のメッセージが順に表示される。ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。

“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップ”

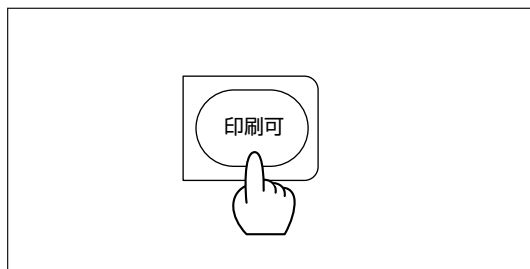


チェック

レターサイズ用の紙をホッパにセットする場合、自動的に用紙サイズ検出されませんので、メニューモードの「ヨウシメニュー」で用紙サイズ設定を「LTコティ」に設定してください。

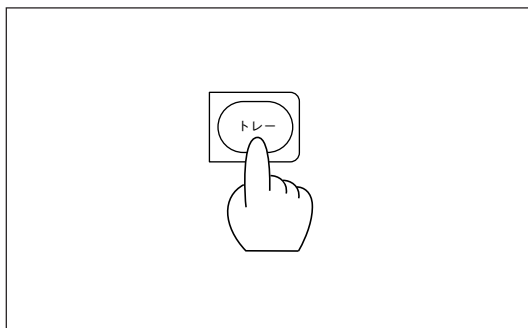
3. 印刷可スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



4. トレーに用紙をセットした場合は、ここで[トレー]スイッチを押し、印刷する用紙のサイズを選択する。

トレーが選択され、ディスプレイには“トレー”と表示されます。

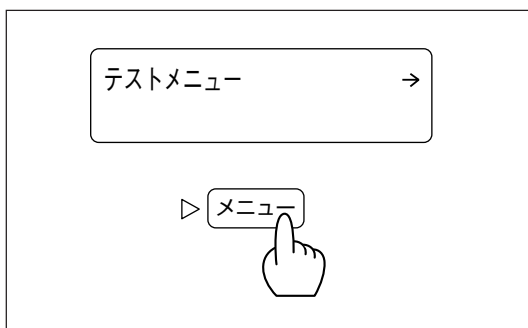


チェック

- トレー の場合は、自動的に用紙サイズを検出しないので、[トレー]スイッチで用紙サイズを選択してください。
- トレー にセットする用紙がOHPフィルムや厚紙の場合は、メニューモード設定項目一覧表(48ページ)を参照して、メニューモードの「トレーヨウシシュベツ」項目で用紙種別の設定を行ってください(詳細についてはプリンタソフトウェアCD-ROM[MANUAL]参照)。この場合、両面ランプが点灯している場合も、印刷は片面で行われます。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向をまちがえて印刷すると、用紙をはみ出して印刷してしまい、プリンタ内部のローラを汚す原因となります。ローラが汚れてしまったときは、テスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。

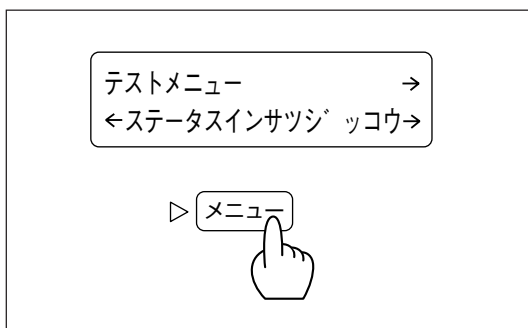
5. ▶メニュースイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



6. ▶メニュースイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジ ッコウ→”と表示されます。



7. ▼縮小スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←レンゾクインサツ ジッコウ →”と表示されます。



8. ▶メニュースイッチを押す。

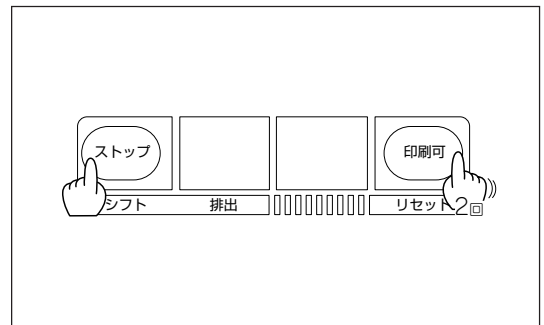
データランプが点灯し、プリンタはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

テスト印刷の結果については、プリンタソフトウェアCD-ROM[MANUAL]の「テスト印刷のプリント結果」をご覧ください。



9. テスト印刷を停止させる。

テスト印刷は自動的に止まりませんので、ストップスイッチを押してください。その後シフトスイッチを押しながらリセットスイッチを2回押します。ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯します。



これでテスト印刷は終了です。

9 コンピュータに接続する

MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2にはプリンタケーブルが添付されていないため、別途お買い求めになる必要があります。プリンタケーブルの種類がわからない場合は、「使用できるプリンタケーブル」(134ページ)をご覧くださいになり、ご使用のコンピュータに合ったプリンタケーブルを確認してください。



重要

パソコン本体とプリンタとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンタバッファ、プリンタ切り替え器、プリンタ共有器などを使用すると、2200X2/2200XE/2000X2の機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。



チェック

- 2200X2/2200XE/2000X2をコンピュータのUSBコネクタに接続する場合はオプションの「USBプリンタケーブルPR-CA-U01」が必要です。(Windows 95(OSR2.1以降のみ対応))
- Macintoshコンピュータと接続する場合やネットワークに接続する場合はオプションの「マルチプロトコルLANボード」と専用のネットワークケーブルが必要です。詳細は88ページを参照ください。

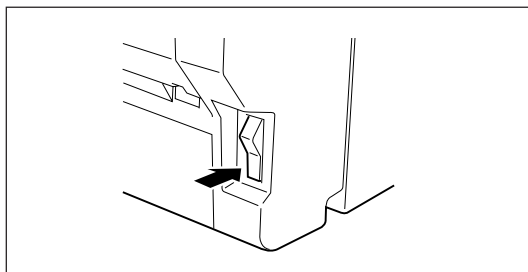


ヒント

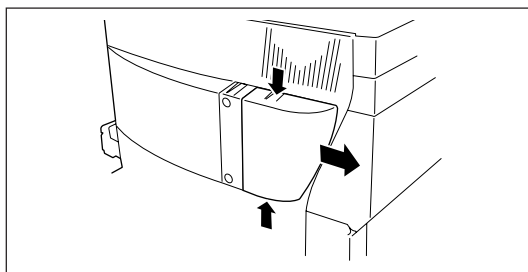
2200X2/2200XE/2000X2には前面と背面の2か所にインタフェース用ソケットがあります。どちらのソケットを使用してもかまいません。

両方のインタフェース用ソケットを使用すると、インタフェースケーブルのつなぎ替えを行わずに、2台のパーソナルコンピュータのデータを印刷することができます。この場合、2つのインタフェースの切り替えは自動で行われます。

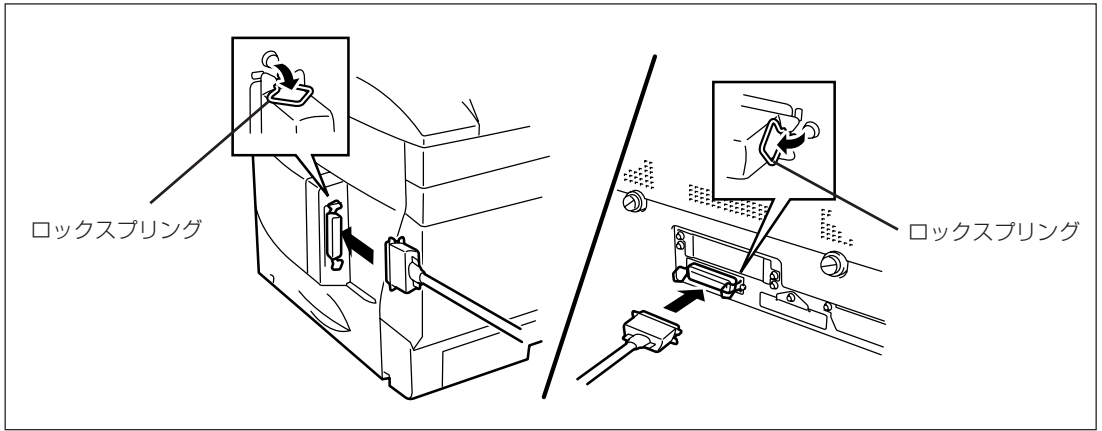
1. プリンタおよびコンピュータの電源スイッチをOFFにする。



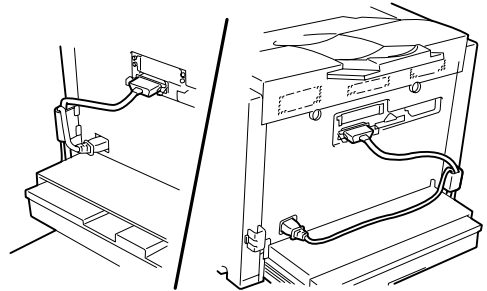
2. 装置前面のインタフェース用ソケットを使用する場合は側面のインタフェース用カバーの上下を押しながら手前に取り外す。



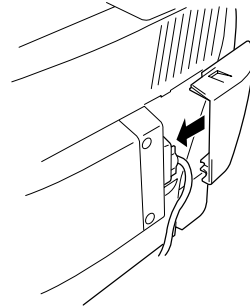
3. プリンタケーブルのコネクタをプリンタ前面または背面のソケットに差し込み、コネクタ両端のロックスプリングで固定する。



- プリンタ背面のソケットに差し込んだ場合、ケーブルクランプを取り付け、プリンタケーブルを通します。
- ケーブルクランプは背面の左右に用意されていますので設置場所に応じて使い分けてください。

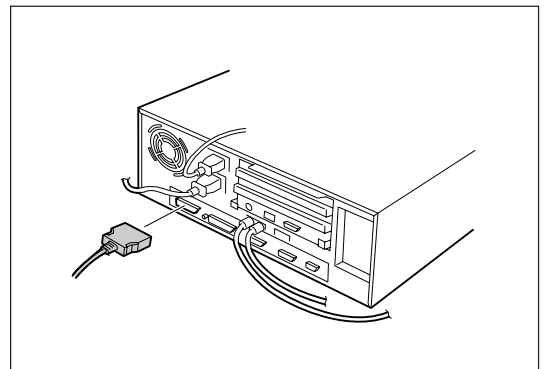


プリンタ前面のソケットに差し込んだ場合、インタフェース用カバーを差し込むことができます。



4. プリンタケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続する。

コンピュータのインタフェース用ソケットの位置については、コンピュータのマニュアルを参照してください。



プリンタを運搬・廃棄するときは

プリンタを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンタを運搬するときは、次の手順でプリンタから付属品、消耗品およびオプションを取り外してから行ってください。

1. 付属品および消耗品(EPカートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンタケーブル、キャノピー、ケーブルクランプ)を取り付けたときと逆の手順で取り外してください。(前述の「プリンタの準備」を参照してください。)



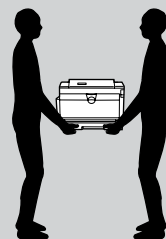
どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

2. オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、本マニュアルの3章をご覧ください。取り外しながら行ってください。
3. プリンタを緩衝材で梱包し、箱に入れます。詳しくは購入時の箱をご覧ください。購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンタに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬してください。



注意

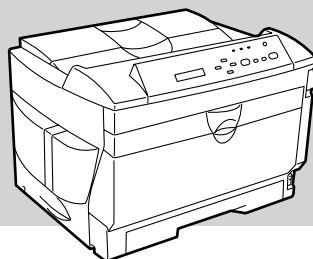
プリンタの重量は約19kgの重さがあります(EPカートリッジ含まず)。装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて二人以上で運んでください。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。



プリンタ・消耗品を廃棄するときは

- NECは使用済みのEPカートリッジの回収を行っています。EPカートリッジはそのまま捨てずに、お求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。
- 装置の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出してください。

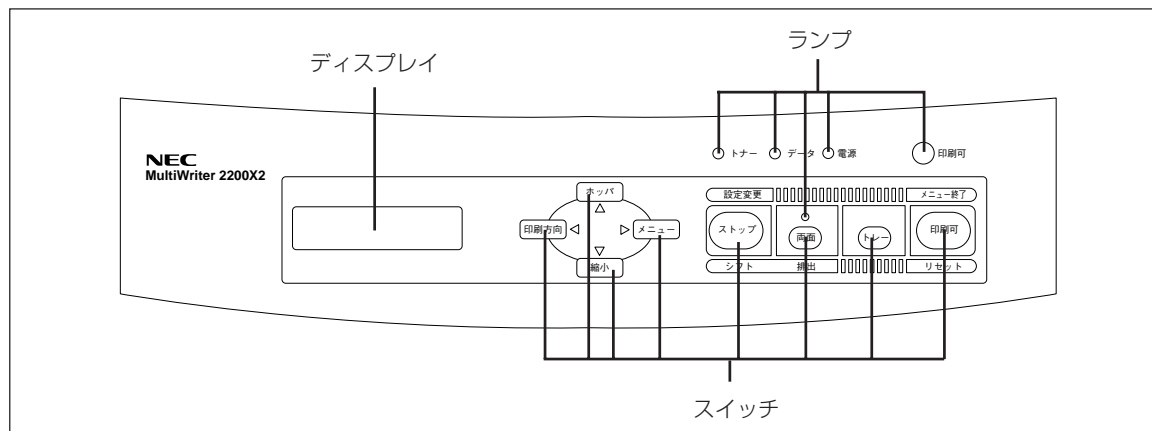
2章 操作パネルについて



操作パネルはユーザーがプリンタの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。

ここでは操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について、主にNPDLエミュレーションで使用する場合について説明します。

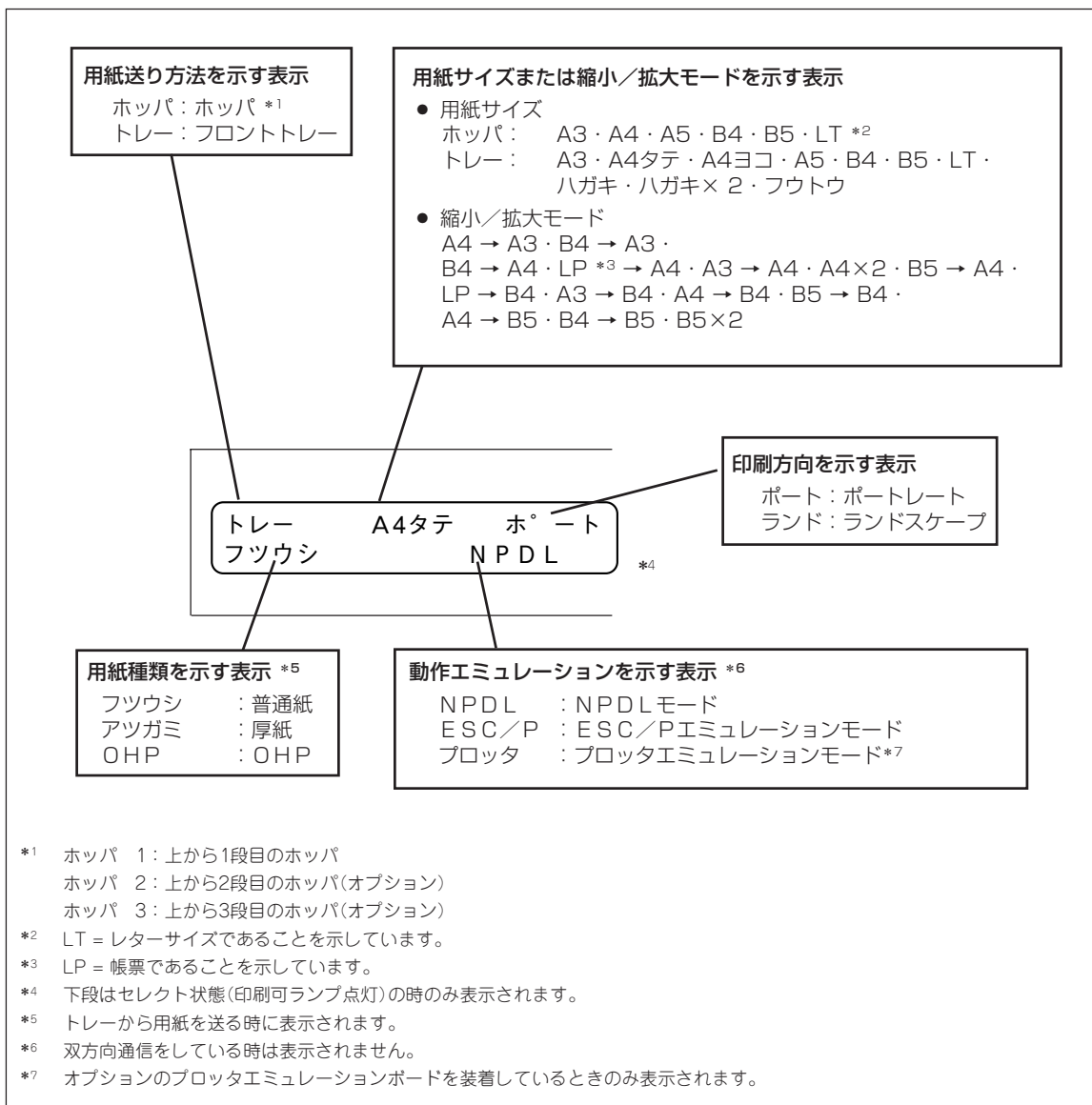
ESC/Pエミュレーションでは一部機能が異なります。詳しくは60ページで説明します。



操作パネル(MultiWriter 2200X2の場合)

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンタの状態や操作に関する情報を表示します。



ディスプレイの表示

その他の表示内容については本書「アラーム表示が出ているときは」(120ページ)、「メニューツリー」(52～59ページ)あるいはプリンタソフトウェアCD-ROM[MANUAL]の「ディスプレイ表示一覧」をご覧ください。

ランプ



印刷可

印刷可ランプ(緑/赤)

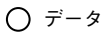
- | | |
|-------|--|
| 点灯(緑) | プリンタがセレクト状態(印刷データを受信できる状態)になっています。 |
| 点滅(赤) | 30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。
カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンタにエラーが発生している状態です。詳細については本書の「アラーム表示が出ているときは」(120ページ)をご覧ください。 |
| 消灯 | プリンタがディセレクト状態(印刷データを受信できない状態)になっています。 |



電源

電源ランプ(緑)

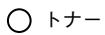
- | | |
|----|---------------------|
| 点灯 | プリンタの電源がONになっています。 |
| 消灯 | プリンタの電源がOFFになっています。 |



データ

データランプ(橙)

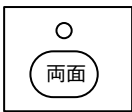
- | | |
|----|--|
| 点灯 | プリンタ内に印刷データが残っています。 |
| 点滅 | プリンタが印刷データを受信中です。 |
| 消灯 | <ul style="list-style-type: none"> ●プリンタ内にデータが残っていません。 ●プリンタはデータを受信中ではありません。 |



トナー

トナーランプ(赤)

- | | |
|----|---|
| 点灯 | EPカートリッジのトナーの残量が少ない、または寿命が近づいています。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については「EPカートリッジの交換」(101ページ)をご覧ください。 |
| 消灯 | EPカートリッジのトナーの残量が十分にあり、状態も正常です。 |



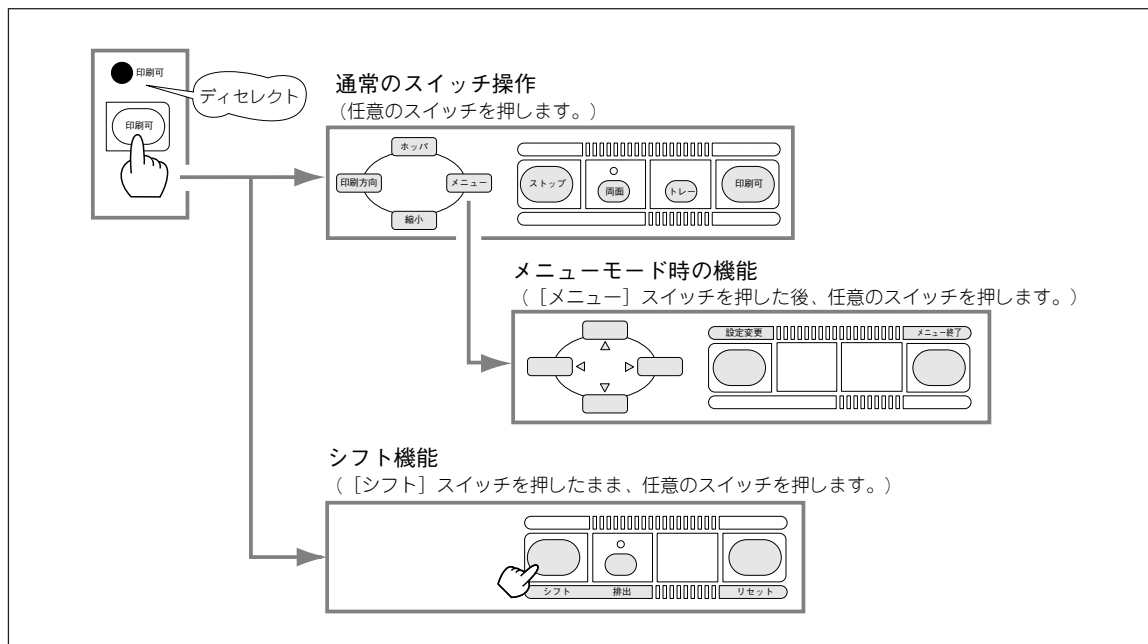
両面

両面ランプ(緑)

- | | |
|----|-------------------|
| 点灯 | 両面印刷モードに設定されています。 |
| 消灯 | 両面印刷モードではありません。 |

スイッチ

プリンタの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチには2つまたは3つの機能を持たせています。



スイッチのモード

- 通常のスイッチ機能** — [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になって初めて機能します([ストップ]スイッチを除く)。
- メニューモード時のスイッチ機能** — [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
- シフト時のスイッチ機能** — [シフト]スイッチを押しながら押しと働く機能です。



チェック

アラームランプが点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(120ページ)をご覧ください。
アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

通常のスイッチ機能

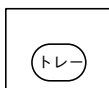


印刷可スイッチ

このスイッチはプリンタが初期設定中およびテスト印刷中以外に機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)に交互に切り替えます。



トレースイッチ

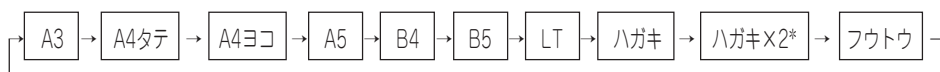
このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

トレー給紙にする。

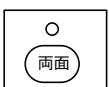
ホッパから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、トレーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

トレー給紙の用紙サイズを変更する。

トレー給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



*「ハガキ×2」は「往復はがき」を意味します。



両面スイッチ**

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

**2200XE/2000X2は両面印刷オプション装着時に機能します。

両面印刷モードにする(両面印刷モードを解除する)。

両面ランプが消灯している状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。



トレー給紙で「厚紙」または「OHP」を指定した場合に両面ランプが点灯していても、印刷は片面で行われます。



ストップスイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にします。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンタ内に残ったままになります。印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。



メニュースイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入ります。(メニュー)

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

ホッパスイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときやオプションの増設ホッパを装着しているときに機能します。

ホッパ給紙に切り替えます。

トレーから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパから用紙を送る状態に切り替わります。

ホッパを使用しているときは、このスイッチでホッパを選択します。

ホッパ給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙ホッパの設定が変わります。(選択されたホッパがディスプレイに表示されます。オプションの増設ホッパを装着しているときに機能します。)

印刷方向スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択します。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

縮小スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

縮小／拡大モードの設定を行います。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、次の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 → A3→A4 → A4×2 → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 → B5 → (繰り返し)

- LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。
- A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
- B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

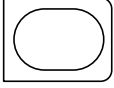


チェック

アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

メニューモード時のスイッチ機能

メニュー終了

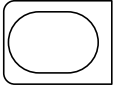


メニュー終了スイッチ

メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

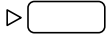
設定変更



設定変更スイッチ

メニューモード時に設定変更したい項目(レベル3)を選択します。

メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。



▶スイッチ

メニューモード中は[→]スイッチとして機能します。

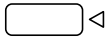
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。



▲スイッチ

メニューモード中は[↑]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



◀スイッチ

メニューモード中は[←]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。



▼スイッチ

メニューモード中は[↓]スイッチとして機能します。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



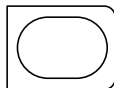
チェック

印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド(FS f c 1 c 2 c 3)によってA3、B4または帳票サイズが指定されており、ホッパにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の『NPD(L Level 2)リファレンスマニュアル』をご覧ください。

縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(52～59ページ)をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能



リセット

リセットスイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

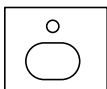
プリンタを初期状態にします。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンタは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。



チェック

リセットを行うと、スイッチを使って変更したプリンタの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細はプリンタソフトウェアCD-ROMの「NPD初期状態」をご覧ください。



排出

排出スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

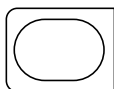
プリンタに残っている未印刷データをすべて印刷します。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンタに残っているデータをすべて印刷出力します。



チェック

プリンタ内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンタは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。



シフト

シフトスイッチ

このスイッチは常に機能します。



チェック

このスイッチが押されている間、2つのスイッチ(両面、印刷可)はそれぞれスイッチの下に表記された機能(排出、リセット)が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

メニューモード

メニューモードでは、プリンタの操作パネル上のスイッチを使ってプリンタのさまざまな設定を変更することができます。

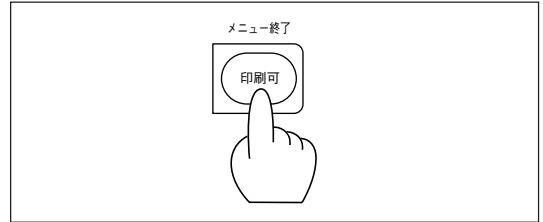
2

メニューモードでの設定変更のしかた

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

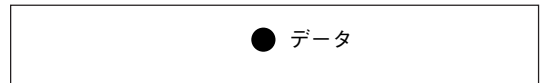
1. [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



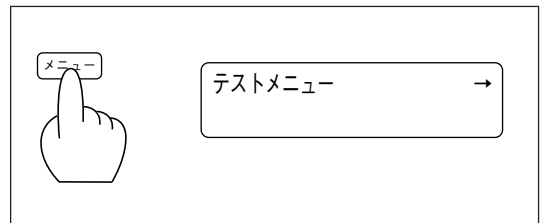
2. データランプが点灯していないことを確認する。

もし点灯していたらシフトスイッチを押しながら排出スイッチを押して、データを排出してください。



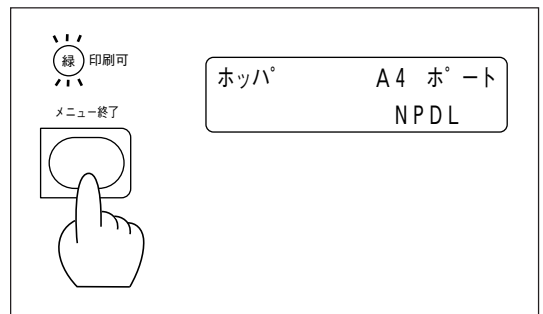
3. [メニュー]スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”を表示します。



4. メニューモードの設定内容を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧表」および52～59ページの「メニューツリー」を参照してください。
メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。



◀、▼、▶、▲スイッチ
設定変更スイッチ

このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
レベル3をひとつずつ表示し、同時に表示された内容が自動的に選択されます。

5. [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンタはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。
 また、これらの設定はメモリスイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。
 さらに詳細については、プリンタソフトウェア CD-ROM の [MANUAL] を参照してください。

メニューモード設定項目一覧(1/2)

設定項目		説明	メニューモード	メモリスイッチ (MSW)
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリスイッチの状態、漢字アウトラインフォントカードの有無など、各プリンタの状態が印刷されます。	○	×
	サンプル印刷	サンプル印刷を行います。	○	×
	連続印刷	連続印刷（テスト印刷）を行います。	○	×
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	○	×
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	○	×
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	○	×
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパ設定を選択します。	○	×
	用紙サイズ設定	ホッパ給紙時の用紙サイズ設定を選択します。	○	×
	トレイ用紙種別	トレイで使用する用紙の種別を選択します。	○	×
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整		○	×
	ホッパ2微調整		○	×
	ホッパ3微調整		○	×
	トレイ微調整		○	×
	表面微調整		○	×
	裏面微調整		○	×
両面印刷メニュー	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	○	×
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	○	×
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	○	×
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	○	×

メニューモード設定項目一覧(2/2)

2

設定項目		説明	メニューモード	メモリスイッチ (MSW)
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	自動排出*	自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。	○	×
	メモリ設定	プリンタが持つメモリの使用方法を選択します。	○	×
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	×
	ANK	1バイトコード系のフォントのANK文字を選択します。	○	×
	漢字	標準フォント (2バイト文字) を選択します。	○	×
	漢字1	漢字1のフォントとして漢字アウトラインフォントのカードを選択します。	○	×
	漢字2	漢字2のフォントとして漢字アウトラインフォントのカードを選択します。	○	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	○	×
動作メニュー	動作エミュレーション	プリンタ前面、背面のインタフェースで個別にプリンタの動作モードを設定します。	○	×
	動作自動切り替え	自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。	○	×
NPD設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	○
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○
プロッタ設定	ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出の選択をします。	○	×	
RS232C設定メニュー	RS232Cインタフェースの通信速度、通信プロトコル、通信データのパリティ、データビット、ストップビットの選択をします。	○	×	
設定初期化メニュー	初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	○	×
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	○	×
	記憶	メニューモード内の各種機能設定とトレースイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	○	×
メモリスイッチメニュー	メニューモードの中で比較的可変頻度の低いものがまとめられています。	×	×	

* コンピュータに負荷がかかっている場合やネットワークのトラフィックが多い場合、自動排出までの待ち時間(最大30秒)以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

メモリスイッチの内容

メモリスイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。

メモリスイッチは1-1から8-8まであります（未使用のスイッチもあります）。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容

番号	機能	0	1	ESC/Pモードでの機能
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1/0の組み合わせにより5か国語の文字を切り替えます。(プリンタソフトウェアCD-ROM[MANUAL]参照)		○
1-2		すべて0(日本語)		
1-3				
1-4	グレースケールの網点を細かく印刷	粗い	細かい	×
1-5	DC1、DC3の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他	×
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	○
2-1	1バイトコード系のゼロの字形の切り替え	0	∅	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	201PLIエミュレーション	ページプリンタ(NPDL)	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード	×
2-4 ~2-5	(未使用)			—
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁	○
2-8	B4→A4縮小の縮小率	4/5	2/3	○
3-1	レフトマージン量の設定または用紙位置 微調整量の設定(136桁モード)	4つのスイッチの1/0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位)(プリンタソフトウェアCD-ROM[MANUAL]参照)		○
3-2		すべて0(0インチ)		
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)	左	右	○
3-6	用紙位置の設定(136桁モード)	左端合わせ	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え	無効	有効	×
3-8	プザー機能の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
4-1	解像度の選択	600dpi	400dpi	○
4-2	(未使用)			—
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	初期化する	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	出力する	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り	○
4-6 ~4-8	(未使用)			—

○：有効 ×：無効

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容(続き)

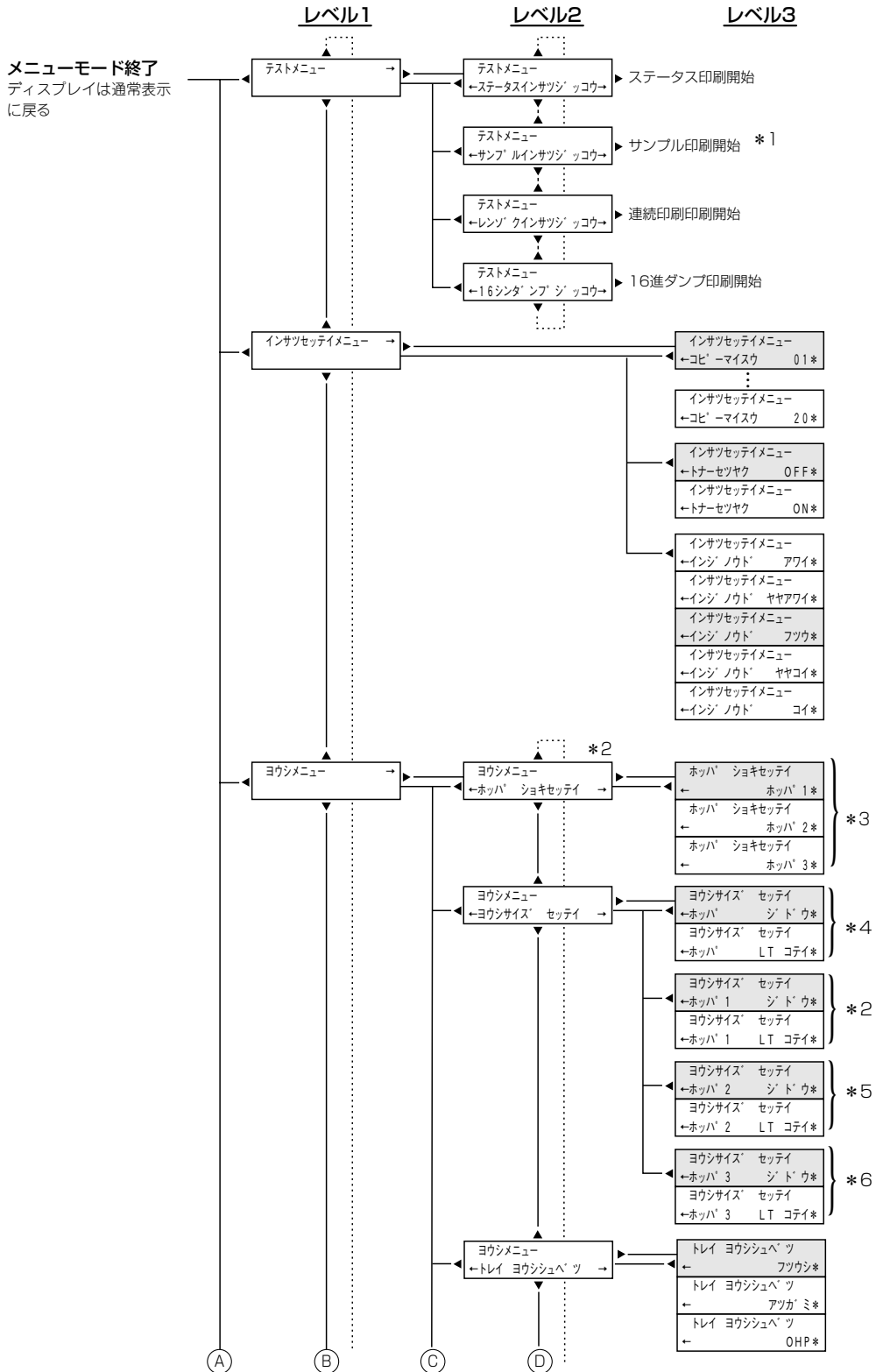
番号	機能	0	1	ESC/Pモードでの機能
5-1	同期コードの有効/無効の切り替え*	無効	有効	×
5-2 ~5-8	(未使用)			—
6-1	SETを使用する/しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-2	メモリアーバー時の動作指定	停止する	解像度を落として印刷	○
6-3 ~6-6	(未使用)			—
6-7	節電機能を使用する/しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-8	(未使用)			—
7-1	データストップのデータラッチタイミング (前面のセントロニクス・インタフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-2	データストップのデータラッチタイミング (背面のセントロニクス・インタフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-3	(未使用)			—
7-4	ホッパ2に装着した増設ホッパの種類	増設ホッパ(250)	増設ホッパ(500)	○
7-5	ホッパ3に装着した増設ホッパの種類	増設ホッパ(250)	増設ホッパ(500)	○
7-6	(未使用)			—
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する/しないの切り替え	表示する	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする/しないの切り替え	自動縮小する	自動縮小しない	×
8-1 8-2	ピジアクノリッジ(BUSY-ACK)のタイミング(前面セントロニクスインタフェース) (組み合わせとタイミングについてはプリンタソフトウェアCD-ROM「MANUAL」を参照のこと)	2つのスイッチの1/0の組みあわせで、BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA (8-1:0、8-2:0)		○
8-3 8-4	アクノリッジ(ACK)の幅(前面セントロニクス・インタフェース) (組み合わせとタイミングについてはプリンタソフトウェアCD-ROM「MANUAL」を参照のこと)	2つのスイッチの1/0の組みあわせで、ACKの幅を切り替えます。 1μs (8-3:0、8-4:0)		○
8-5 8-6	ピジアクノリッジ(BUSY-ACK)のタイミング(背面セントロニクスインタフェース) (組み合わせとタイミングについてはプリンタソフトウェアCD-ROM「MANUAL」を参照のこと)	2つのスイッチの1/0の組みあわせで、BUSY-ACKのタイミングを切り替えます。 タイミングA (8-5:0、8-6:0)		○
8-7 8-8	アクノリッジ(ACK)の幅(背面セントロニクス・インタフェース) (組み合わせとタイミングについてはプリンタソフトウェアCD-ROM「MANUAL」を参照のこと)	2つのスイッチの1/0の組みあわせで、ACKの幅を切り替えます。 1μs (8-7:0、8-8:0)		○

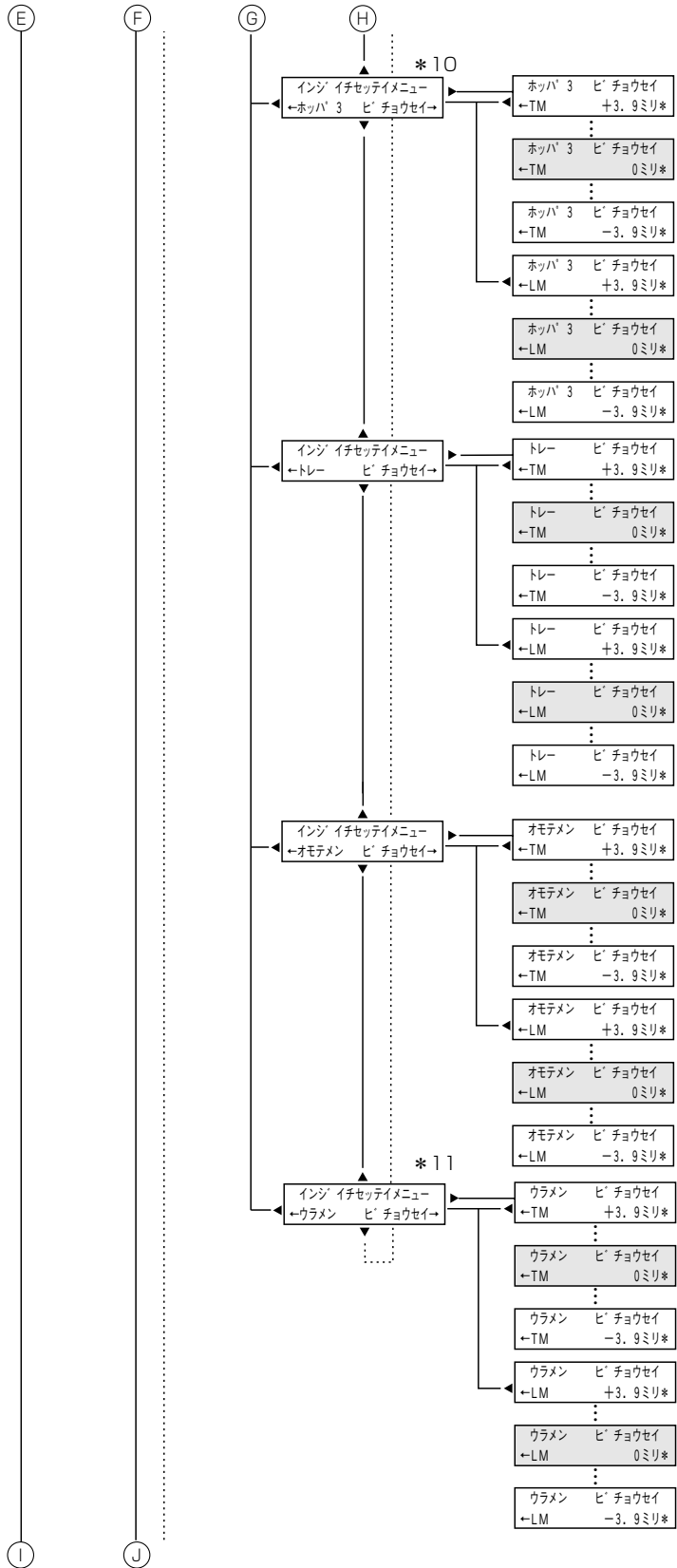
○：有効 ×：無効

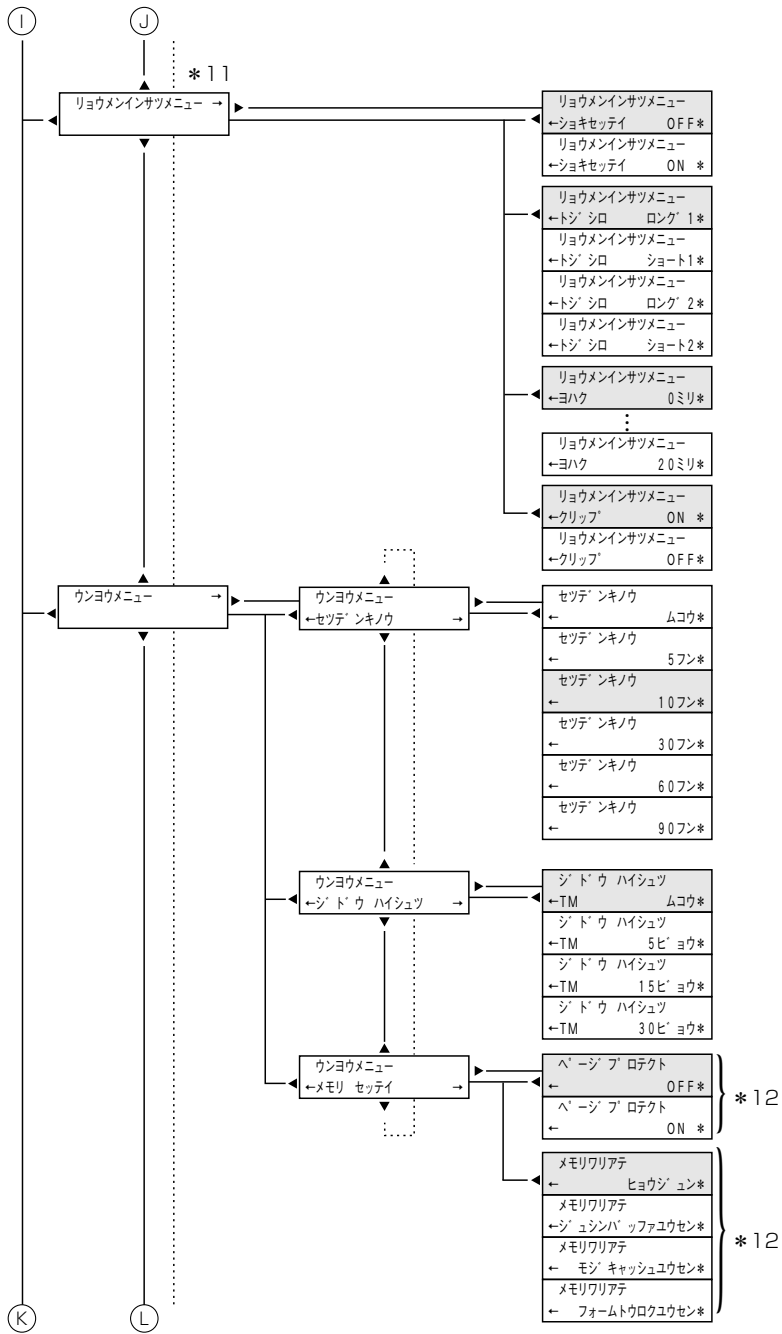
* Windowsから印刷を行う場合はMSW5-1をOFF (0) に、PC-PTOSから印刷を行う場合はMSW5-1をON (1) にしてください。

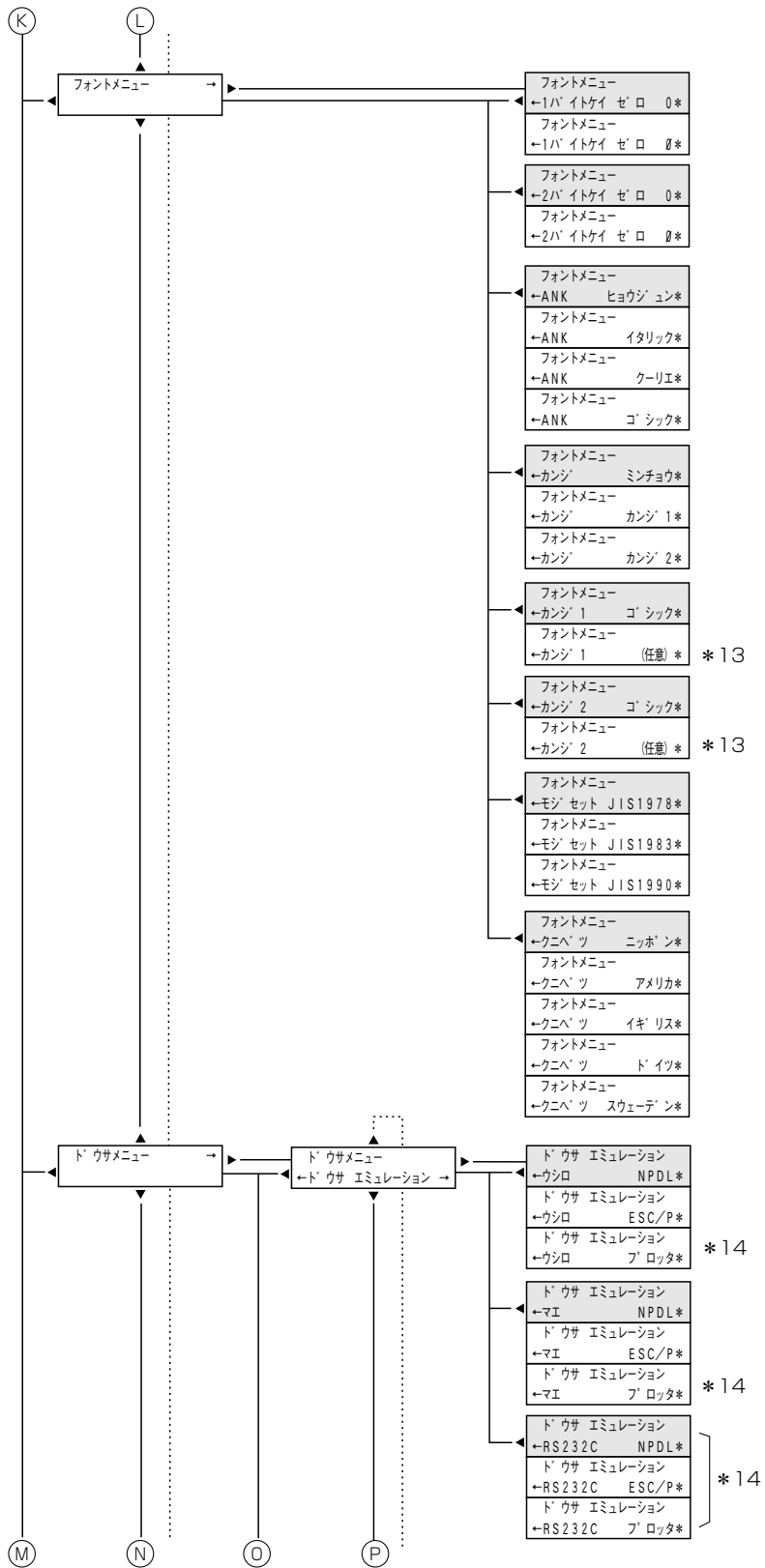
メニューツリー

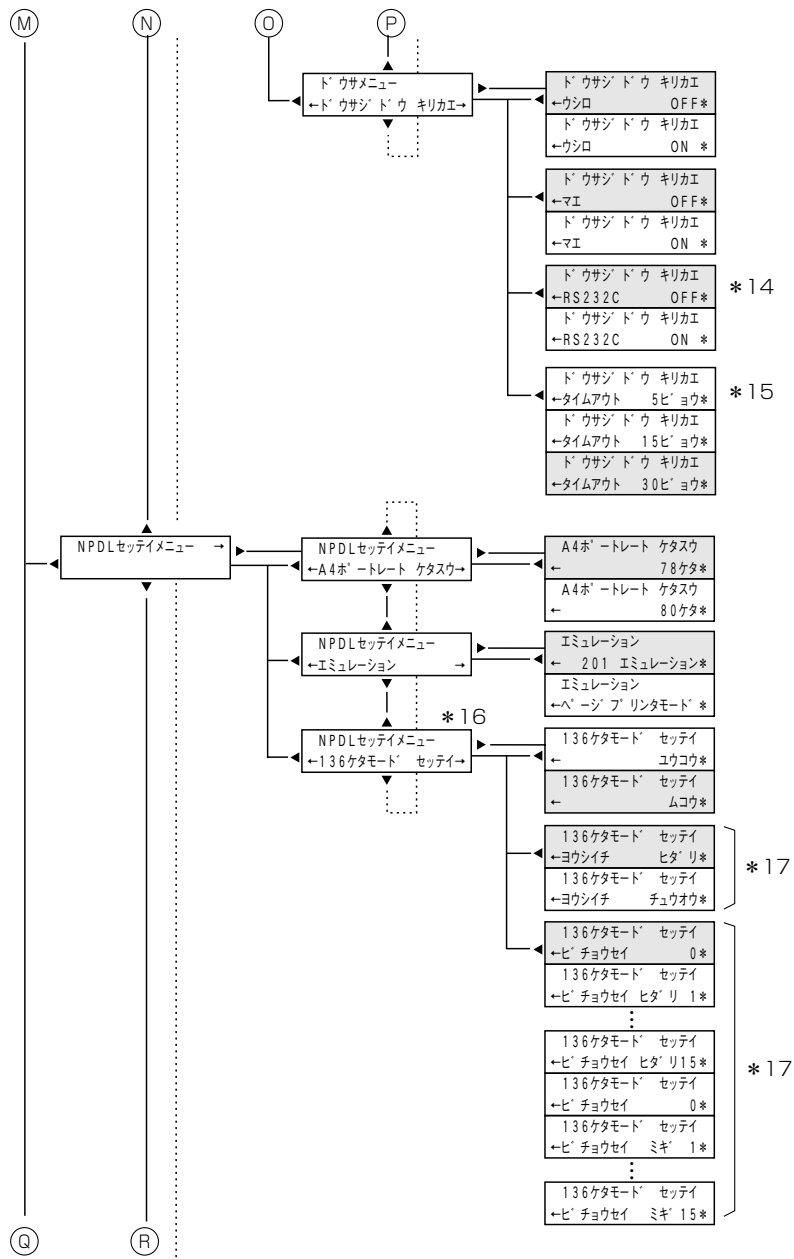
次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(網掛け部分は工場設定値です。)

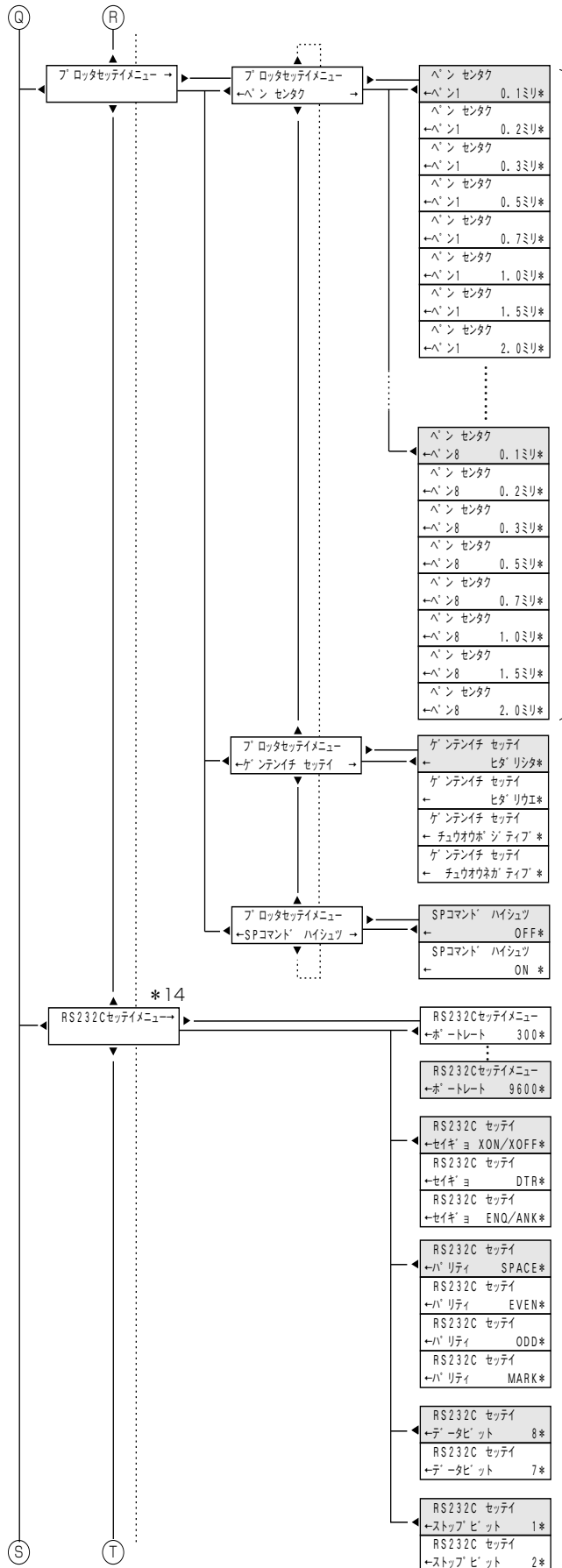






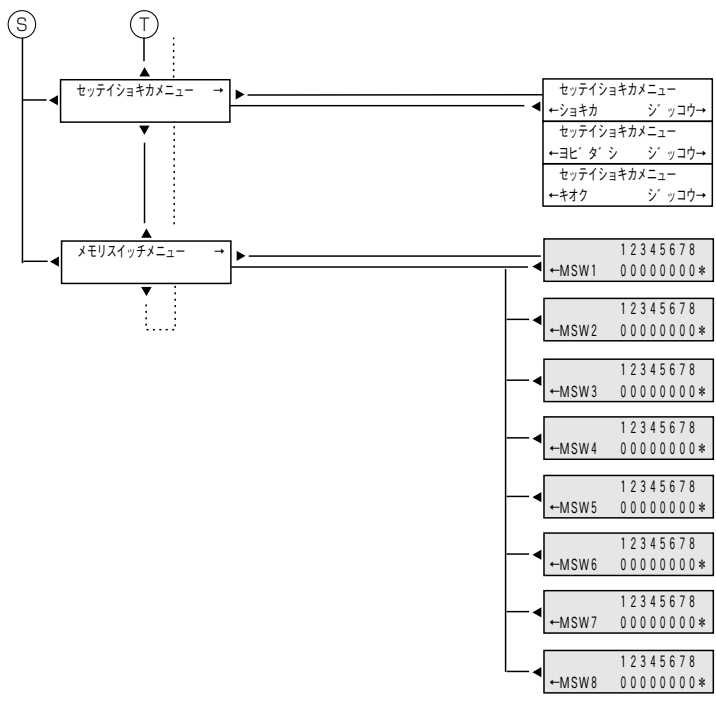






* 14

* 14



- *1 設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
- *2 ホッパが2段以上のときのみ表示されます。
- *3 装着されているホッパのみ表示されます。
- *4 ホッパが1段のときのみ表示されます。
- *5 ホッパ2が装着されていて、MSW7-4=0のときのみ表示されます。
- *6 ホッパ3が装着されていて、MSW7-5=0のときのみ表示されます。
- *7 ホッパ2が装着されているときのみ表示されます。
- *8 ホッパ3が装着されているときのみ表示されます。
- *9 ホッパ2が装着されているときのみ表示されます。MSW7-4=1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4=0で250枚用の値を表示・設定します。
- *10 ホッパ3が装着されているときのみ表示されます。MSW7-5=1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5=0で250枚用の値を表示・設定します。
- *11 MultiWriter 2200XE/2000X2では、両面印刷ユニット(オプション)が装着されているときのみ表示されます。
- *12 増設されているメモリ量により表示・設定できる項目が異なります。
- *13 (任意)の部分には、フロントカードが装着されているときに表示されます。
- *14 プロッタエミュレーションボード(オプション)が装着されているときのみ表示されます。
- *15 マエ、ウシロのいずれかのインタフェースの設定が1のときのみ表示されます。
- *16 201エミュレーションモード時のみ表示されます。
- *17 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。

ESC/Pエミュレーションでの機能

プリンタのメニューモードの設定項目のうち、一部の項目はESC/Pエミュレーションでは無効となります。ESC/Pエミュレーションで有効なもの、無効なものは次の表のとおりです。(無効とは、そのときのエミュレーションの印刷に影響を与えないということであり、メニュー、メモリスイッチの切り替えは可能です。)

メモリスイッチのESC/Pエミュレーションでの有効なもの、無効なものは、「メモリスイッチの内容」(50～51ページ)をご覧ください。

機能	ESC/P	機能	ESC/P
テストインサツメニュー		フォントメニュー (続き)	
ステータスインサツジッコウ	○	ANK クーリエ	○
サンプルインサツジッコウ	○	ANK ゴシック	○
レンゾクインサツジッコウ	○	カンジ ミンチョウ	○
16シンドンプジッコウ	○	カンジ カンジ1	○
インサツセッテイメニュー		カンジ カンジ2	○
コピーマイスウセッテイ	○	カンジ1 ゴシック	×
トナーセツヤク	○	カンジ1 (任意)	×
インジノウド	○	モジセット JIS1978	1983固定
ヨウシメニュー		モジセット JIS1983	○
ホッパショキセッテイ	○	モジセット JIS1990	1983固定
ヨウシサイズセッテイ	○	クニベツ ニッポン	○
トレーヨウシシュベツ	○	クニベツ アメリカ	○
リレーキュウシセッテイ	○	クニベツ ドイツ	○
ジョブセパレートキノウ	○	クニベツ スウェーデン	○
インジイセッテイメニュー		ドウサメニュー	
ホッパ1ピチョウセイ	○	ドウサエミュレーション	○
ホッパ2ピチョウセイ	○	ドウサジドウキリカエ	○
ホッパ3ピチョウセイ	○	NPDセッテイメニュー	
トレーピチョウセイ	○	A4ポートレートケタスウ	○
オモテメンピチョウセイ	○	エミュレーション	○
ウラメンピチョウセイ	○	136ケタモードセッテイ	
リョウメンインサツメニュー	○	136ケタモード ユウコウ	○*
ウンヨウメニュー		ヨウシイチ	○
セツデンキノウ	○	ピチョウセイ	○
ジドウハイシュツ	○	プロッタセッテイ	
メモリセッテイ	○	ペンセンタク	×
フォントメニュー		ゲンテンイチセッテイ	×
1バイトケイゼロ	○	SPコマンドハイシュツ	×
1バイトケイゼロ (斜線付き)	○	RS232Cセッテイメニュー	○
2バイトケイゼロ	○	セッテイショキカメニュー	○
2バイトケイゼロ (斜線付き)	○	メモリスイッチメニュー	50～51 ページ参照
ANK ヒョウジュン	○		
ANK イタリアック	○		

○：有効 ×：無効 *136桁モード固定

- メニューの[フォント]の“カンジ”を、「ミンチョウ」に設定すると明朝体を、「カンジ1」に設定するとゴシック体を印刷します。「ミンチョウ」と「カンジ1」は、ESC/Pコマンドの「FS k(漢字の書体選択)」によって切り替えることができます。
- ESC/Pエミュレーションでは、文字セットは常に“JIS1983”になります。
- ESC/Pエミュレーションでは、常に136桁モードになります。
- 「ジドウハイシュツ」の設定では、アプリケーションによっては設定時間以上にデータの送信が停止すると印刷が正常に行えない場合があります。この場合には、「ムコウ」設定にしてください。

PC-PTOS環境での機能

PC-PTOSから使用する場合は、メモリスイッチ5-1を「有効(ON)」にし、それ以外のメニュー、メモリスイッチの各種設定はすべて出荷時設定のままお使いください。メニューの出荷時設定はプリンタソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]をご覧ください。メモリスイッチの出荷時設定は「メモリスイッチの内容」(50～51ページ)をご覧ください。

設定の内容によっては印刷結果が不正になる場合があります。ただし、以下の項目についてはPC-PTOSからの印刷でも設定を変えて使用することができます。

メニューの設定

- 各種テスト印刷／16進ダンプの実行
- 各種環境の設定*1
- 用紙の設定*1
- 印字位置微調整の設定
- 運用環境の設定
- フォント環境の設定*2
- 動作環境の設定
- NPDL環境の設定
 - A4ポートレート桁数
 - 136桁モード設定
- RS232C環境の設定
- メニュー項目の設定

*1 印刷環境の設定中のコピー枚数設定、用紙の設定中のホッパ初期設定に関しては、使用するアプリケーションによってはアプリケーションでの指定が優先されます。

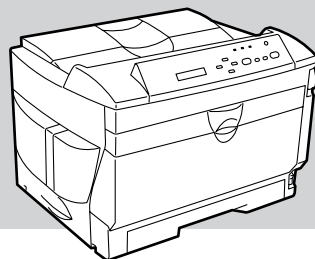
*2 PC-PTOSで規定した字形で印字する場合は、出荷時設定のままで使用してください。

メモリスイッチの設定(メニューで設定できるものを除く)

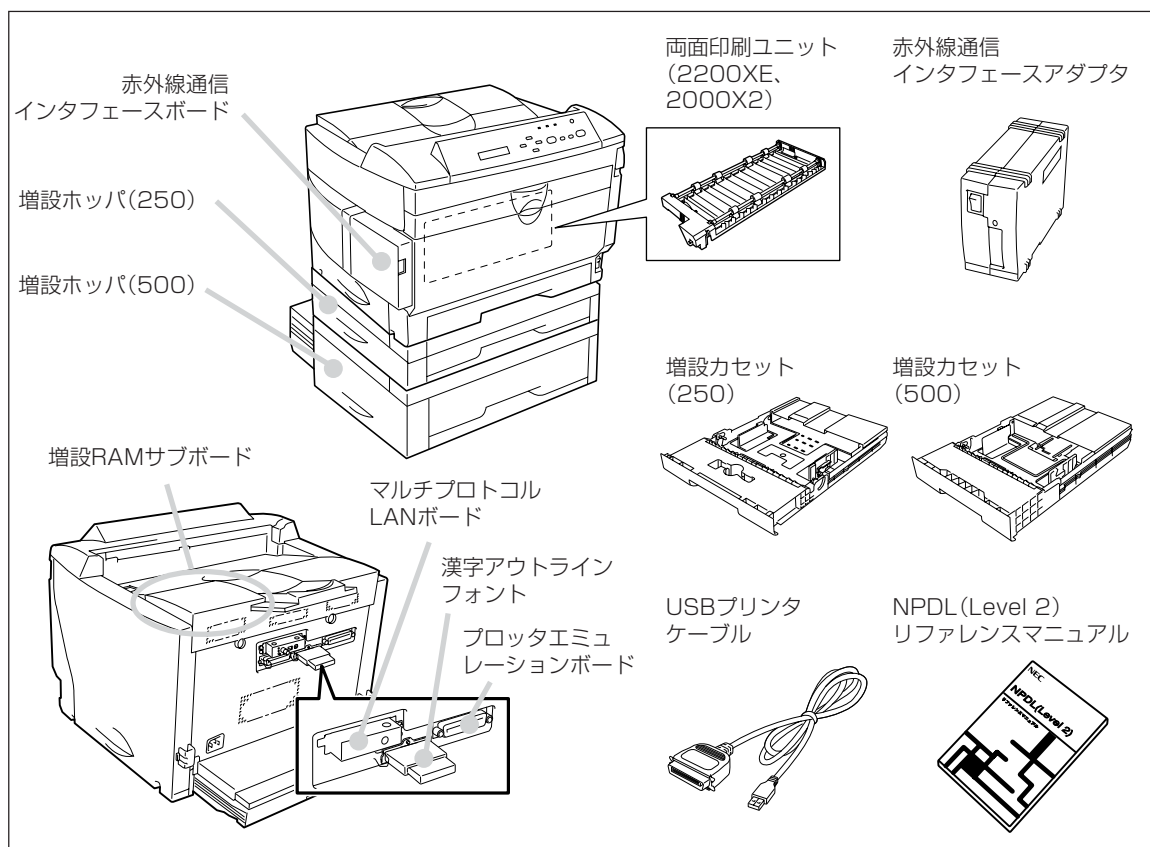
- | | |
|-------------------|------------------------------|
| (1-5) | DC1、DC3の有効／無効の切り替え |
| (1-6) | 自動復帰改行の切り替え |
| (1-7) | 印刷指令の切り替え |
| (1-8) | CR機能の切り替え |
| (2-3) | グラフィックモードの切り替え |
| (2-6) | 7ビット／8ビットデータの切り替え |
| (2-8) | B4→A4縮小の縮小率 |
| (3-8) | ブザーの有効／無効の切り替え |
| (4-1) | 解像度の選択 |
| (4-3) | ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え |
| (4-4) | FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え |
| (4-5) | ランドスケープの方向の切り替え |
| (5-1) | 同期コードの有効／無効の切り替え |
| (6-1) | SETを使用する／しないの設定 |
| (6-2) | メモリアオーバー時の動作指定 |
| (7-1、7-2) | データストロープのデータラッチタイミングの設定 |
| (7-4) | ホッパ2に装着した増設ホッパの種類 |
| (7-5) | ホッパ3に装着した増設ホッパの種類 |
| (7-7、7-8) | FS fコマンドの動作に関する設定 |
| (8-1、8-2、8-5、8-6) | ビジーアクノリッジのタイミングの設定 |
| (8-3、8-4、8-7、8-8) | アクノリッジの幅の設定 |

PC-PTOS環境でプリンタをご使用になる前には、ユーザーズマニュアル(2/2)(172ページ)「PC-PTOS環境でプリンタを選択する」をお読みください。PC-PTOS環境とWindows環境でプリンタを共用してご使用になる場合は、PrintAgentは使用できません。

3章 オプション



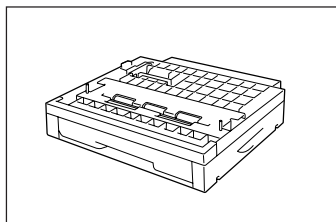
この章では、2200X2/2200XE/2000X2に豊富に取りそろえられているオプション品を紹介し、その取り付け方、テスト印刷のしかた、また取り外し方などについて説明します。特に指定のない場合はすべてのモデルに対応します。



オプション品の紹介

オプション品のご購入にあたりましては、お買い求めの販売店またはお近くのBit-INN、NECマイコンショップなどにお問い合わせください。

増設ホッパ(250) (PR-L2200X2-02)

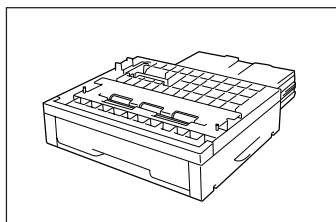


A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ用紙(普通紙)を250枚までセットすることができます。上から2段目、3段目に増設できます。

PR2000/4R-02は2200X2/2200XE/2000X2では使用できません。お買い求めの際はご注意ください。PR2200X-02は外観色が異なりますが、問題なく使用できます。

サイズ： 460(W)×566(D)×95(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
460(W)×491(D)×95(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)
重量： 約5.3kg

増設ホッパ(500) (PR-L2200X2-03)

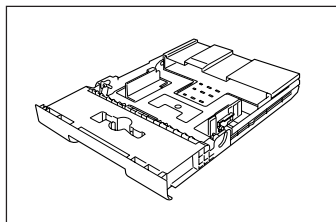


上から2段目、3段目に増設できます。

A3、A4、B4用紙(普通紙)を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03は使用できません。お買い求めの際はご注意ください。PR2200X-03は外観色が異なりますが、問題なく使用できます。

サイズ : 460(W)×590(D)×120(H)mm
重量 : 約6kg

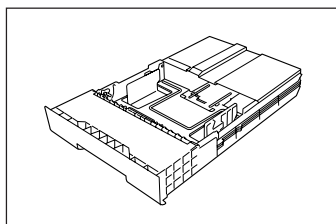
増設カセット(250) (PR-L2200X2-04)



2200X2/2200XE/2000X2のホッパ、増設ホッパ(250)用の増設カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意して、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換して使用する場合に便利です。PR2200X-04は外観色が異なりますが、問題なく使用できます。

サイズ : 387(W)×566(D)×54(H)mm
(A3、B4サイズセット時、最大)
387(W)×491(D)×54(H)mm
(A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)
重量 : 約1.8kg

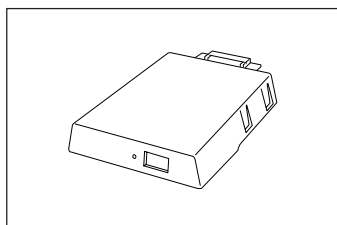
増設カセット(500) (PR-L2200X2-05)



増設ホッパ(500)用の増設カセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。PR2200X-05は外観色が異なりますが、問題なく使用できます。

サイズ : 387(W)×590(D)×79(H)mm
重量 : 約2.1kg

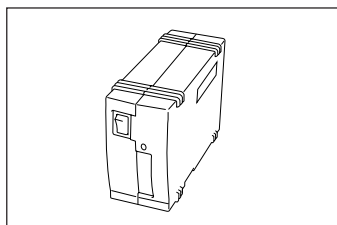
赤外線通信インタフェースボード (PC-PR-R01)



プリンタケーブルを使用せずに赤外線通信で印刷をすることができます。

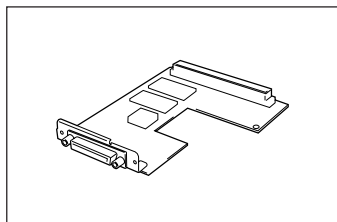
PC-PR-R01は、プリンタのフロントインタフェースコネクタに接続するプラグインタイプのインタフェースボードです。IrDA規格に準拠した赤外線通信機能を装備し、コンピュータとプリンタをワイヤレス(プリンタケーブルを使用しない)接続することができます。Windows 95環境のみ対応。
ただし、PrintAgentのように双方向通信が必要な機能は使用できません。

赤外線通信インタフェースアダプタ (PC-CA291)



PC-CA291は、インタフェースケーブルを使ってプリンタに接続する外付けタイプのインタフェースアダプタです。IrDA規格に準拠した赤外線通信機能を装備し、コンピュータとプリンタをワイヤレス(プリンタケーブルを使用しない)接続することができます。Windows 95環境のみ対応。
ただし、PrintAgentのように双方向通信が必要な機能は使用できません。

プロッタエミュレーションボード (PR2200X-06)

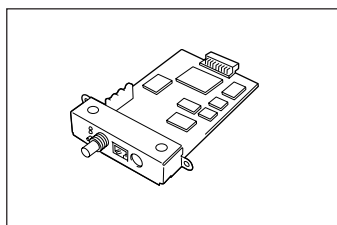


プロッタHP 7550対応のアプリケーションから印刷することができます。

横河ヒューレット・パッカード社のプロッタHP 7550のアプリケーションから印刷することができるプリンタ内蔵型のプロッタエミュレーションボードです。RS-232Cインタフェースとしても利用できます。

2200X2/2200XE/2000X2ではPR2200X-06以外のプロッタエミュレーションボードは使用できません。お買い求めの際はご注意ください。

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01)



10BASE2、10BASE-T、LocalTalkインタフェースを装備しているプリンタ内蔵型のLANボードです。

LANに接続したり、Macintoshから印刷したりすることができます。

PC-PR-L01はNetWare (IPX/SPX)、LANマネージャ (NetBEUI)、Windows NT (TCP/IP、DLC)、Windows 95、UNIX (TCP/IP(ftp、lpr))、Macintosh (AppleTalk)の各ネットワークに対応しています。

また別売りの拡張プリンタドライバ(PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

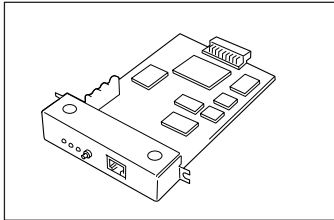


チェック

マルチプロトコルLANボード (PC-PR-L01)が対応しているネットワーク環境

NetWare: NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)、IntranetWare(4.11J)
 Windows NT: Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
 LANマネージャ: OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LANサーバJ3.0
 Windows 95: 添付のアプリケーションにより対応
 Macintosh: 漢字Talk7.1.x、7.5、7.5.1、7.5.2、7.5.3、7.5.5、Mac OS 7.6、7.61、8.0(ただしQuickDraw GXには対応していません)
 UNIX: TCP/IP(ftp、lpr)

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)



100BASE-TX、10BASE-Tに対応しているプリンタ内蔵型のLANボードです。

PC-PR-L02はNetWare (IPX/SPX)、Windows NT (TCP/IP、DLC)、Windows 95、UNIX (TCP/IP(ftp、lpr))の各ネットワークに対応したマルチプロトコルLANボードです。

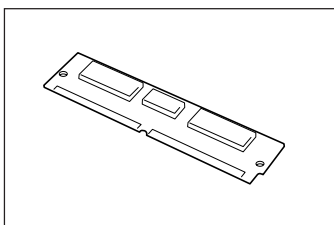


チェック

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)が対応しているネットワーク環境

NetWare: NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)、IntranetWare (4.11J)
 Windows NT: Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
 Windows 95: 添付のアプリケーションにより対応
 UNIX: TCP/IP(ftp、lpr)

増設RAMサブボード



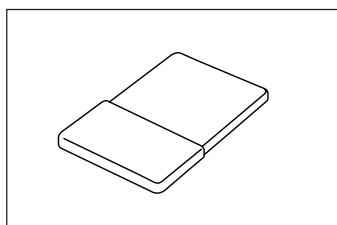
PC-9821-ME2、PC-9821-ME3、PC-9821-ME4は、それぞれ8MB、16MB、32MBのRAMを搭載した拡張メモリボードです。2200X2/2200XE/2000X2には1枚だけ取り付けることができます。

アウトラインフォントを多用した文章や、増設ホッパ装着時の印刷速度を向上させることができます。また、より多くのフォーム登録を可能にしたり、印刷時におけるメモリ不足を解消することができます。ユーザーズマニュアル[2/2]の表「メモリ増設」(210ページ)をご覧ください。必要な分だけメモリ容量を増設してください。

- PC-9821-ME2(8MB)
- PC-9821-ME3(16MB)
- PC-9821-ME4(32MB)

PC-9821-ME2、ME3、ME4以外の増設RAMサブボードは2200X2/2200XE/2000X2では使用できませんのでお買い求めの際はご注意ください。

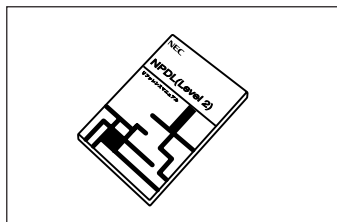
漢字アウトラインフォントカード



丸ゴシック体、教科書体、瑞筆行書体の各種フォントを使って印刷することができます(ESC/Pモードでは効果がありません)。

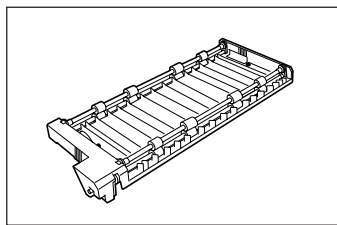
- 丸ゴシック体-M (PC-PRPF-01)
- 教科書体-M (PC-PRPF-02)
- 瑞筆行書体-M (PC-PRPF-03)

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル(PC-PRNPDL2-RM)



2200X2/2200XE/2000X2の様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

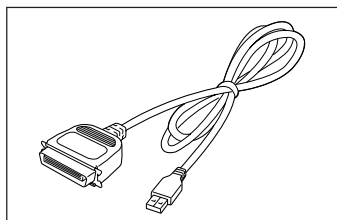
両面印刷ユニット(PR-L2000X2-DL)



2200XE/2000X2で両面印刷を行うことができます。

印刷できる用紙については、付録「両面印刷時の用紙の規格」(133ページ)をご覧ください。

USBプリンタケーブル(PR-CA-U01)



USBスロットをもつコンピュータと接続するためのケーブルです(PC98-NXシリーズでご使用いただけます)。

Windows 95(OSR2.1以降)にのみ対応しています。双方向通信については一部ご使用できない機能があります。

USBプリンタケーブルをご使用になる場合、USBプリンタケーブルドライバをインストールする必要があります。すでにコンピュータにUSBプリンタケーブルドライバがインストールされている場合、USBプリンタケーブルドライバのアップデートが必要になる場合があります。(アップデートの方法については「USBUPDT」ディレクトリ内のReadmeをご覧ください。)

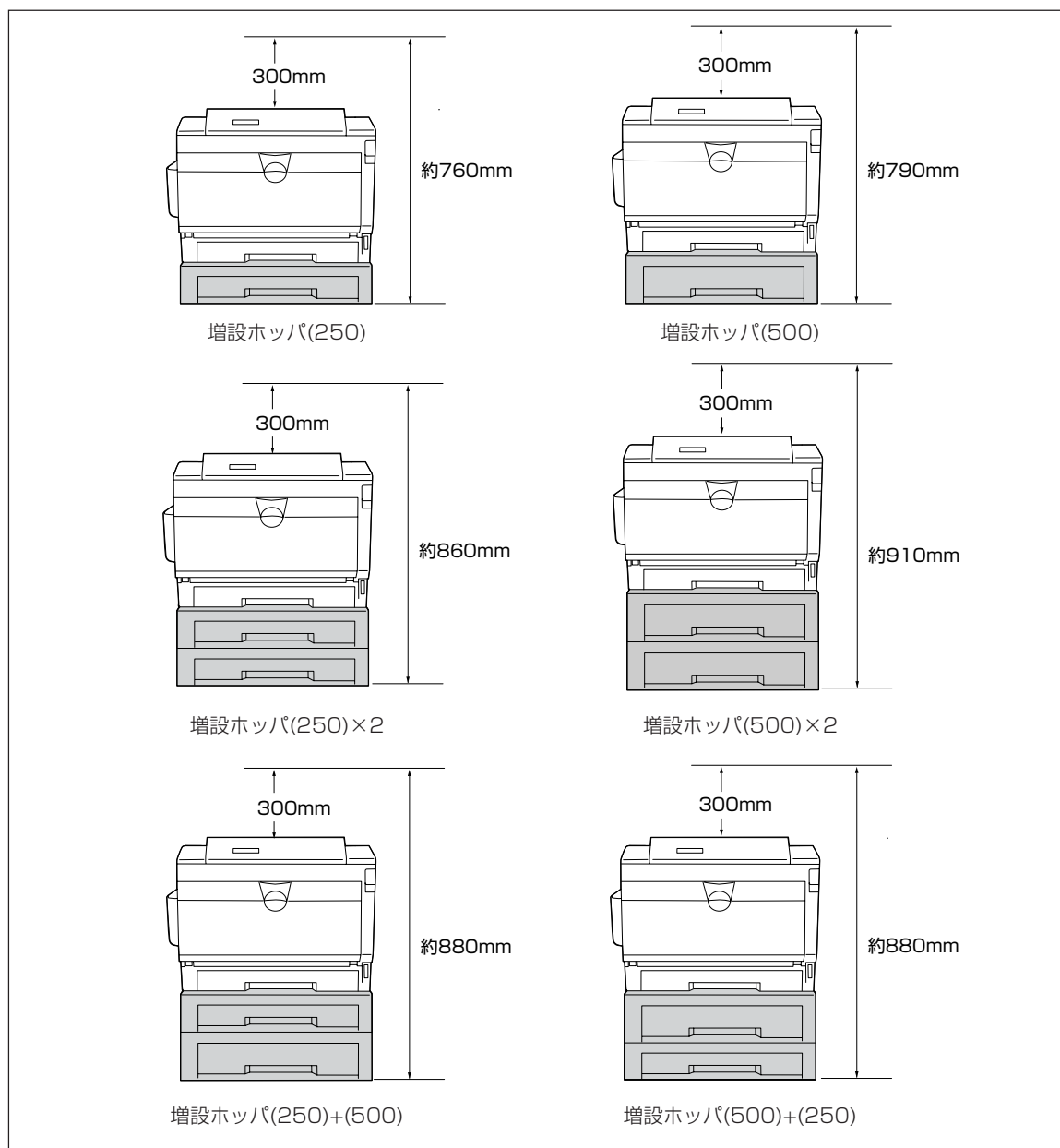
USBプリンタケーブルの抜き差しを行う場合は、プリンタステータスウィンドウを閉じてください。USBプリンタケーブルに関する最新情報は情報サービス窓口(10ページ参照)より提供していますので、ご利用ください。

増設ホッパ

2200X2/2200XE/2000X2には大量印刷をサポートするために、PR-L2200X2-02増設ホッパ(250)とPR-L2200X2-03増設ホッパ(500)の2種類の増設ホッパが用意されています。PR2200X-02とPR2200X-03は外観色が異なりますが、問題なく使用できます。

増設ホッパの設置に必要な高さ

増設ホッパを設置するために必要な高さを示します。プリンタの周囲に必要な設置スペースについては12ページをご覧ください。



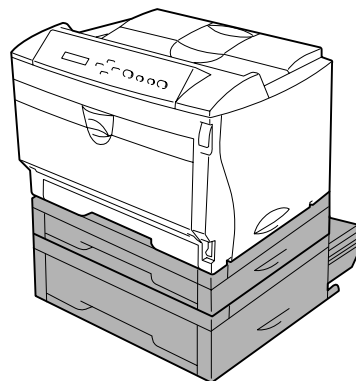
設置に必要な高さ

増設ホッパの取り付け

増設ホッパ(250)/(500)は、上から2段目(ホッパ2)、3段目(ホッパ3)どちらにでも取り付けることができます。2段目と3段目に取り付ける方法は同じです。ここでは2段目に取り付ける方法を示します。

⚠ 注意

プリンタと標準ホッパは合わせて約19kgの重さがあります。取り付けは2名以上で行ってください。



3

1. プリンタの電源をOFFにし、電源コードとインタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外す。



電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

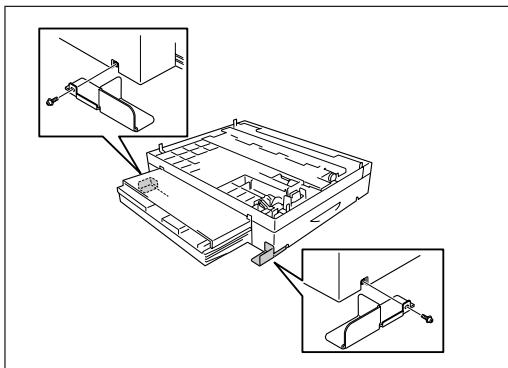
2. プリンタを一時的に移動する。

プリンタの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

3. 増設ホッパにステーを取り付ける。



ステーは設置するとき一番下になるホッパ下側後方の切り欠き部に取り付けてください。



4. プリンタのあった場所に増設ホッパを置く。

増設ホッパの向きに注意してください。

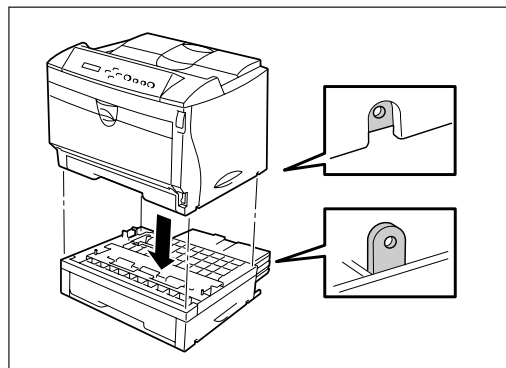
5. 増設ホッパの上にプリンタを取り付ける。

取り付けピンと接続コネクタに合わせて、プリンタを増設ホッパの上に静かに置きます。

このとき、プリンタの切り欠き部と増設ホッパ側の取り付け金具が合っていることを確認します。



増設ホッパを3段目にも取り付ける場合は、3段目の増設ホッパを設置した後、2段目の増設ホッパ、プリンタの順でひとつずつ乗せてください。



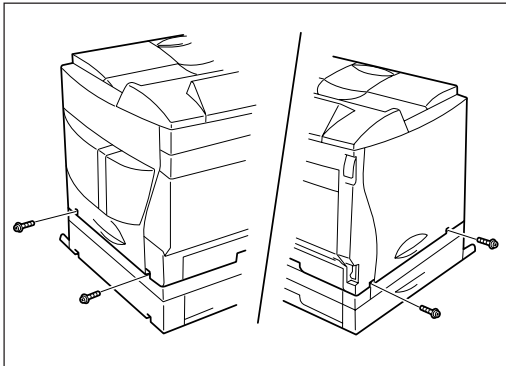
6. プリンタと増設ホッパをネジで固定する。

ネジを固定する部分は、プリンタ左側面に2か所、右側面に2か所あります。4か所ともしっかりと固定してください。



チェック

増設ホッパを3段目にも取り付ける場合は、さらに4か所ネジで固定してください。



7. 電源コードとインターフェースケーブルをプリンタに取り付ける。



チェック

増設ホッパの用紙カセットにはカセット内にセットされている用紙サイズを外見から確認するための用紙ラベルセットが添付されています。カセット前面の見やすい場所に貼り付けてお使いください。

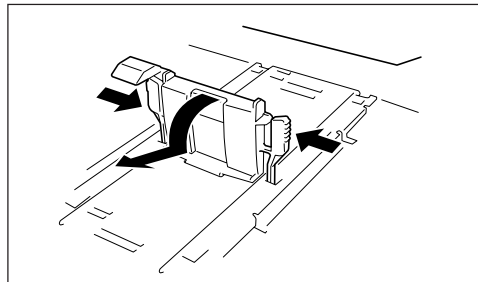
増設ホッパへの用紙のセット

増設ホッパへの用紙のセット方法は標準ホッパと同じです。本書「ホッパに用紙をセットする」(25ページ)をご覧ください。



チェック

- ただし、増設ホッパ(500)にセットできる用紙の種類、量は異なります。増設ホッパ(500)にはA3、B4、A4サイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ(500)の用紙カセットは縮ませることはできません。
- 増設ホッパ(500)のエンドガイドは、標準ホッパ、増設ホッパ(250)のエンドガイドと形状が異なります。増設ホッパ(500)のエンドガイドの取り外し/取り付けは右図のように左右のつまみを押しながら行ってください。エンドガイドはA3サイズの内紙をセットするときも使用します。



プリンタの設定

増設ホッパ(500)を取り付けたり、増設ホッパ(500)から増設ホッパ(250)に変えたり、増設ホッパ(250)から増設ホッパ(500)に変えたときは、プリンタのメモリスイッチ(MSW)の設定を変更する必要があります。

ただし、増設ホッパ(250)を初めてご使用になるときは、プリンタの設定を行う必要はありません。次の「ホッパの切り替え」へ進んでください。

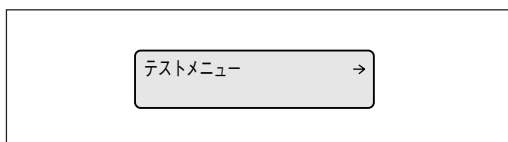
ホッパ	変更前	→	変更後	MSWの設定
2段目	増設ホッパ (500)	→	(変更なし)	MSW7-4 1
	増設ホッパ (250)	→	増設ホッパ (500)	MSW7-4 1
	増設ホッパ (500)	→	増設ホッパ (250)	MSW7-4 0
3段目	増設ホッパ (250)	→	(変更なし)	MSW7-5 0
	増設ホッパ (250)	→	増設ホッパ (500)	MSW7-5 1
	増設ホッパ (500)	→	増設ホッパ (250)	MSW7-5 0

次の手順は2段目に増設ホッパ(500)を取り付けたときの操作パネルによる設定の変更方法です。3段目に取り付ける場合も同様の手順で行います。

1. プリンタの電源をONにし、印刷可スイッチを押して印刷可ランプを消灯させる。

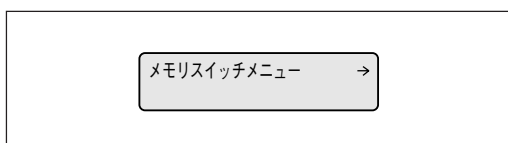
2. メニュースイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



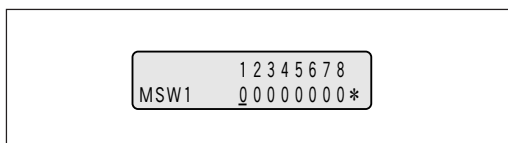
3. ▲スイッチを1回押す。

“メモリスイッチメニュー →”と表示されます。

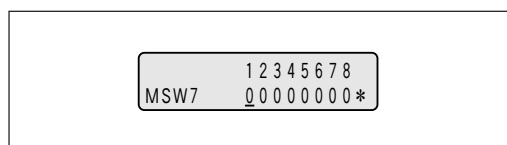


4. ▶スイッチを1回押す。

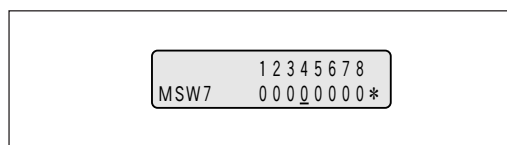
MSW1が表示されます。



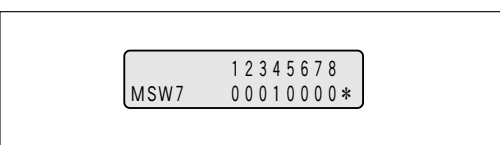
5. ▲スイッチまたは▼スイッチを押して、MSW7を表示させる。



6. ▶スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させる。



7. 設定変更スイッチを押して、MSW7-4を1に変更する。



8. 印刷可スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。

また、設定の変更はリモートパネルを使っても行うことができます。詳しくはユーザーズマニュアル[2/2]「リモートパネルでの設定」(189ページ)をご覧ください。

ホッパの切り替え

取り付けた増設ホッパから給紙するためには、操作パネル上でホッパ表示を「ホッパ2」または「ホッパ3」にします。

ホッパの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- ① プリンタが初期化されるまで維持する方法 ホッパスイッチによる切り替え
- ② プリンタが初期化されても増設ホッパが選択される方法 メニューモードによる切り替え

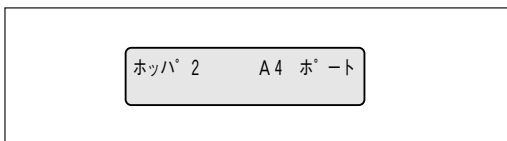
次にそれぞれの選び方について説明します。

① プリンタが初期化されるまで維持する方法

操作パネルのホッパスイッチを使って増設ホッパを選択します。

1. 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

2. ホッパスイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”または“ホッパ3”にする。



3. 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

4. コンピュータからデータを送る。

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパの選択を変更する
- トレー給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピュータから変更
- プリンタを初期化する

増設ホッパの選択は、操作パネルから選択する以外に、プリンタドライバ、リモートパネルから選択することができます。詳しくは、ユーザーズマニュアル[2/2]各OSの章および「PrintAgent」をご覧ください。

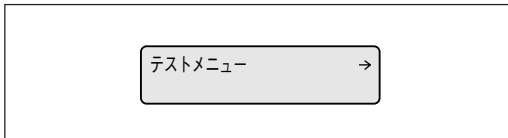
② プリンタが初期化されても増設ホッパが選択される方法

メニュー機能内のプリンタの初期設定を設定変更します。

1. 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

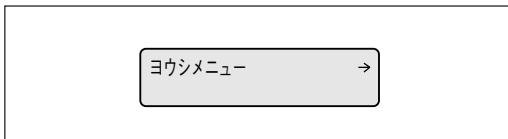
2. メニュースイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



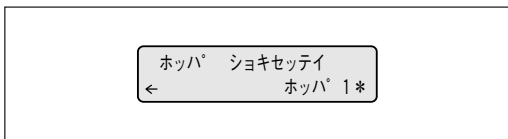
3. ▼スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー →”と表示されます。

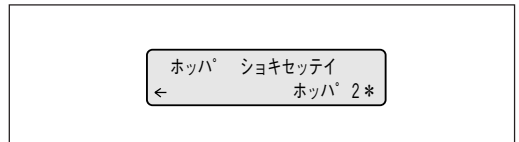


4. ▶スイッチを2回押す。

ホッパ初期設定の表示になります。

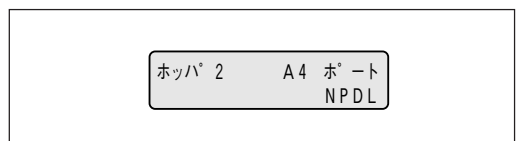


5. 設定変更スイッチを押して、ディスプレイ下段を“← ホッパ2*”または“← ホッパ3*”に変更する。



6. 印刷可スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

ディスプレイ上段に“ホッパ2 ×× ×××”または“ホッパ3 ×× ×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。



3

この状態は以下の方法で変更しないかぎり維持されます。

- コンピュータからの変更
- 同じ方法でホッパの選択を変更

テスト印刷

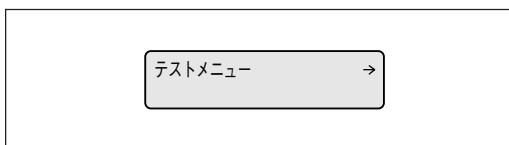
増設ホoppaが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

1. ディスプレイに“ホoppa2”または“ホoppa3”と表示されていることを確認する。

2. 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。

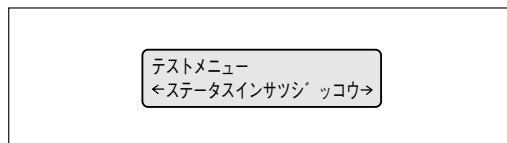
3. メニュースイッチを1回押します。

ディスプレイには、“テストメニュー →”と表示されます。



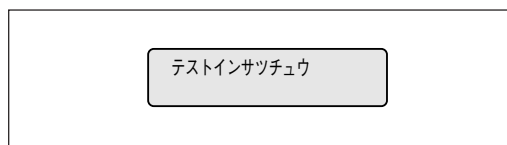
4. ▶スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ →”と表示されます。

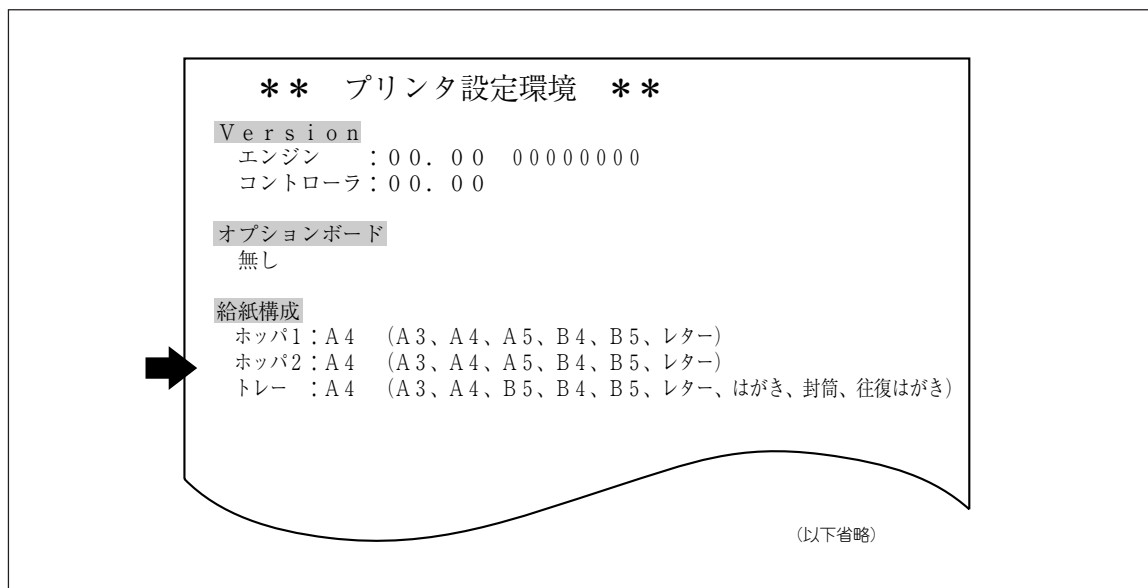


5. さらに▶スイッチを1回押す。

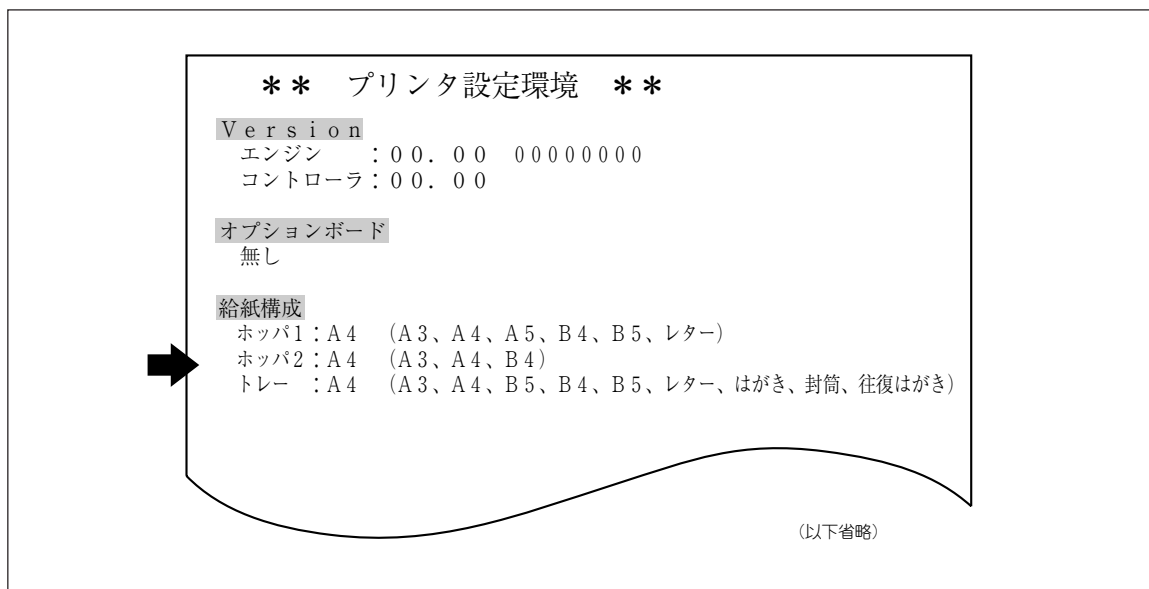
プリンタはステータス印刷を開始し、ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。



2段目に増設ホoppaが取り付けられ、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホoppa2」と印刷されます。3段目に取り付けた場合は「ホoppa3」と印刷されます。



増設ホoppa(250)のステータス印刷



増設ホッパ(500)のステータス印刷

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパの取り付けは完了です。

増設ホッパの取り外し

増設ホッパを取り外す場合は次の手順で行ってください。2段目と3段目の取り外し方法は同じです。ここでは2段目を取り外す方法を示します。



注意

プリンタと標準ホッパは合わせて約19kgの重さがあります。取り外しは2名以上で行ってください。

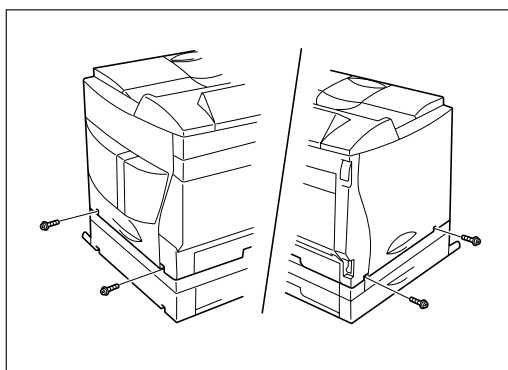
1. プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外す。
2. プリンタと増設ホッパを固定しているネジを取り外す。

ネジはプリンタ右側面に2か所、左側面に2か所あります。4か所とも取り外してください。



チェック

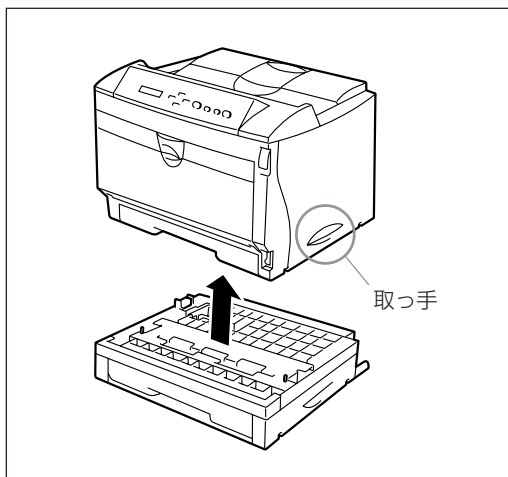
3段目の増設ホッパが取り付けられている場合は、さらに4か所のネジを取り外します。



3. プリンタを増設ホッパから取り外し、一時的に台や机の上に置く。



プリンタを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンタが破損することがあります。



4. 増設ホッパを台の上から外す。

5. プリンタを元の位置に置く。

6. 電源コードとインターフェースケーブルを取り付ける。

増設カセット

印刷する用紙サイズを変更する場合、用紙カセット内の用紙を交換することなく、用紙カセットごと交換できるように2200X2/2200XE/2000X2では2種類の増設カセットが用意されています。

- PR-L2200X2-04増設カセット (250) プリンタ本体の用紙カセットと、PR-L2200X2-02増設ホッパ(250)の用紙カセットと交換することができます。PR2200X-04は外観色が異なりますが、問題なく使用できます。
- PR-L2200X2-05増設カセット (500) PR-L2200X2-03増設ホッパ(500)の用紙カセットと交換することができます。PR2200X-05は外観色が異なりますが、問題なく使用できます。



ヒント

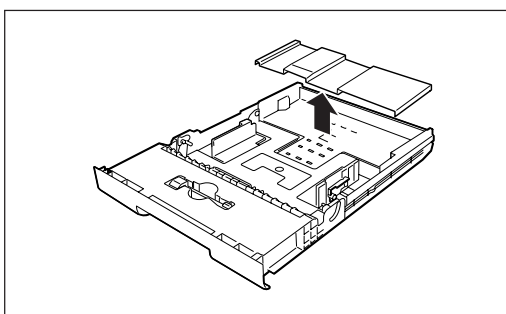
増設カセットにはカセット内にセットされている用紙サイズを外見から確認するための用紙ラベルセットが添付されています。カセット前面の見やすい場所に貼り付けてお使いください。

ここでは増設カセットを用紙カセットと交換する手順について説明します。

増設カセットの取り付け

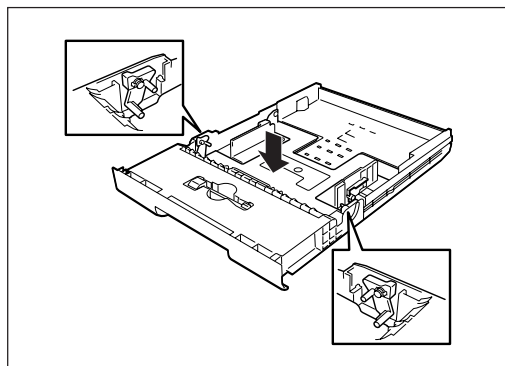
増設カセット (250) と増設カセット (500) の取り付ける方法は同じです。ここでは増設カセット (250) を取り付ける方法を示します。

1. カセットカバーを取り外す。



2. 増設カセット内の板金を押し、確実に下がっていることを確認する。

板金が押し下がっていないと、増設カセットをホッパに取り付けることができません。



3. 用紙をセットする。

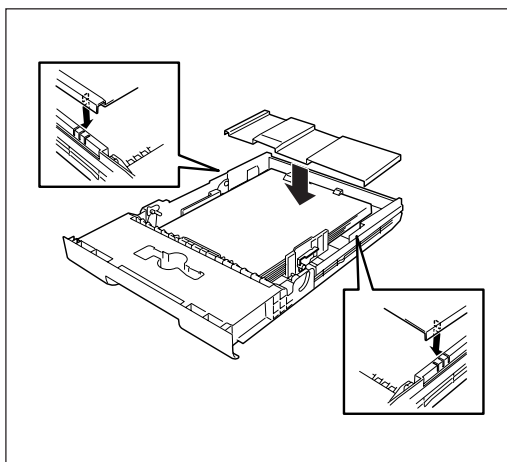
用紙のセット方法は本書「ホッパに用紙をセットする」、「増設ホッパ」をご覧ください。



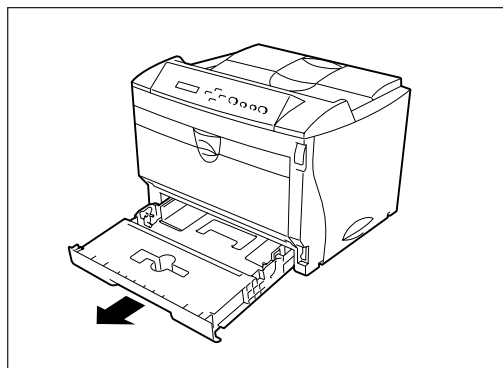
チェック

増設カセット(250)に比べて増設カセット(500)にセットできる用紙サイズは限定されています。セットできる用紙サイズを確認の上、正しい用紙サイズをセットしてください。

4. カセットカバーをカセットの溝に合わせて元に戻す。

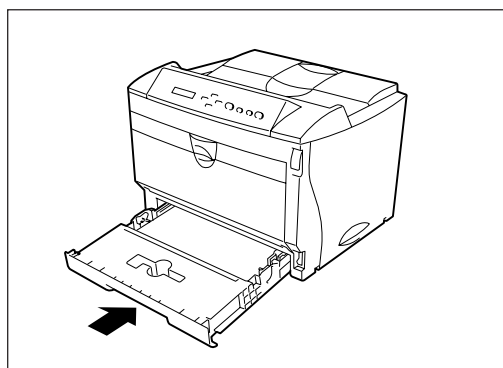


5. セットしてある用紙カセットがあればその用紙カセットを引き抜く。



6. 増設カセットをプリンタに差し込む。

増設カセットはゆっくり確実に差し込んでください。



増設カセットの取り外し

増設カセットを取り外すときは上記手順を逆に行ってください。

赤外線通信インタフェースボード(PC-PR-R01)

PC-PR-R01は直接プリンタのコネクタ(前面)に接続するプラグインタイプのインタフェースボードです。これによりプリンタはIrDA規格に準拠した赤外線通信機能を装備しているコンピュータからワイヤレスでデータ受信できるようになります。IrDA規格に準拠しているコンピュータであれば最大4Mbpsのデータ速度で通信が可能です。



赤外線通信インタフェースボードは片方向(コンピュータ→プリンタ)でのみ通信が可能です。PrintAgentのように双方向通信(コンピュータ↔プリンタ)が必要な機能は使用できません。

動作環境

PC-PR-R01は、以下に示す条件をすべて満たすNEC PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズまたはDOS/V対応機*のコンピュータに対応しています。

- i486以上のCPU(i486 33MHz以上を推奨)
- 7.6MB以上のRAM
- 7MBのハードディスク空き容量
- マウスまたはWindowsで利用できるポインティングデバイス(推奨)
- Windows 95 日本語版のOS環境を備えている
- 赤外線通信機能付き(IrDA規格準拠)
- ボードに添付のTranXit™ 3がインストールされている



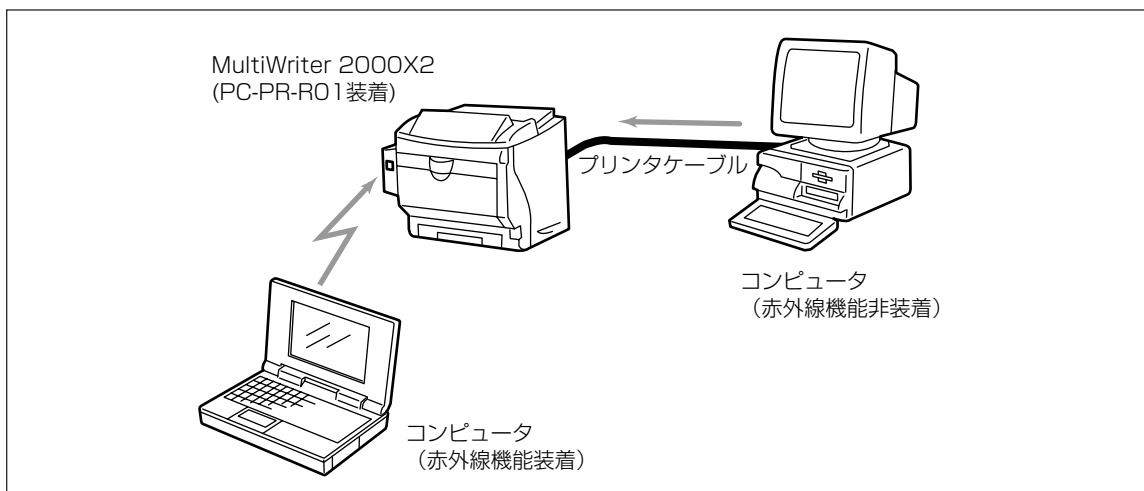
チェック

- ボードのコネクタ部には手を触れないでください。手を触れると、コネクタ部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。
- ボードの赤外線受光部には手を触れないでください。手を触れると、受光部が汚れ、コンピュータとの通信状態が不良となる場合があります。

*IBM PC/AT 100%互換機

赤外線インタフェースボードの接続例

コンピュータとプリンタに接続した例を以下に示します。この場合、PC-PR-R01はプリンタ背面に直接接続されているコンピュータからのデータと赤外線通信機能付きコンピュータからのデータを自動的に切り替えます。



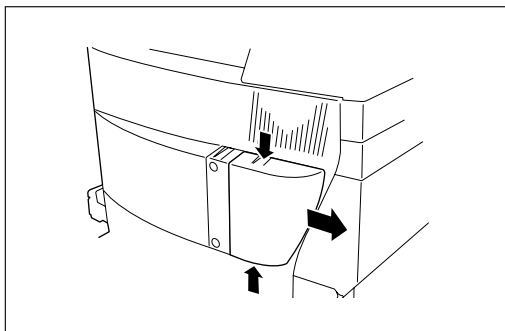
赤外線インタフェースボードの取り付け

1. プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面、背面とも)をプリンタから取り外す。

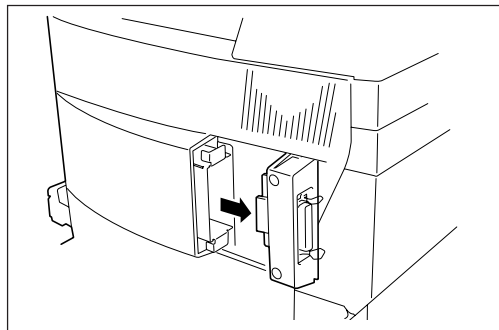
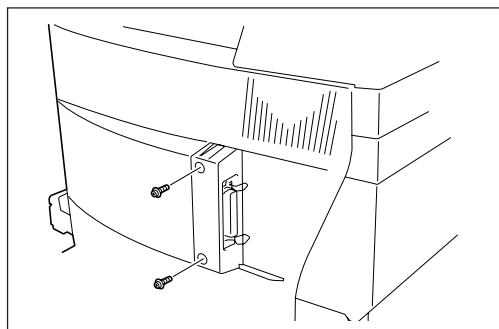


電源は確実にOFFにしてください。
ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

2. プリンタ側面のフロントコネクタカバーの上下を押しながら手前に取り外す。

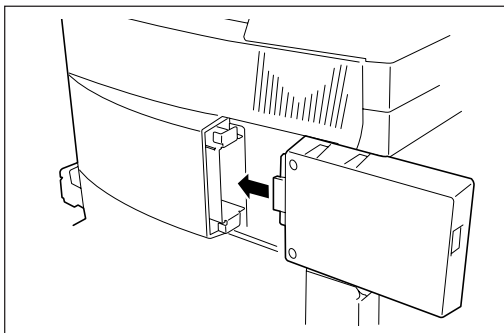


3. フロントインタフェースコネクタのネジ2本を外し、フロントインタフェースコネクタを手前に引き抜く。

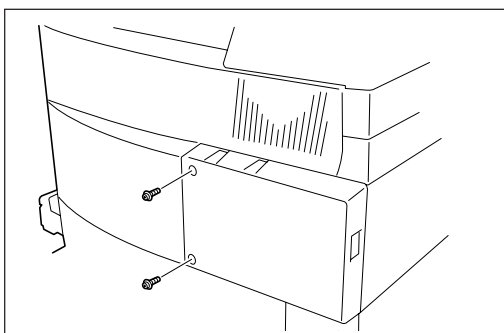


4. 受光部を手前にしインタフェースボードをフロントコネクタのガイド部に沿って差し込む。

カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。



5. インタフェースボードをネジ2個で固定する。



6. 電源コードを取り付け、プリンタの電源をONにする。
7. インタフェースボード前面のLEDが点灯することを確認する。
8. プリンタをコンピュータから1m以内に設置する。



チェック

PC-PR-R01の赤外線受光部とコンピュータの赤外線ポートとの間の距離を1m以内とし、この間に障害物を置かないようにしてください。

9. 赤外線通信インタフェース取扱説明書に従い、TranXit 3をインストールし、赤外線通信を行うためのソフトウェアの設定を行う。

TranXit 3をインストールする前にあらかじめNMPSソフトウェアをインストールしておいてください。インストール方法はユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。

3

赤外線インタフェースボードの取り外し

赤外線通信インタフェースボードを取り外すときは、プリンタの電源をOFFにし、電源コードをプリンタから取り外し、上記の手順5から逆に行ってください。

赤外線通信インタフェースアダプタ(PC-CA291)

PC-CA291はインタフェースケーブルを使ってプリンタに接続する外付け型のインタフェースアダプタです。これによりプリンタはIrDA規格に準拠した赤外線通信機能を装備しているコンピュータからワイヤレスでデータ受信できるようになります。IrDA規格に準拠しているコンピュータであれば最大4Mbpsのデータ速度で通信が可能です。



赤外線通信インタフェースアダプタは片方向(コンピュータ→プリンタ)でのみ通信が可能です。PrintAgentのように双方向通信(コンピュータ↔プリンタ)が必要な機能は使用できません。

動作環境

PC-CA291は、以下に示す条件をすべて満たすNEC PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズまたはDOS/V対応機*のコンピュータに対応しています。

- i486以上のCPU(i486 33MHz以上を推奨)
- 7.6MB以上のRAM
- 7MBのハードディスク空き容量
- マウスまたはWindowsで利用できるポインティングデバイス(推奨)
- Windows 95 日本語版環境を備えている
- 赤外線通信機能付き(IrDA規格準拠)
- アダプタに添付のTranXit 3がインストールされている

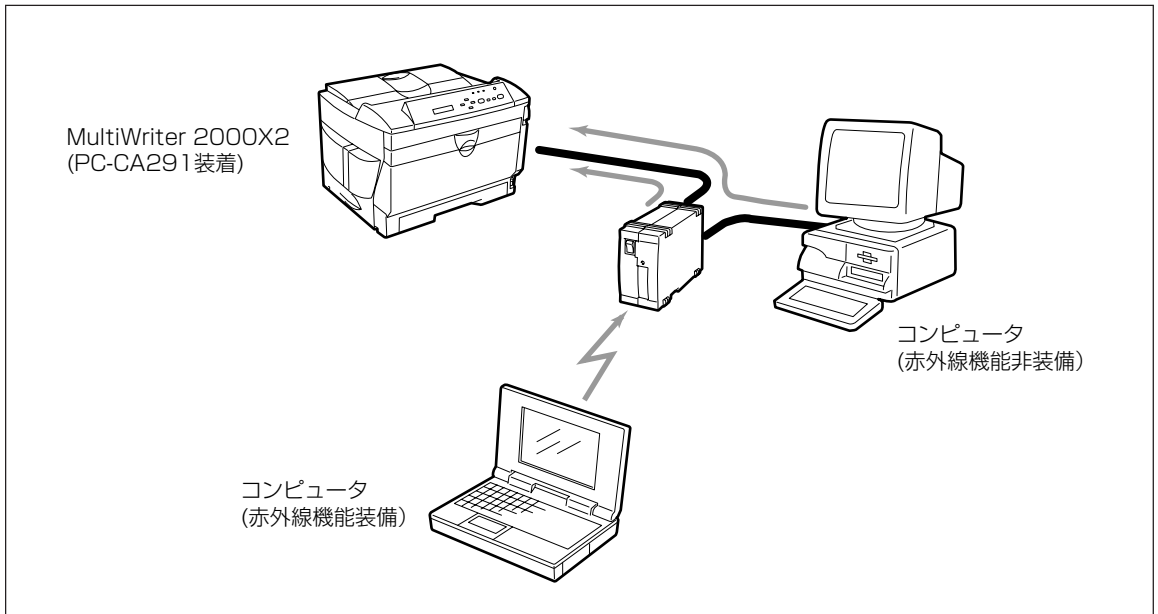


- アダプタのコネクタ部には手を触れないでください。手を触れると、コネクタ部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。
- アダプタの赤外線受光部には手を触れないでください。手を触れると、受光部が汚れ、コンピュータとの通信状態が不良となることがあります。

*IBM PC/AT 100%互換機

赤外線通信インタフェースアダプタの接続例

コンピュータとプリンタに接続した例を以下に示します。この場合、PC-CA291はアダプタ前面にあるスイッチで通信をケーブル接続されているコンピュータと赤外線通信機能付きコンピュータに切り替えることができます。



3

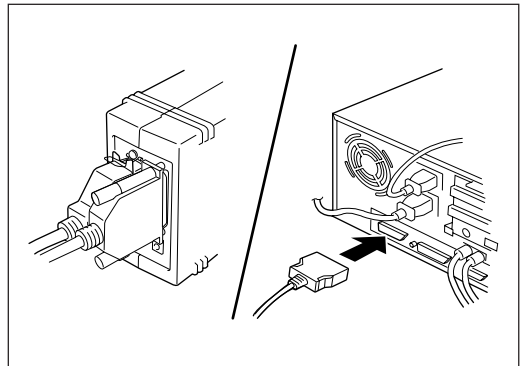
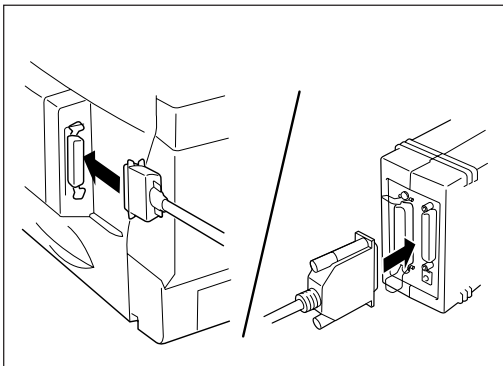
赤外線通信インタフェースアダプタの取り付け

1. プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面、背面とも)をプリンタから取り外す。
3. 同時に他のコンピュータからもデータを受信したい場合は以下のように接続する。

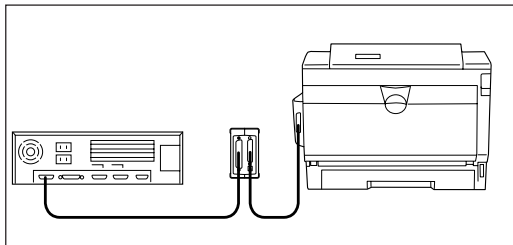


電源は確実にOFFにしてください。
ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

2. PC-CA291とプリンタを添付のインタフェースケーブルで接続する。



赤外線通信とインタフェースケーブルによる通信を可能にした接続は下のようになります。

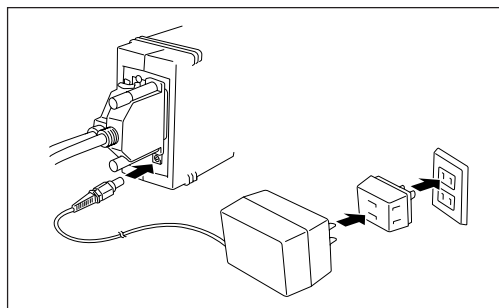


4. ACアダプタのコネクタをPC-CA291に接続し、ACアダプタ本体を壁付きコンセントに差し込む。

ACアダプタを差し込むことによって他の差し込みがふさがってしまう場合は添付のACタップをご利用ください。

注意

ACアダプタはテーブルタップなどでタコ足配線されたコンセントには差し込まないでください。またこのACタップには1500W以上の容量のACコンセントを差し込まないでください。過熱し、火災や感電の原因となることがあります。



5. PC-CA291前面のLEDが赤色点灯することを確認する。

もし緑色点灯している場合はアダプタ前面の通信切り替えスイッチを切り替えて赤外線通信モードに設定してください。

6. プリンタ、コンピュータの順に電源をONにする。

7. 赤外線通信インタフェース取扱説明書に従いTranXit 3をインストールし、赤外線通信を行うためのソフトウェアの設定を行う。

TranXit 3をインストールする前にあらかじめNMPSソフトウェアをインストールしておいてください。インストール方法はユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。

赤外線通信インタフェースアダプタの取り外し

赤外線通信インタフェースアダプタを取り外すときは、上記の手順6から逆に行ってください。

プロッタエミュレーションボード

2200X2/2200XE/2000X2に『プロッタエミュレーションボード』を取り付けることにより、プロッタHP 7550の言語(HPGL)を使用できるようになるため、CADなどのアプリケーションからの印刷が可能になります。またRS-232Cインタフェースとして使用することも可能です。

プロッタエミュレーションボード上のRS-232Cインタフェースをご使用の場合は、次の表を参照して、使用するコンピュータに合うRS-232Cケーブルを別途お求めください。

使用しているコンピュータ	RS-232Cケーブル
PC98-NXシリーズ	PC-CA602、PC-9896、PC-9897のどれかと、シリアル変換アダプタPK-CA102を組み合わせてお使いください。
PC-9801 PC-9821シリーズ (下記以外)	PC-CA602 PC-9896 PC-9897
PC-H98	PC-H98-K02
PC-9801 NL/A、NS/A PC-9821 Nr166、Nr150、Nr15、Nr13、Nr12、Na13、Na12、Na9、Na7、Nb10、Nb7、Ls150、La13、Ls12、La10、La7、Nf、Np、Nx、Es、Ne2、Nd、Ld、Nm、Lt、Ne3、Nd2、Lt2、Ns	PC-98HA-16

ここでは、プロッタエミュレーションボードの取り付け手順を説明します。使い方や操作方法については、プロッタエミュレーションボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

プロッタエミュレーションボードの取り付け



プロッタエミュレーションボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンタ後面のセントロインタフェースコネクタが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品や端子、半田付け面には触れないようにしてください。

1. プリンタの電源をOFFにし、電源コード、インタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外す。

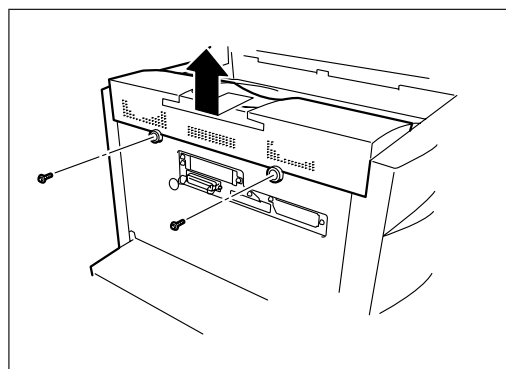


電源をOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因になることがあります。

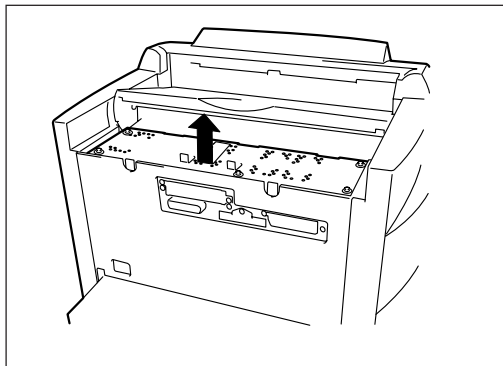


データ転送制御で「DTRコントロール」を行った場合、ご使用のソフトウェアによっては正常に動作しない場合があります。ご使用の際には「XON/XOFFコントロール」または「ENQ/ACKコントロール」を用いてください。

2. プリンタ上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外す。



3. コントロールカバーに矢印で指示された5か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外す。

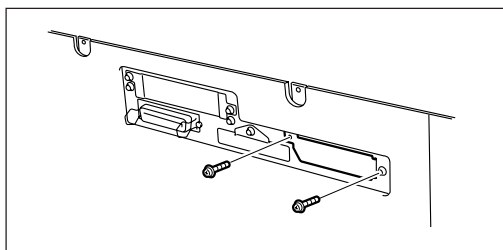


4. 2か所のネジを外し、プロッタボード用スロットのプレートを取り外す。

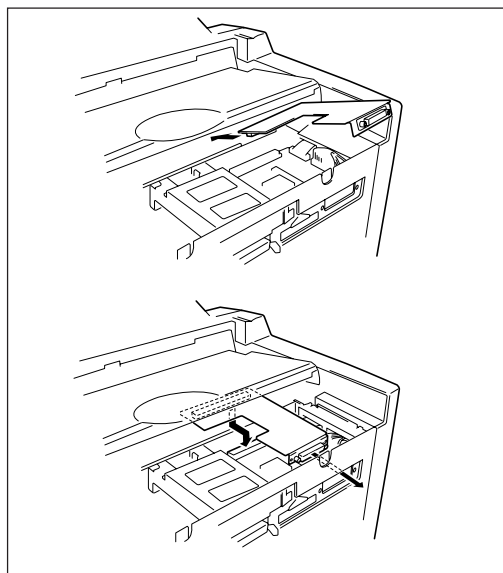


チェック

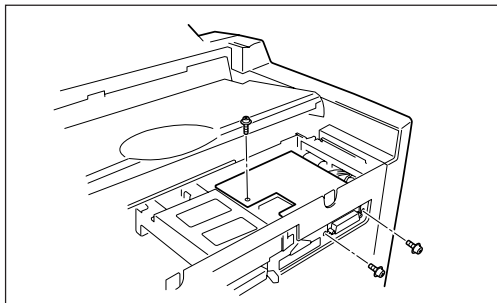
プロッタボード用スロットのプレートはボードを取り外し、プリンタをもとに戻すとき必要です。大切に保管しておいてください。



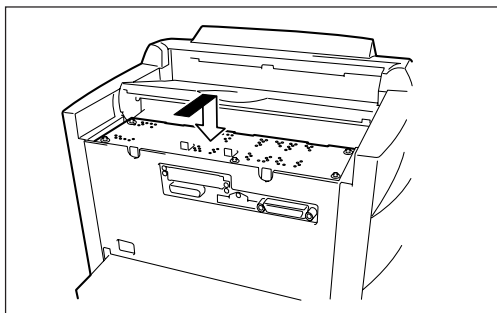
5. RS-232Cコネクタ側をプロッタボード用スロットに差し込み、プリンタのコネクタとボードのコネクタを接続する。



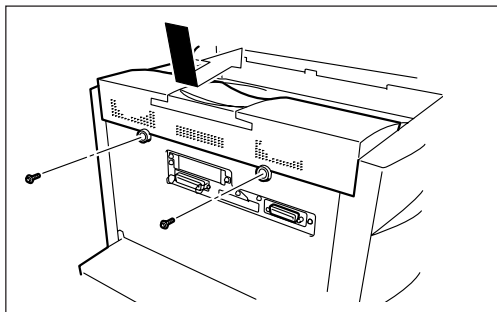
6. ネジ3本でプロッタエミュレーションボードを固定する。



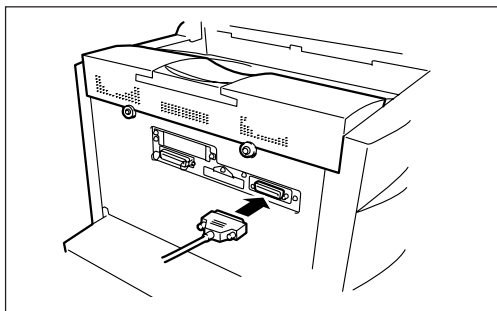
7. コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された5か所のネジで固定する。



8. リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。



9. RS-232C用インタフェースケーブルを取り付ける。

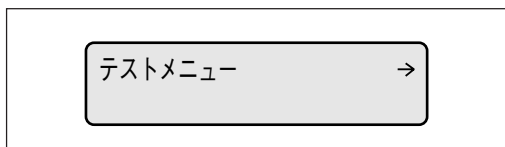


10. 電源コードを取り付ける。

テスト印刷

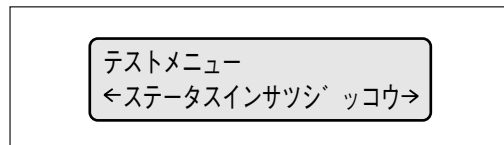
プロッタエミュレーションボードが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。次の方法で行ってください。

1. プリンタの電源をONにする。
2. 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。
3. メニュースイッチを1回押す。
“テストメニュー →”と表示されます。



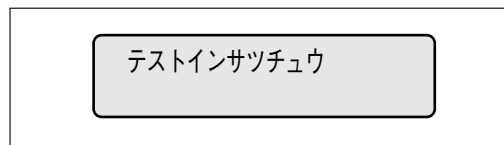
4. ▶スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。



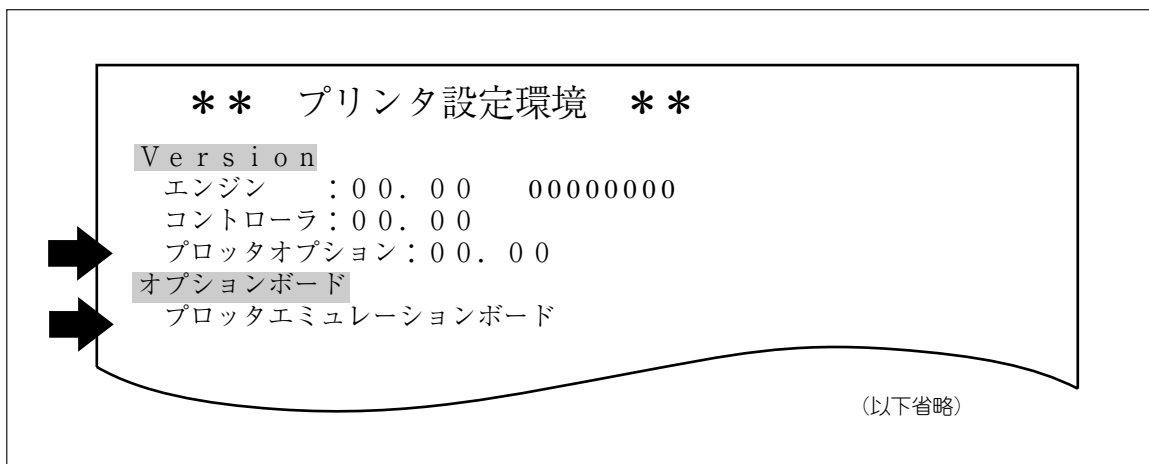
5. さらに▶スイッチを1回押す。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。



3

次のように「プロッタエミュレーションボード」と印刷されていれば、プロッタエミュレーションボードは確実に取り付けられていることになります。



プロッタエミュレーションボードのステータス印刷例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、プロッタエミュレーションボードの取り付けは完了です。

プロッタエミュレーションボードの取り外し

プロッタエミュレーションボードを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

マルチプロトコルLANボード

2200X2/2200XE/2000X2には各種のネットワークに接続するマルチプロトコルLANボードが2種類用意されています。

PC-PR-L01

「PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボード」は2200X2/2200XE/2000X2本体に内蔵できる、10BASE-T、10BASE2、LocalTalkに対応したボードです。NetWare(IPX/SPX)、LANマネージャ(NetBEUI)、Windows NT(TCP/IP、DLC)、UNIX(TCP/IP (ftp、lpr))、Macintosh(AppleTalk)の各ネットワークに対応しています。

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L01)が対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

- NetWare NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)、IntranetWare(4.11J)
- Windows NT Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
- LANマネージャ OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LANサーバJ3.0
- Windows 95 添付のアプリケーションにより対応
- Macintosh 漢字Talk7.1.x、7.5、7.5.x、Mac OS7.6、7.6.1、8.0(ただしQuickDraw GXには対応していません)
- UNIX TCP/IP(ftp、lpr)

PC-PR-L02

「PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード」は、2200X2/2200XE/2000X2本体に内蔵できる、100BASE-TX、10BASE-Tに対応したボードです。NetWare (IPX/SPX)、Windows NT (TCP/IP、DLC)、UNIX (TCP/IP (ftp、lpr))の各ネットワークに対応しています。

マルチプロトコルLANボード(PC-PR-L02)が対応しているネットワーク環境は以下のとおりです。

- NetWare NetWare 3.11J、3.12J、4.1J、4.11J(NDS対応)、IntranetWare(4.11J)
- Windows NT Windows NT3.1、3.5、3.51、4.0
- Windows 95 添付のアプリケーションにより対応
- UNIX TCP/IP(ftp、lpr)



重要

上記のボードを取り付けた場合は、プリンタ背面のセントロニクスインタフェースは使用できなくなります。セントロニクスインタフェースを使用する場合は、プリンタ前面のインタフェースを使用してください。

LANボードをお使いになるには、ネットワーク用ケーブルが必要です。使用する環境に合わせて、以下に示すケーブルを別途お求めください。

2200X2/2200XE/2000X2とMacintoshとをLocalTalkで接続する場合は、Macintoshのマニュアルを参照して接続してください。

PC-PR-L01の場合

- 10BASE-T PC-9868-21、PC-9868-22、PC-9868-28、PC-9868-29
- 10BASE2 PC-9867-21、PC-9867-22、PC-9867-23

PC-PR-L02の場合

- 100BASE-TX PC-9868-28、PC-9868-29
- 10BASE-T PC-9868-21、PC-9868-22、PC-9868-28、PC-9868-29



チェック

PC-PR-L01を使用し、Macintoshから印刷を行うには、別売のPR2200NW2-21 拡張プリンタドライバが必要です。また、Macintoshからの印刷においては、両面印刷、リプリント機能、ジョブセパレート機能などサポートしていない機能があります。

次にLANボードの取り付け手順を説明します。PC-PR-L01、PC-PR-L02の取り付け手順は同じです。ここでは、PC-PR-L01マルチプロトコルLANボードを取り付ける場合の手順を示します。使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。



チェック

LANボードは正しく取り付けられていても、ステータス印刷の「オプションボード」の欄に印刷されません。正しく取り付けられたかどうかはコンフィギュレーションページの印刷を行って確認します(詳細はLANボードの取扱説明書を参照ください)。

マルチプロトコルLANボードの取り付け



重要

マルチプロトコルLANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンタ後面のセントロインタフェースコネクタが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

1. プリンタの電源をOFFにし、電源コードとインタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外す。



重要

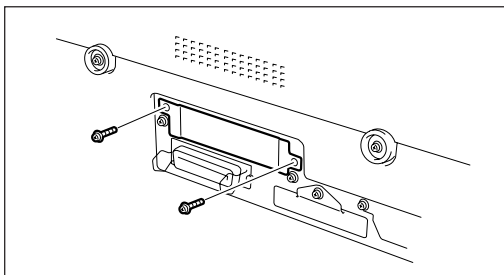
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

2. LANボード用スロットのプレートにネジ2か所を回して取り外す。



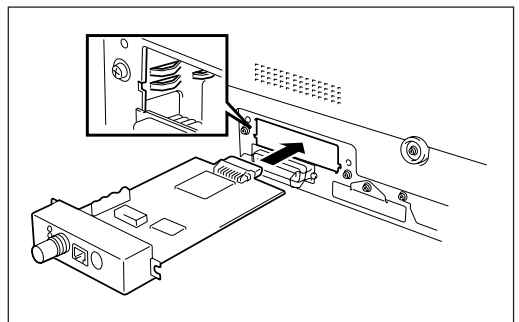
チェック

LANボード用スロットのプレートはボードを取り外しプリンタをもとに戻すときに必要です。大切に保管しておいてください。

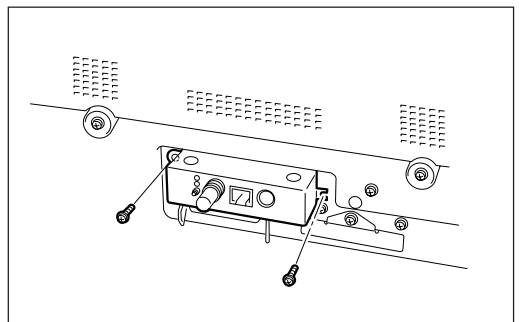


3. LANボードにあるLEDを手前にして、ガイドレールに沿ってLANボードを差し込む。

カチッと手ごたえがあるまで押し込みます。



4. ネジ2本でボードを固定する。



5. 接続用のケーブルを取り付ける。
6. 電源コードを取り付け、プリンタの電源をONにする。
7. コンピュータに接続して正しく動作することを確認する。

マルチプロトコルLANボードの取り外し

マルチプロトコルLANボードを取り外すときは、上記の手順を逆に行ってください。

漢字アウトラインフォントカード

2200X2/2200XE/2000X2は、明朝体アウトラインフォントとゴシック体アウトラインフォントの2書体を印刷することができますが、アウトラインフォントカードを取り付けることにより、さらに1書体のフォントが使えるようになります。

アウトラインフォントカードには、次の3種類があります。

- ◆丸ゴシック体-M
- ◆教科書体-M
- ◆瑞筆行書体-M

ここでは、アウトラインフォントカードの取り付けと、カードを使って印刷を行うための設定方法を説明します。



チェック

ESC/Pモードでは、アウトラインフォントカードの効果がありません。

3

漢字アウトラインフォントカードの取り付け

1. プリンタのスイッチをOFFにする。



重要

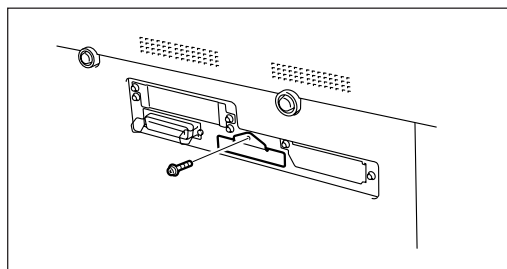
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

2. プリンタ背面のblankプレートにネジを回して取り外す。

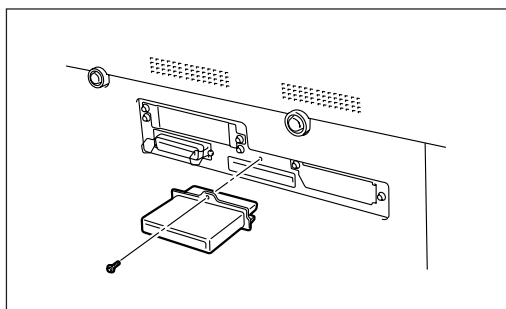


チェック

blankプレートはカードを取り外し、プリンタを元に戻すときに必要です。大切に保管しておいてください。

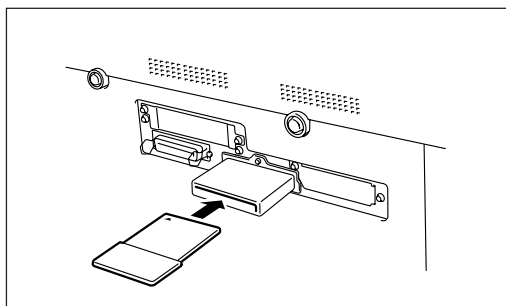


3. プリンタに添付されているフォントカードガイドをフォントカードガイド用スロットに取り付ける。



4. フォントカードスロットにフォントカードを差し込む。

フォントカードに記載してある「▶」印を上にして差し込んでください。



テスト印刷

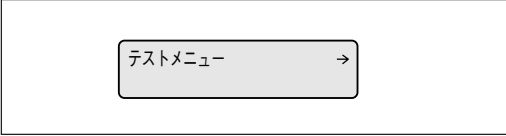
フォントカードの取り付けが終わったら、正しく取り付けられたことを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

1. プリンタの電源をONにする。

2. 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。

3. メニュースイッチを1回押す。

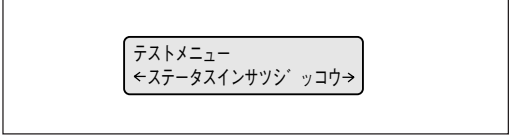
“テストメニュー →”と表示されます。



テストメニュー →

4. ▶スイッチを1回押す。


ディスプレイ下段に“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。



テストメニュー
←ステータスインサツジッコウ→

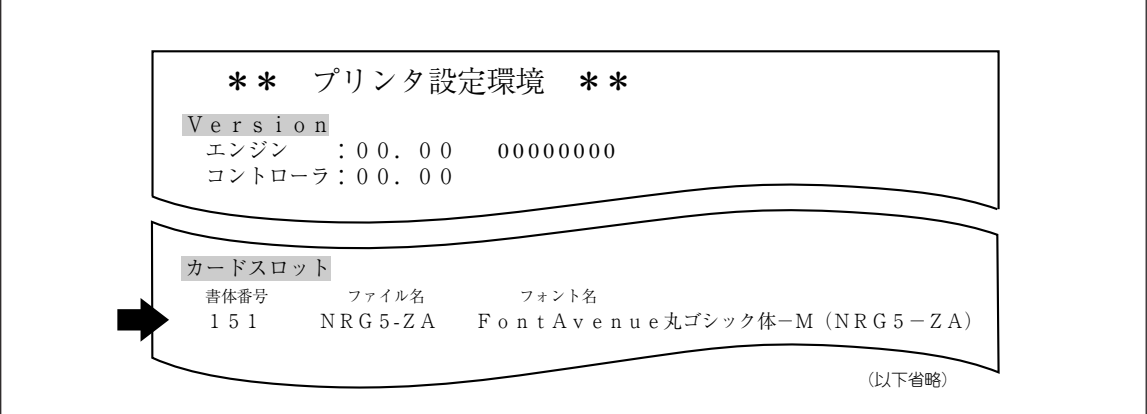
5. さらに▶スイッチを1回押す。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。



テストインサツチュウ

次のように取り付けたフォントカードのフォント名が印刷されていれば、確実に取り付けられていることとなります。



Printer printout content:

*** プリンタ設定環境 ***

Version
エンジン : 00.00 00000000
コントローラ : 00.00

カードスロット

書体番号	ファイル名	フォント名
151	NRG5-ZA	FontAvenue丸ゴシック体-M (NRG5-ZA)

(以下省略)

丸ゴシック体-M

**** プリンタ設定環境 ****

Version
 エンジン : 00. 00 00000000
 コントローラ : 00. 00

カードスロット

書体番号	ファイル名	フォント名
351	NKY5-ZA	Font Avenue教科書体-M (NKY5-ZA)

(以下省略)

教科書体-M

**** プリンタ設定環境 ****

Version
 エンジン : 00. 00 00000000
 コントローラ : 00. 00

カードスロット

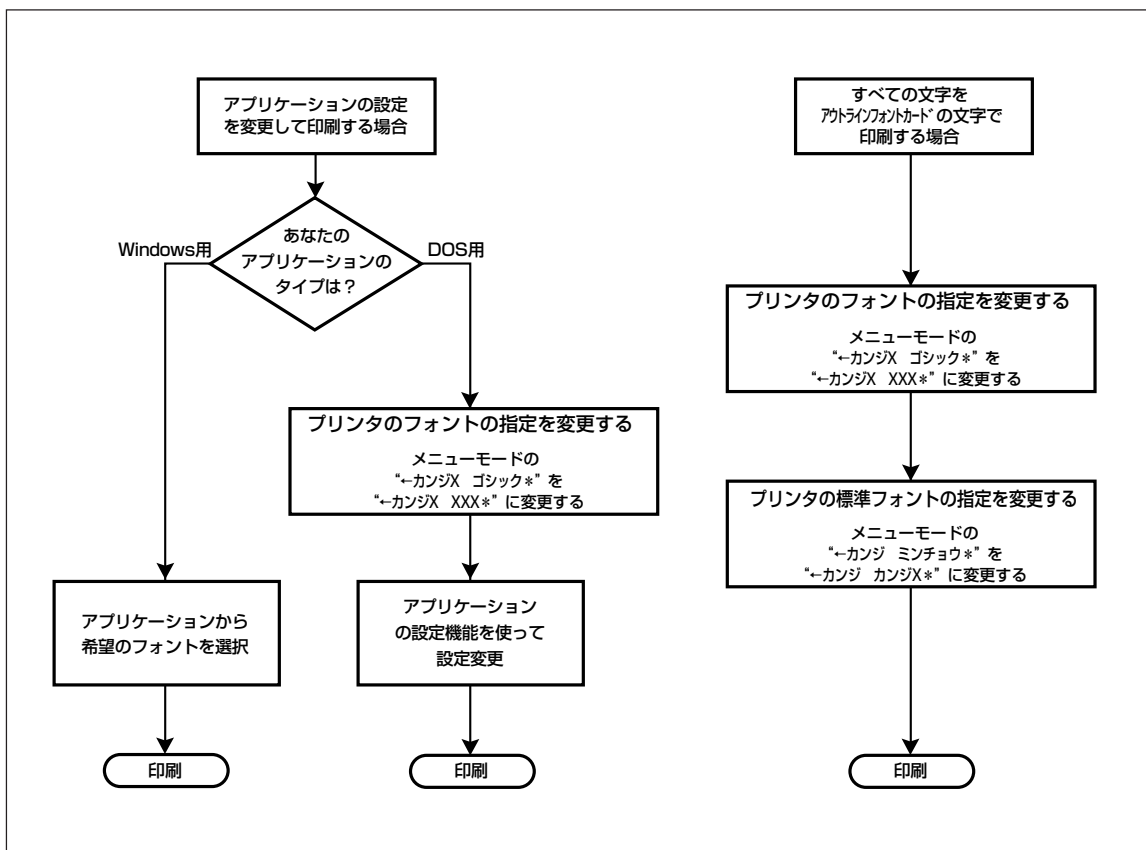
書体番号	ファイル名	フォント名
451	NGY5-ZA	Font Avenue瑞筆行書体-M (NGY5-ZA)

(以下省略)

瑞筆行書体-M

漢字アウトラインフォントカードを使って印刷するには

フォントカードを使って印刷するには、アプリケーションまたはプリンタの設定を変更します。変更方法は、使用しているアプリケーションによって異なります。また、アプリケーションで設定変更せずに、すべての文字をカードのフォントで印刷することもできます。次ページのフローチャートに従って設定方法を確認してください。



フォントカードを使った印刷

Windows用アプリケーションを使用しているときは、アプリケーションから希望のフォントを選択すれば、アウトラインフォントカードのフォントを印刷することができます。

DOS用アプリケーションを使用しているときは、フォントの指定を変更した後(プリンタのメニューモードの“←カンジX ゴシック*”を、“←カンジX XXX*”に変更)、各アプリケーションのプリンタ設定機能を利用して設定を変更すれば、印刷することができます。

また、すべての文字を漢字アウトラインフォントカードの文字で印刷することもできます。その場合はフォントの指定を変更した後、標準フォントの指定を変更(プリンタのメニューモードの“←カンジ ミンチョウ*”を“←カンジ カンジX*”に変更)します。(設定変更方法は、本書47ページをご覧ください。)



チェック

Windows用アプリケーションは、プリンタドライバが直接フォントを指定するので、メニューモードの設定には影響されません。

漢字アウトラインフォントカードの取り外し

漢字アウトラインフォントを取り外すときは取り付けの手順を逆に行ってください。

増設RAMサブボード

2200X2/2200XE/2000X2は、8メガバイト(8MB)、16メガバイト(16MB)または32メガバイト(32MB)の増設RAMサブボードを取り付けることで、アウトラインフォントを多用した文書などの印刷速度を向上させたり、より多くのフォーム登録を可能にしたり、印刷時のメモリ不足を解消することができます。

2200X2/2200XE/2000X2は増設RAMサブボードを1つだけ取り付けることができます。ユーザーズマニュアル[2/2]の表「メモリ増設一覧表」(214ページ)をご覧ください。必要な分だけメモリ容量を増設してください。



指定のEDOタイプの増設RAMサブボードを使用してください。PC-9821-ME2、PC-9821-ME3、PC-9821-ME4以外の増設RAMサブボードを使用すると、故障の原因となることがあります。

3

増設RAMサブボードの取り付け



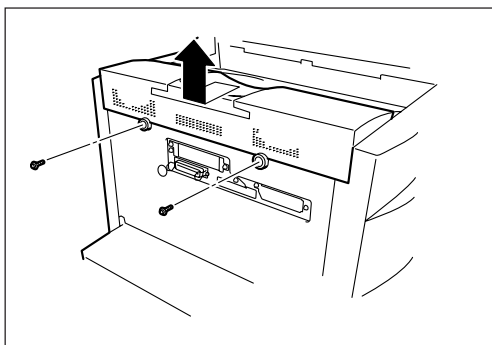
増設RAMサブボードは大変デリケートな電子部品です。サブボードを取り扱うときは、プリンタ後面のセントロインタフェースコネクタが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

1. プリンタの電源をOFFにし、電源コードとインタフェースケーブル(前面・背面とも)をプリンタから取り外す。

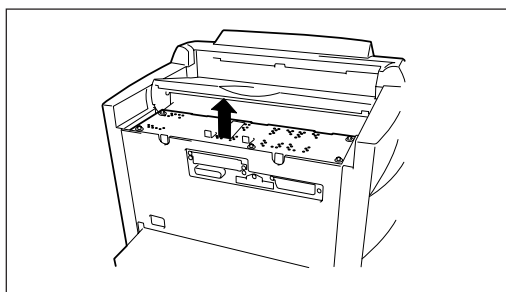


電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

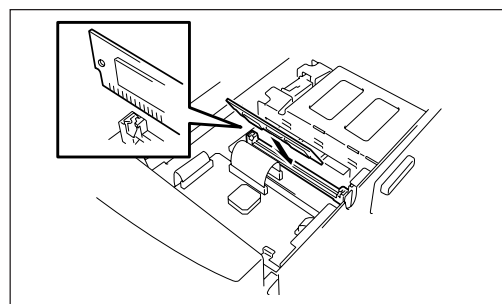
2. プリンタ上部にあるリアカバーをネジ2本を回して取り外す。



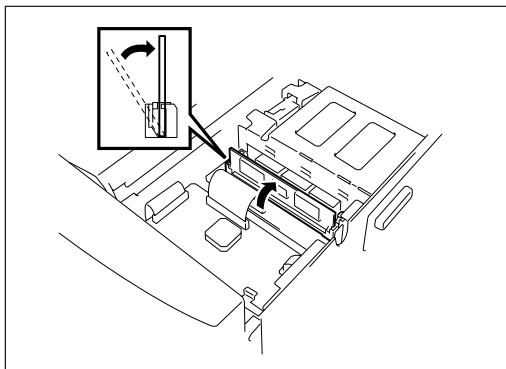
3. コントロールカバーに矢印で指示された5か所のネジをゆるめ、コントロールカバーを取り外す。



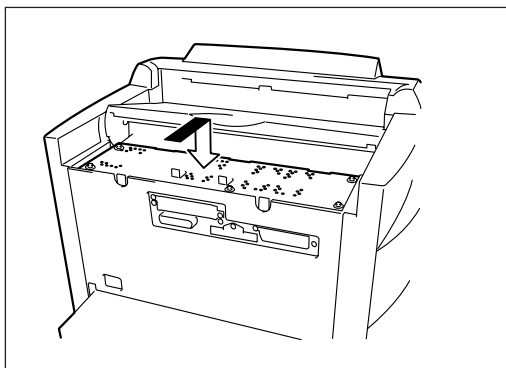
4. 切り欠きがプリンタ前面を向くようにして、約30度の角度でボードの端をソケットに押し込む。



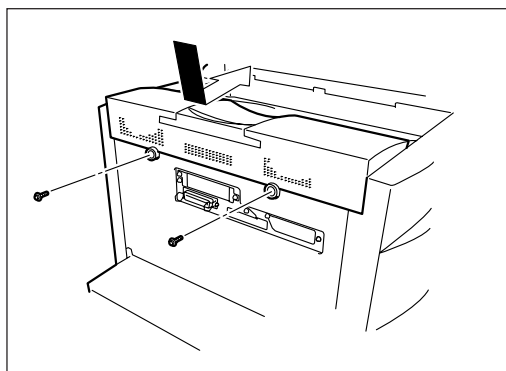
5. 十分に押し込んだことが確認できたら、「カチッ」という音がするまでボードを起こす。



6. コントロールカバーを取り付け、矢印で指示された5か所のネジで固定する。



7. リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。

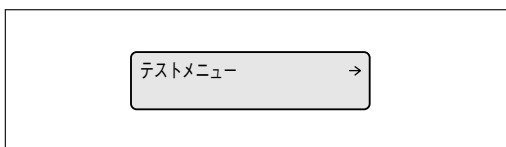


8. 電源コードとインターフェースケーブルを取り付ける。

テスト印刷

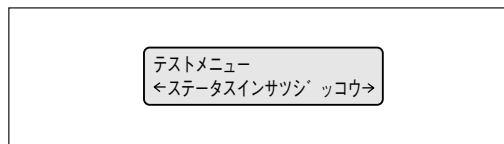
増設RAMサブボードが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

1. プリンタの電源をONにする。
2. 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。
3. メニュースイッチを1回押す。
“テストメニュー →”と表示されます。



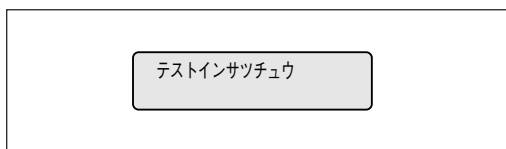
4. ▶スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。



5. さらに▶スイッチを1回押す。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。



次のように印刷されていれば、増設RAMサブボードは正しく取り付けられたことになります。

**** プリンタ設定環境 ****

Version
 エンジン : 00. 00 00000000
 コントローラ : 00. 00

オプションボード
 無し

給紙構成
 ホッパ1 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)
 トレー : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、封筒、往復はがき)

動作モード
 サポート言語 : NPD L E S C / P
 後部インタフェース : NPD L
 前部インタフェース : NPD L

メモリ
 メモリ容量 : 16 MB
 ページプロテクト : OFF
 メモリ割り当て : 標準

(以下省略)

増設したメモリ容量により、表示は次のように変わります。

<p>[MultiWriter 2000X2/2200XEの場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 12MB (8MB増設時) ● 20MB (16MB増設時) ● 36MB (32MB増設時) 	<p>[MultiWriter 2200X2の場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 16MB (8MB増設時) ● 24MB (16MB増設時) ● 40MB (32MB増設時)
---	--

2200X2で8MBを増設した場合

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設RAMサブボードの取り付けは完了です。

増設RAMサブボードの取り外し

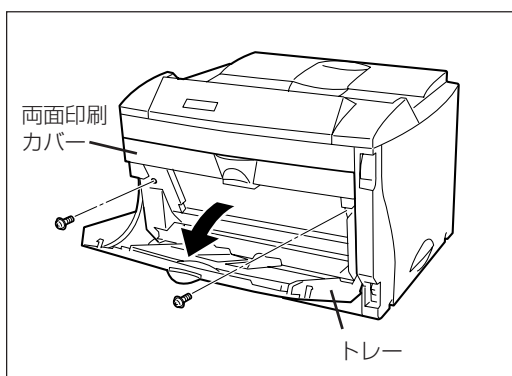
増設RAMサブボードを取り外すときは取り付けの手順を逆に行ってください。

両面印刷ユニット

両面印刷ユニットを2200XE/2000X2に装着すると、用紙の両面に印刷することができます。使用できる用紙については「両面印刷時の用紙の規格」(133ページ)をご覧ください。

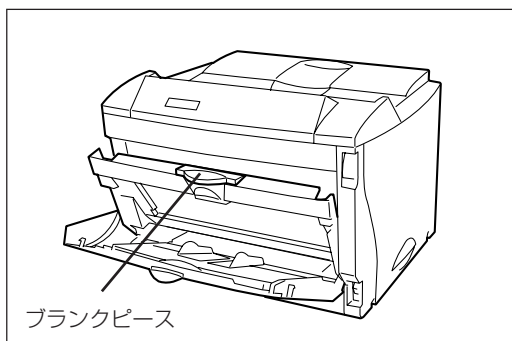
両面印刷ユニットの取り付け

1. プリンタの電源をOFFにする。
2. トレーを開いて、両面印刷カバーを固定しているネジ2本を外す。



3. 両手で、両面印刷カバーを開けて、両面印刷カバーに取り付いているブランクピースを取り外す。

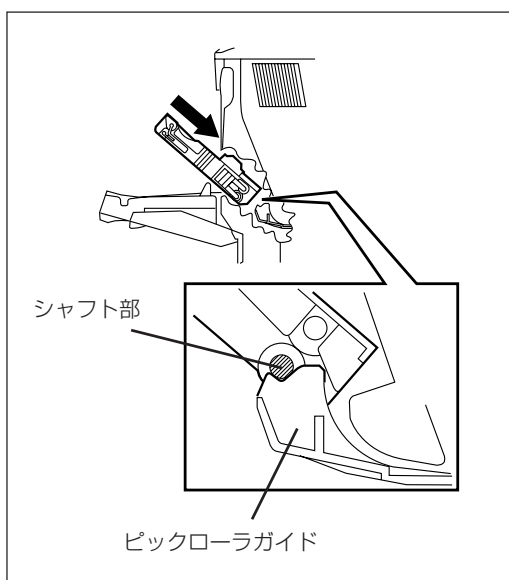
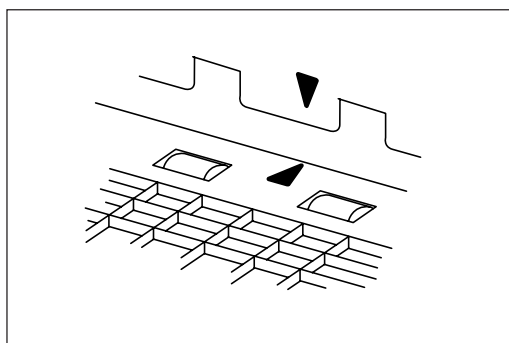
ブランクピースと手順2で外したネジは、両面印刷ユニットを取り付けた後、使用しません。



4. 両面印刷ユニットとプリンタの位置決め(▲印)を合わせるようにして、両面印刷ユニットを斜めに入れながら、ピックアップガイドにシャフト部を乗せる。

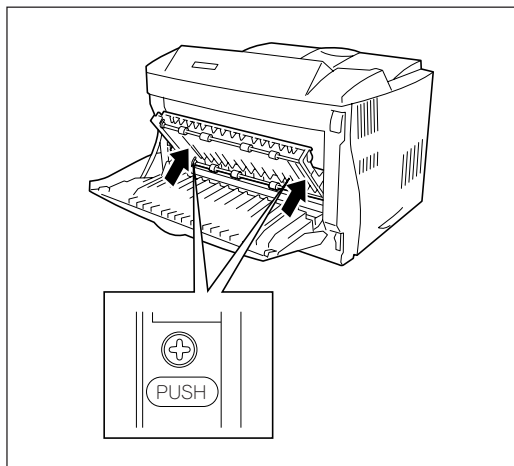
⚠ 注意

両面印刷ユニット右側面の金属プレートの端は鋭利になっています。

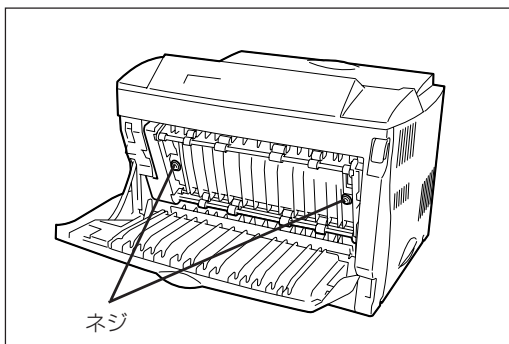


5. 両面印刷ユニットが固定されるまで、PUSH部2か所を押し込む。

固定されるときに、カチッとロックされる音がします。



6. 両面印刷ユニットに取り付いている固定ネジ2本で固定する。



7. 両面印刷カバーを閉める。

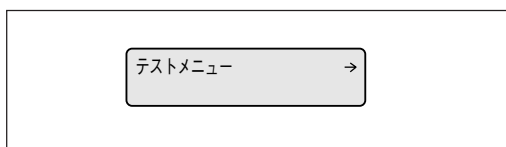
3

テスト印刷

両面印刷ユニットが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

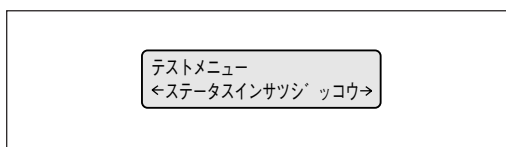
1. プリンタの電源をONにする。
2. 印刷可スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。
3. メニュースイッチを1回押す。

“テストメニュー →”と表示されます。



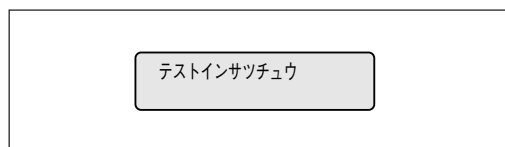
4. ▶スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

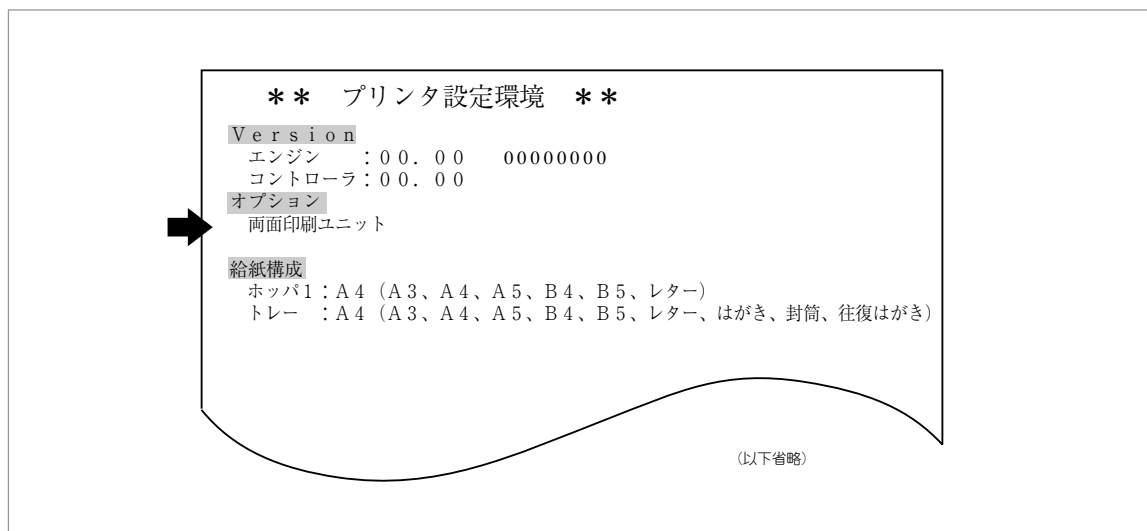


5. さらに▶スイッチを1回押す。

プリンタはステータス印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。



次のように印刷されていれば、両面印刷ユニットは正しく取り付けられたことになります。



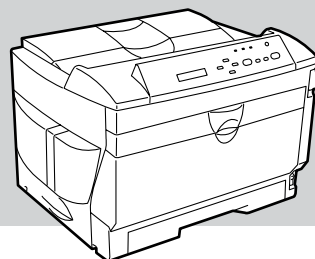
両面印刷ユニットを増設した場合

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

両面印刷ユニットの取り外し

両面印刷ユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

4章 日常の保守



4

EPカートリッジの交換

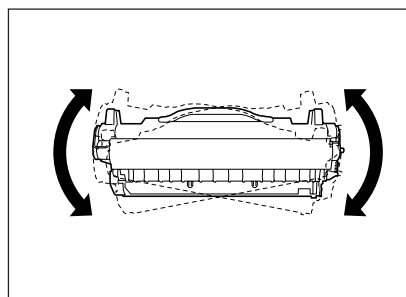
ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”または“87 OPCシ` ユミョウ EPコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。

交換する前に

ディスプレイが“76 トナーナシ EPコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンタから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってみてください。もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。

それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。

トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったときは、トナーランプ点灯時と同様に、EPカートリッジをゆっくり振り、トナーを均一にしてください。



“87 OPCシ` ユミョウ EPコウカン”と表示した場合は、OPCドラムの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。

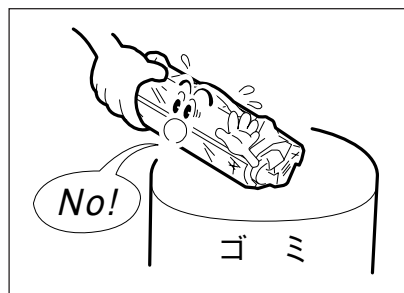
このときトナーランプが点灯しますが、故障ではありません。

[印刷可] スイッチを押すと印刷はできますが、印刷品質については保障できません。

EPカートリッジの廃棄と購入

廃棄について

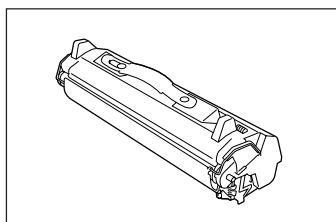
NECは使用済みのEPカートリッジの回収を行っています。古いEPカートリッジはそのまま捨てず、お求めの販売店にお持ちください。詳しくは販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。



購入について

新しいEPカートリッジは、2200X2/2200XE/2000X2をお買い求めになった販売店、NEC Bit-INN、NECマイコンショップなどでお求めになれます。

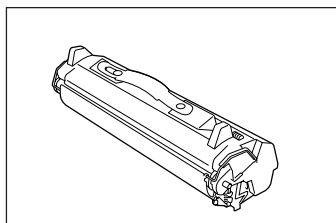
EPカートリッジ (PR2200X-11)



1個あたり、約6,000ページの印刷が可能な標準EPカートリッジです。
(2200X2/2200XE/2000X2に1個添付されています)

対応機種：MultiWriter 2200X、2200X2、2200XE、2000X2

EPカートリッジ (PR2200X-12)



1個あたり、約12,000ページの印刷が可能なEPカートリッジです。

対応機種：MultiWriter 2200X、2200X2、2200XE、2000X2



重要

2200X2/2200XE/2000X2でご使用になれるEPカートリッジはPR2200X-11、PR2200X-12(取っ手が緑のもの)のみです。他のモデルのEPカートリッジでは代用できませんのでお買い求めの際はご注意ください。



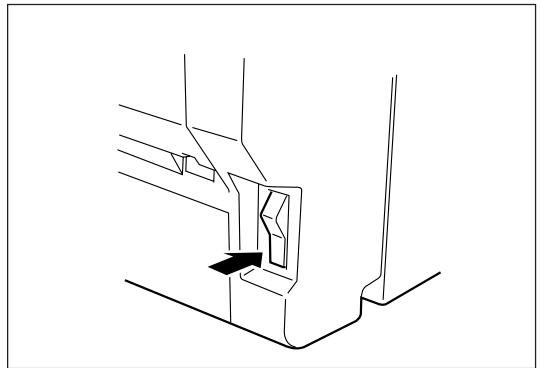
チェック

各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。(104ページ参照)
印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定、OPC寿命などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は、異なります。

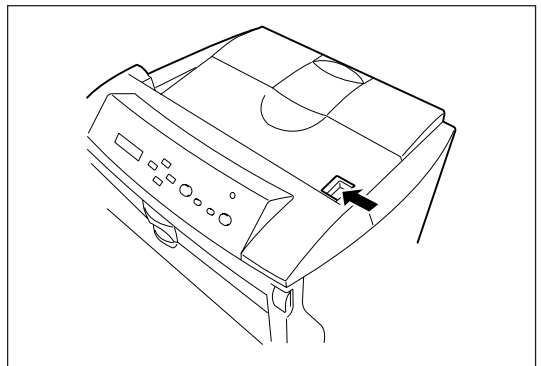
EPカートリッジの交換手順

1. 電源スイッチをOFFにする。

電源ランプが消灯します。

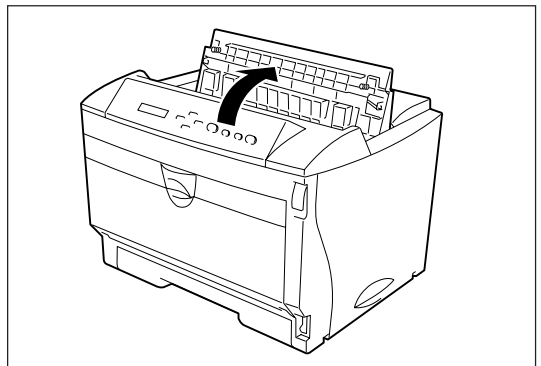


2. スタッカ開閉レバーを左側に押し込んでロックを解除する。



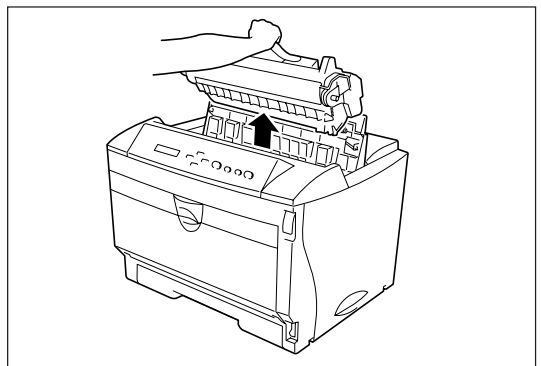
3. スタッカをゆっくりと開ける。

スタッカ開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタッカを開けてください。



4. 取っ手を持ち、使い終わったEPカートリッジを取り出す。

EPカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。



チェック

このカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収しております。お客様にはお手数ながらご使用後はお買い上げの販売店またはお近くのNECサービス窓口にお持ち寄りください。

5. 新しいEPカートリッジを本書の「EPカートリッジを取り付ける」(20ページ)に従って取り付ける。



ヒント

EPカートリッジの寿命

プリンタに添付されているEPカートリッジの寿命は、A4用紙で画像面積比(1ページ中の黒い部分の面積と用紙全体の面積との比率)5%のとき約6000枚になります(画像面積比による印刷枚数はあくまでも目安です。画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によっては異なります)。

また画像面積比が小さい印刷で、トナーが残ってもOPC寿命によりEPカートリッジの寿命となることがあります。

画像面積比5%の印刷例

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」の寿命は6000枚(A4、画像面積比5%)となっています。

ここで画像面積比5%の意味およびEPカートリッジの寿命について説明いたします。

従来のシリアルプリンタ(ドットインパクトプリンタや熱転写プリンタなど)では、消耗品のインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対して、本プリンタのようなページプリンタでは、「何枚」という単位で表現されます。

このように、表現を「何文字」から「何枚」に変えた理由には、

- ① ページプリンタでは、処理や印刷の単位がページごとになっていること。
- ② ①に関連して、イメージデータやグラフィック等、文字数では把握できないようなデータを印刷するケースが増えてきていること。

EPカートリッジの寿命を決定するものの1つに、その内部に収容されているトナー(インクに相当するもの)の量があります。トナーをすべて消費してしまえば、EPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンで、インクがなくなるまでを寿命と呼んだのと同じことです)。

従って、「枚数」で寿命を考えると、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

1ページの中に黒い部分がどれくらいの割合であるかを表したものが画像面積比です。1ページの中に黒い部分(印刷)がまったくない状態が0%、真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから、EPカートリッジの寿命を表現する場合にも、この画像面積比を使って「画像面積比%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が5%より大きい場合、6000枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

以上によりページプリンタではEPカートリッジの寿命が印刷枚数のみでなく、画像面積比によっても変わることがご理解いただけたと思います。

なお、この文書を10.5ポイントでA4用紙に印刷した場合が約5%の画像面積比になります。

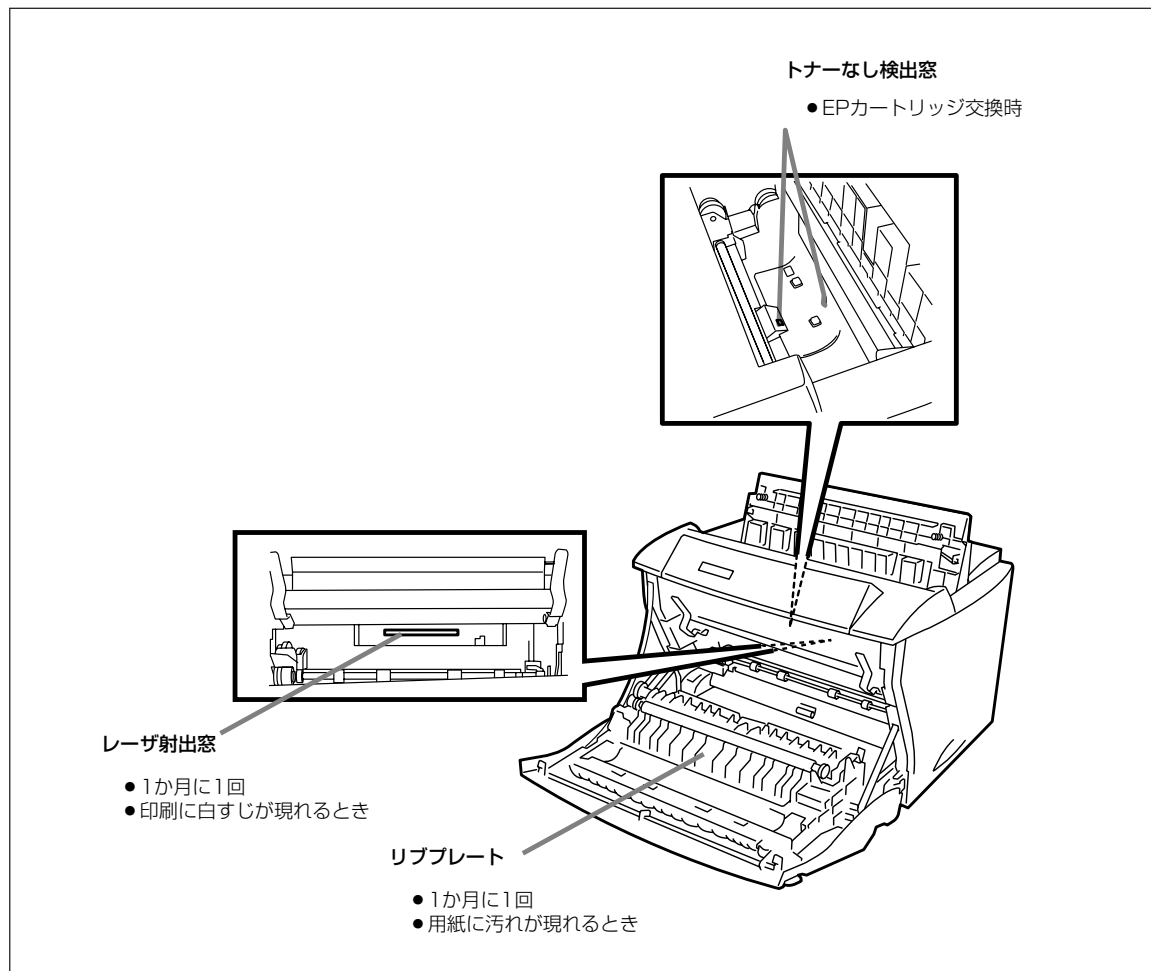
6. テスト印刷を実行する。

本書の「テスト印刷」(33ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

清 掃

清掃箇所と清掃時期

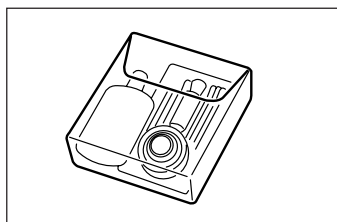
次に2200X2/2200XE/2000X2の清掃する場所とそれぞれの清掃時期について示します。



4

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットも別売されています。

クリーニングキット (PC-PR601-14)



プリンタの清掃に便利な用具一式が入っています (2200X2/2200XE/2000X2には添付されていません)。

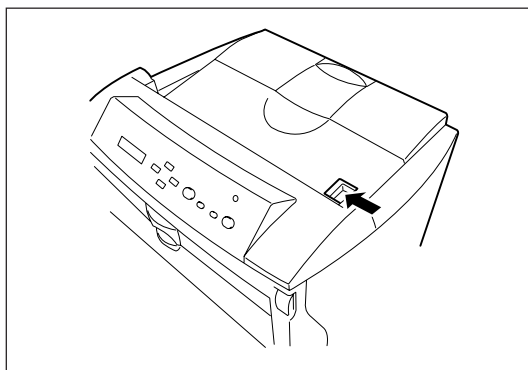
清掃手順

注意

清掃を行うときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。

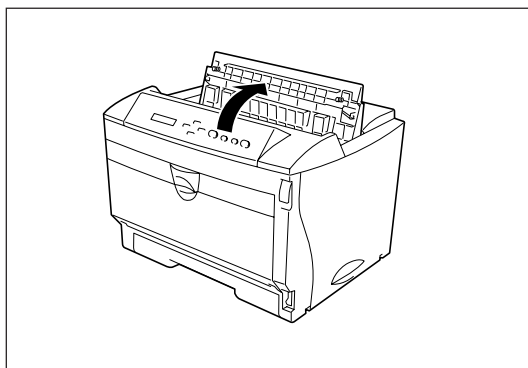
電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

1. スタッカ開閉レバーを左側に押し、ロックを解除する。



2. スタッカをゆっくりと開ける。

スタッカ開閉レバー付近のくぼみに指を引っ掛けてスタッカを開けてください。



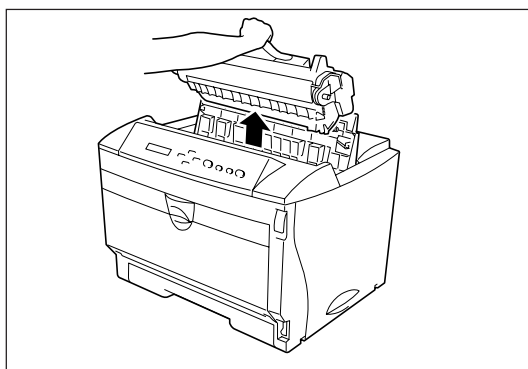
3. 取っ手を持ち、EPカートリッジを取り出す。

EPカートリッジは真上に持ち上げれば簡単に取り出せます。



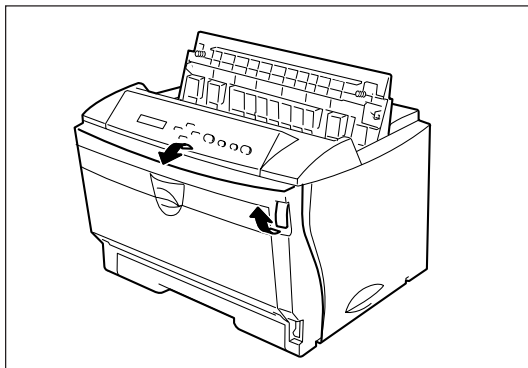
チェック

清掃時に取り外したEPカートリッジは、立てたり、裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光のあたる場所やほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

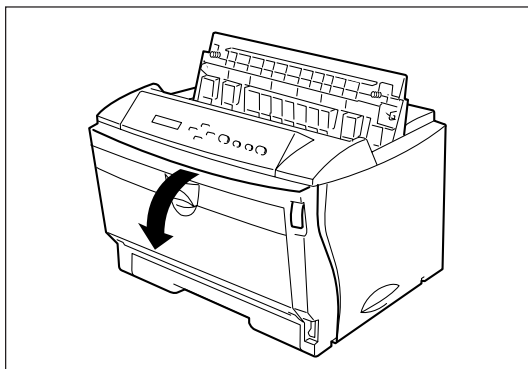


4. フロント開閉レバーを引いてロックを外す。

フロントカバーが少し開いて止まります。

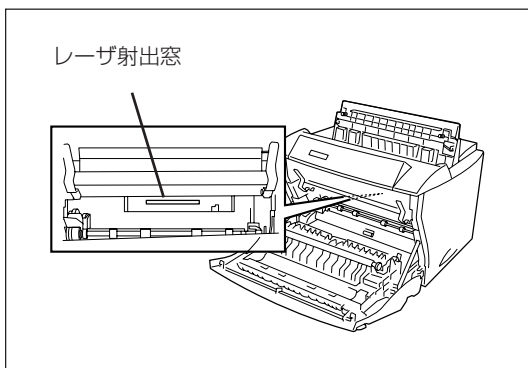


5. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開ける。



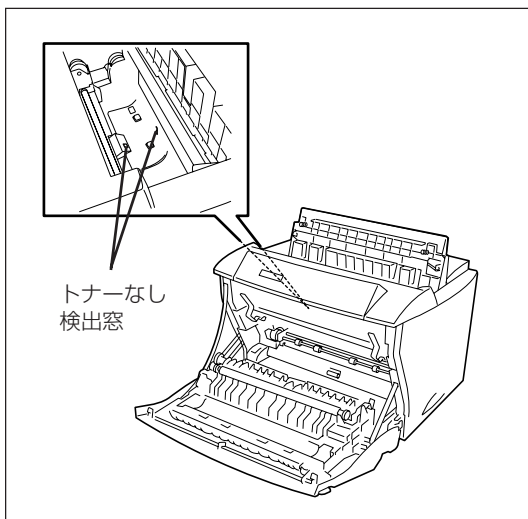
6. レーザ射出窓のガラスの汚れを柔らかい布または綿棒でふき取る。

レーザー射出窓は特に汚れやすい箇所です。こまめに清掃してください。



7. トナーなし検出窓の汚れを乾いた柔らかい布で軽くふき取る。

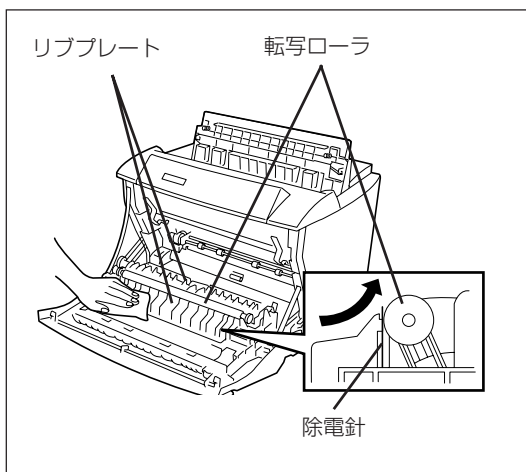
トナーなし検出窓は2か所あります。



8. リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取る。

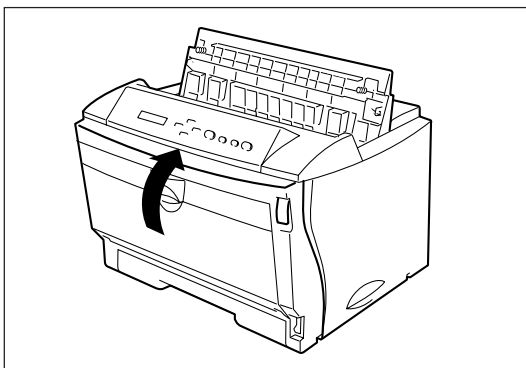


転写ローラ、除電針には触らないようにしてください。



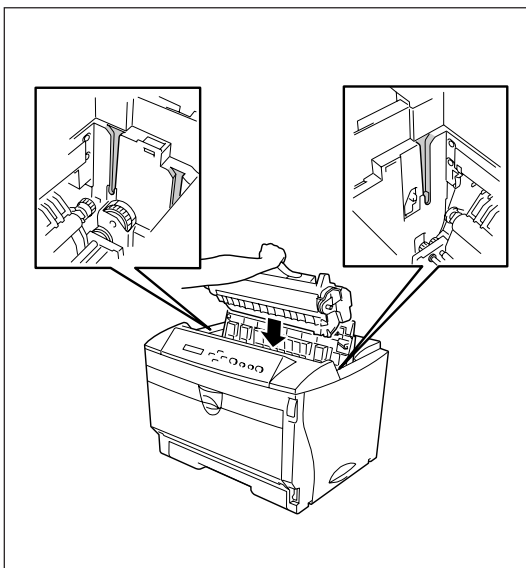
9. フロントカバーを閉める。

カチッと音がするまでゆっくりとフロントカバーを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。

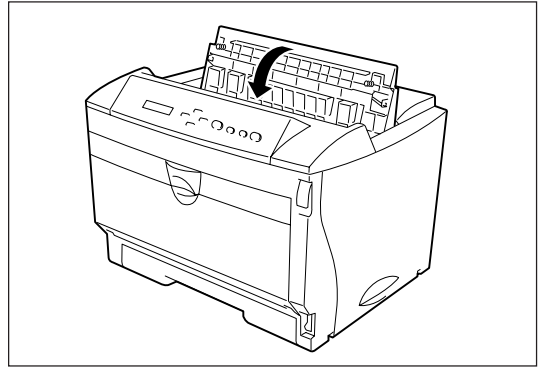


10. EPカートリッジをプリンタ本体に再びセットする。

EPカートリッジ上部に書いている矢印の方向をプリンタ正面に向けて、図のようにEPカートリッジの取っ手を持ち、カートリッジの両側(銀色、3か所)をプリンタの内部の溝に合わせてセットします。EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせず確実に下までセットされていることを確認してください。



11. スタックを閉じる。

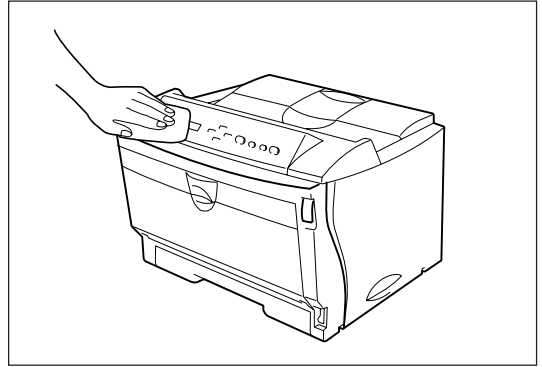


12. 外観の汚れは柔らかい清潔な布でふき取る。

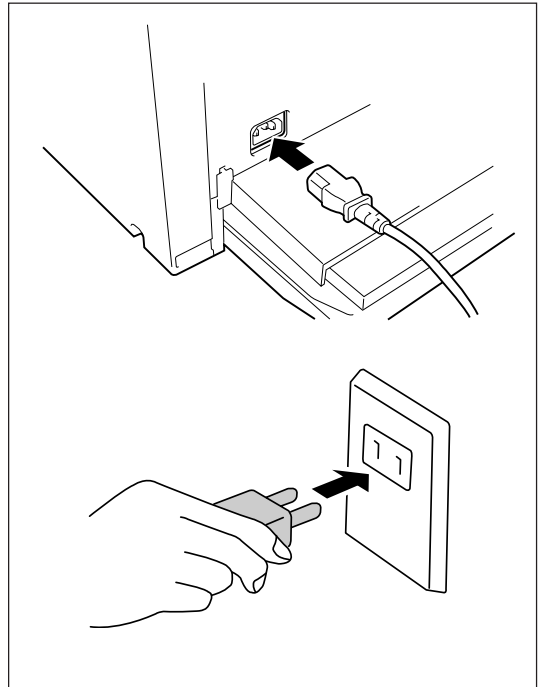
汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませてた布で拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。



アルコール、シンナー等はプリンタの表面を傷めますので、使用しないでください。



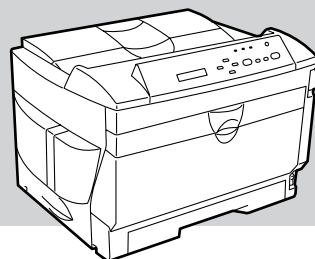
13. プリンタ背面の電源コネクタに電源コードのプラグを差し込み、コンセントにも差し込む。



14. テスト印刷を実行する。

本書の「テスト印刷」(33ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

5章 故障かな?と 思ったら



本章では「故障かな?」と思ったときの原因と処置方法を説明します。「故障かな?」と思わせる症状を「印刷がおかしい」、「アラーム表示が出ている」、「紙づまり」に分けて説明しています。ソフトウェアの不具合に関してはユーザーズマニュアル[2/2]を参照ください。

印刷がおかしいときは


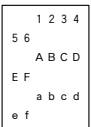
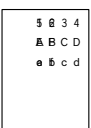
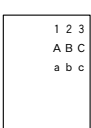
プリンタの動作がおかしかったり、印刷結果が思うようにならなかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

思うように印刷できないとき

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状なら、プリンタまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

症 状	原因と処理方法
正常に印刷できない	<p>他のプリンタが同一のポートを使用していませんか。</p> <p>→ プリンタドライバによっては利用先のポート(LTP1:, COM1:など)に対し常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンタに悪影響を与えることがあります。Windowsのマニュアルを参照して、他のプリンタのポートを本プリンタと違うポートに変更するか他のプリンタのドライバを削除してください。</p> <p>プリンタのメモリスイッチ5-1がONになっていませんか。</p> <p>→ Windowsから印刷を行う場合やPrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウやリモートパネルの使用)をご利用になる場合、メモリスイッチ5-1をOFFにしてご利用ください。ただし、お使いのプリンタをPC-PTOSからお使いの場合は、メモリスイッチ5-1をONにする必要があります。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>斜線の太さが均一でない (線の角度によって線の太さが違っている) 写真などの絵やグラデーションがおかしい</p>	<p>プリンタのSETの設定が「使用する」になっていませんか。 → リモートパネル、プリンタドライバまたはメニューモードでSETの設定を「使用しない」にしてください。 SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。</p> <p>トナー節約機能がONになっていませんか。 → リモートパネル、プリンタドライバまたはメニューモードでトナー節約機能をOFFにしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。</p>
<p>印刷位置が以前使用していたプリンタと合わない</p>	<p>アプリケーションの用紙・印刷に関する設定がまちがっていませんか。 → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。 ソフトウェアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれるものがあります。</p> <p>プリンタのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されていませんか。 → メニューモードまたはリモートパネルでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。 A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンタとそうでないプリンタとでは印刷位置が異なります。</p> <p>使用している用紙がプリンタの規格に合っていない。 → 「用紙について」(23ページ)を参照して、確認してください。 2200X2/2200XE/2000X2のようなカット紙プリンタは、用紙送りをローラの摩擦によって行っています。そのため、他のカット紙プリンタと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。</p> <p>以前使用していたプリンタと2200X2/2200XE/2000X2との間に印刷位置の互換性はありません。 → プリンタの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL (Level2) 対応のプリンタおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンタに対しては印刷位置の互換性はありません。</p>
<p>“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない</p>	<p>改ページコードまたは排出コードがありません。 → [印刷可]スイッチを押して印刷ランプを消灯させてから、[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押してください。 プリンタはページプリンタなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンタに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。</p> <p>なお、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を有効にしておく設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピュータからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。</p> <p>アプリケーションのプリンタ設定が「シリアルプリンタ」になっていませんか。 → ページプリンタを選択してください。 ソフトウェアのプリンタ設定がシリアルプリンタになっていると、排出コードをプリンタに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウェアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード (OCh) を付加するようにしてください。</p>




症 状	原因と処理方法
<p>“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない(続き)</p>	<p>コンピュータからのデータ送信が途切れています。 → プリンタへのデータ送信について、プリンタドライバの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。</p>
<p>ページの途中までしか印刷されない または 1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう</p>	<p>自動排出機能が有効になっていませんか。 → メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を無効にしてください。プリンタには自動排出機能(コンピュータからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能)があります。このとき、コンピュータからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。</p> <p>また、各OSでプリンタへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンタのビジー時間が長くなった場合、コンピュータが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンタの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアル[2/2]にも簡単に記載してあります。</p> <p>綴じしろは合っていますか。 → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。</p>
<p>用紙の左側が空白になる(印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される)</p>	<p>一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合があります。 → メニューモードまたはリモートパネルで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。</p>
<p>縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる</p>	<p>印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合があります。 → プリンタでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わるにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。</p>
<p>改行量(行の間隔)が2倍になる</p>  <p>1行が2行にわたる</p>  <p>各行の文字が重なって印刷されてしまう</p>  <p>用紙の途中から印刷が始まってしまう</p> 	<p>アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっていませんか。 → ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードまたはリモートパネルを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷(パーソナルコンピュータの画面コピーなど)を行うと、このような症状になることがあります。</p> <p>アプリケーションのプリンタ設定が「シリアルプリンタ」になっていませんか。 → 「ページプリンタ」を選択してください。 → メニューモードまたはリモートパネルを使ってプリンタの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンタ専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。</p>



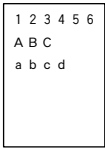
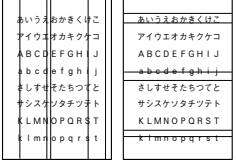
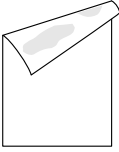

症 状	原因と処理方法
<p>改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう</p>	<p>一部のソフトウェアには、ソフトウェアの指定によって改行で用紙を排出するものがあります。</p> <p>→ ソフトウェアの設定をシートフィーダ付きにするか、1ページの長さを67桁 (A4サイズの場合) に設定してください。</p>
<p>画面の文字と異なる文字が印刷された</p>	<p>ご使用のコンピュータ環境に最も適した方法でプリンタを指定していますか。</p> <p>→ ユーザーズマニュアル[2/2]の各OSの章をご覧ください。</p> <p>適切なエミュレーションモードを選択していますか。</p> <p>→ 「メニューモード」(47ページ)を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。</p> <p>動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。</p> <p>プリンタケーブルがきちんと接続されていますか。</p> <p>→ プリンタ側とコンピュータ側の接続状態を確認してください。</p> <p>プリンタバッファや切替器を使用していませんか。</p> <p>→ プリンタバッファや切替器を使用しない接続方法に変更してください。</p>
<p>白紙が出る</p>	<p>ソフトウェアのプリンタ設定がシートフィーダ付きになっていませんか。</p> <p>→ シートフィーダ付きになっている場合は、メニューモードまたはメモリスイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。</p>
<p>両面印刷が正しく機能しない</p>	<p>ページプロテクトがOFFになっていませんか。</p> <p>→ 用紙サイズによっては、片面印刷になることがあります。ページプロテクトをONにしてください。</p> <p>メニューモード、メモリスイッチは合っていますか。</p> <p>→ 設定し直してください。</p> <p>セットされている用紙サイズは合っていますか。</p> <p>→ 両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。</p> <p>トレイの用紙種類を普通紙以外に設定していませんか。</p> <p>→ トレーから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。</p> <p>メモリが足りません。</p> <p>→ A3、B4サイズの場合、メモリの増設が必要です。ユーザーズマニュアル[2/2]の「メモリ増設表」(214ページ)をご覧ください。</p> <p>2200XE/2000X2の場合、両面印刷ユニットは正しく取り付けられていますか。</p> <p>→ 両面印刷ユニット(オプション)の取り付けが正しく行われているか確認して下さい。</p> <p>PC-PTOS環境ではありませんか。</p> <p>→ PC-PTOSでは動作しません。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>リプリント機能が使用できない</p>	<p>プリンタとコンピュータは双方向通信が設定されていますか。 → PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンタケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。</p> <p>「リプリント機能を使用する」がチェックされていますか。 → 「プロパティ」ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、確認してください。</p> <p>「リプリント機能を提供する」がチェックされていますか。 → PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンタをご使用の場合は、サーバ上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。)</p>
<p>TrueTypeフォントおよびFAフォントをプリンタフォントに置換する設定で、一部の文字が印刷されない、またデザインの異なる文字が印刷される</p>	<p>プリンタフォントとして実装されていない文字が使用されている、または画面の書体と異なるデザインで実装されている文字が使用されている可能性があります。 → 「プロパティ」ダイアログボックスの「フォント」を開き、「特殊文字をそのまま印刷」をチェックしてください。</p>
<p>ジョブセパレート機能が使用できない</p>	<p>A4サイズが縦置き、横置きでセットされていますか。 → プリンタにセットされている用紙を確認してください。</p> <p>トレーの用紙サイズは設定されていますか。 → トレーの用紙サイズを設定してください。</p> <p>トレーの用紙種類を普通紙以外に設定していませんか。 → トレーから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。</p> <p>用紙給紙は自動に設定されていますか。 → 「プロパティ」ダイアログボックスの[用紙]シートを開き、自動に設定してください。</p> <p>「ジョブセパレート機能を使用する」がチェックされていますか。 → ネットワーク環境で共有プリンタとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタドライバで「ジョブセパレート機能を使用する」にしてください。</p>
<p>ジョブセパレート機能がうまく働かない</p>	<p>丁合い機能は正しく選択されていますか。 → アプリケーションの印刷機能から丁合機能を指定している場合は正しく機能しません。指定を外してください。</p> <p>印刷部数(コピー印刷)は指定されていますか。 → 印刷部数の指定を確認してください。</p> <p>すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用するように設定されていますか。 → ネットワーク環境で共有プリンタとして使用しているすべてのクライアントが「ジョブセパレート機能を使用する」に設定していることを確認してください。</p>

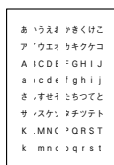
印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症 状	原因と処理方法
<p>用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき</p> 	<p>用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(23ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>サイドガイドが用紙の幅に合っていない。 → 「ホッパに用紙をセットする」(25ページ)を参照して、もう一度用紙をセットしなおしてください。</p> <p>トレー給紙の「用紙種類」はセットされている用紙に対して、正しく設定されていますか。 → リモートパネル、「プロパティ」ダイアログボックス、メニューで設定しなおしてください。</p> <p>設定濃度を濃くしていませんか。 → メニューモード、プリンタドライバで濃度を設定しなおしてください。</p>
<p>用紙が汚れているとき</p> 	<p>プリンタの内部が汚れています。 → 「清掃」(105ページ)を参照して、よく清掃してください。</p>
<p>印刷が薄いとき</p> 	<p>トナーがありません(トナーランプ点灯)。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>トナー節約機能を使用していませんか。 → メニューモード、プリンタドライバ、またはリモートパネルでトナー節約機能を解除してください。</p> <p>設定濃度を淡くしていませんか。 → メニューモード、プリンタドライバで濃度を設定しなおしてください。</p> <p>EPカートリッジのビニールシールが取り付けられたままです。 → 「EPカートリッジを取り付ける」(20ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。</p> <p>トレー給紙の「用紙種類」はセットされている用紙に対して、正しく設定されていますか。 → リモートパネル、「プロパティ」ダイアログボックス、メニューで設定しなおしてください。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>何も印刷されない</p> 	<p>トナーがありません(トナーランプ点灯)。 → EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、EPカートリッジを交換してください。</p> <p>EPカートリッジのビニールシールが取り付けられたままです。 → 「EPカートリッジを取り付ける」(20ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。</p>
<p>真っ黒に印刷されたとき</p> 	<p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。 → 「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。 → 「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
<p>文字のグレー印刷ができない</p> 	<p>「文字を白黒で印刷する」がチェックされていませんか。 → 「プロパティ」ダイアログボックスを開き、「文字を白黒で印刷する」がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。</p>
<p>印刷に縦線や横線が入るとき</p> 	<p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。 → 「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。 → 「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
<p>印刷用紙の裏が汚れるとき</p> 	<p>転写ローラが汚れています。 → 数枚テスト印刷をしてください。</p> <p>転写ローラガイドプレートかリブプレートが汚れています。 → 「清掃」(105ページ)を参照して、プリンタの内部を清掃してください。</p>
<p>部分的に白く抜けるとき</p> 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性があります。 → 「ホッパに用紙をセットする」(25ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。</p> <p>用紙が規格に合っていないです。 → 「用紙について」(23ページ)を参照して、確認してください。</p> <p>冬期はプリンタ内部が結露している可能性があります。 → 電源をONにしたまま30分～1時間放置してから印刷してください。</p>

症 状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき(続き)	<p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
縦線の形状で白く抜けるとき	<p>レーザ射出窓にゴミがついています。</p> <p>→ 「清掃」(105ページ)を参照して、レーザ射出窓を清掃してください。</p> <p>EPカートリッジが正しく取り付けられていません。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。</p> <p>EPカートリッジそのものに問題がある可能性があります。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」(101ページ)を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。</p>
正しく印刷できずに文字が化ける	<p>プリンタ切り替え機などを介して印刷していませんか。</p> <p>→ 切り替え機などを介さずにプリンタを接続してください。</p> <p>→ LANボード接続に変更してください。</p>



印刷できないとき

次の表に、印刷できないときの症状、および確認と処理方法を示します。それぞれの方法に従って確認、処理してください。

症 状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	<p>[電源]スイッチがOFFになっています。</p> <p>→ [電源]スイッチをONにしてください。</p> <p>電源コードがきちんと差し込まれていません。</p> <p>→ プリンタ側とコンセント側の両方を確認してください。</p> <p>コンセントに電気が供給されていません。</p> <p>→ 配電盤などの状態を調べてください。</p>
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	<p>印刷可ランプが消灯しています。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。</p> <p>プリンタケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていません(データランプ消灯)。</p> <p>→ 134ページおよび36ページを参照して、プリンタケーブルを確認、接続してください。</p> <p>改ページまたは排出コードがありません(データランプ点灯)。</p> <p>→ [シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンタ内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を選択することをお勧めします。</p>

症状	原因と処理方法
<p>データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない(続き)</p>	<p>用紙がなくなったか、または指定されたサイズ用紙がありません(印刷可ランプ(赤)点灯)。プリンタの規格に合っていない。 → 「ホッパに用紙をセットする」(25ページ)を参照して、用紙を補給してください。</p> <p>印刷可ランプ(赤)が点灯していませんか。 → 「アラーム表示が出ているときは」(次ページ)をご覧ください。</p> <p>プリンタはページプリンタなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 → もう少しお待ちください。</p> <p>2200X2/2200XE/2000X2が「通常使うプリンタ」として選択されていますか。 → 2200X2/2200XE/2000X2を「通常使うプリンタ」として選択してください。</p> <p>コンピュータのメモリが不足しています。 → コンピュータのメモリを増やしてください。</p>
<p>ホッパにセットした用紙サイズを認識しない</p>	<p>用紙をセットしなおしてください。 → 「ホッパに用紙をセット」(25ページ)を参照して、用紙をセットし直してください。</p> <p>レターサイズ用紙をセットしていませんか。 → レターサイズの用紙をセットした場合、自動検出できませんので「ヨウシメニュー」で用紙サイズを設定してください。</p>
<p>トレイから印刷ができない</p>	<p>給紙方法が自動またはホッパになっていませんか。 → プリンタドライバの給紙方法をトレイに設定し直してください。</p> <p>用紙をセットし直してください。 → 「トレイに用紙をセットする」(29ページ)を参照して用紙をセットし直してください。</p>
<p>給紙方法をトレイとし、印刷したのに「ホッパホキュウアラーム」が表示される</p>	<p>トレイにセットした用紙サイズは正しく設定されていますか。 → トレースイッチで用紙サイズを設定してください。(43ページ参照)</p>

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示(アラーム表示)されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。



チェック

リモートパネルで「ブザーを鳴らさない」を設定しているとき、またはメモリスイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

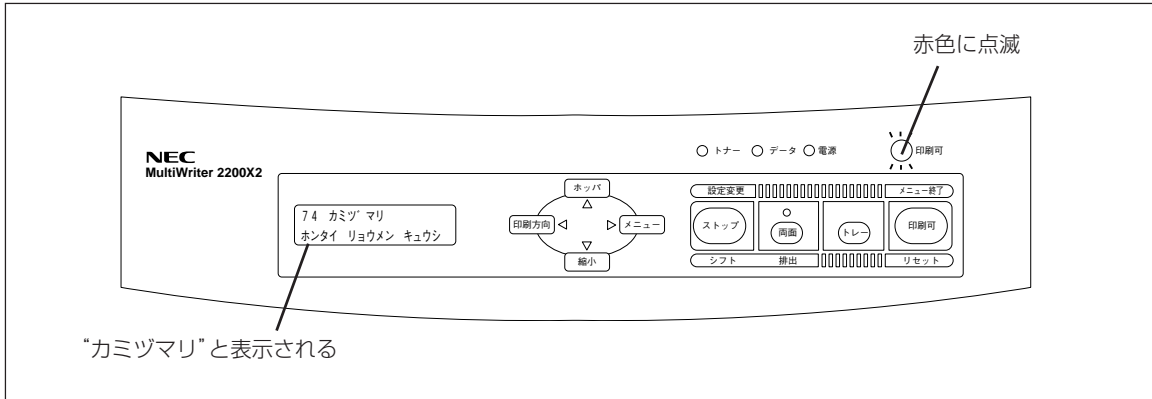
次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
<p>ホッパ¹ A4 ホキユウ</p> <p>ホッパが増設されているときは、この位置にホッパ番号(1、2または3)が表示されます。</p> <p>トレイ A4 タテ フツウ</p>	<p>用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズ of 用紙がありません。</p> <p>→ 表示されているサイズの用紙を用紙カセットに補給してください。</p>
<p>72 カバ¹ -オーフ¹ ン ホンタイ</p> <p>72 カバ¹ -オーフ¹ ン リョウメン</p>	<p>スタッカ、フロントカバー、両面印刷カバーが開いています。</p> <p>→ スタッカ、フロントカバー、両面印刷カバーをきちんと閉じてください。</p>
<p>73 EPカートリッジ¹ ナシ</p>	<p>EPカートリッジが取り付けられていません。</p> <p>→ EPカートリッジを取り付けなおしてください。EPカートリッジを取り付けたあと、スタッカをきちんと閉じてください。</p>
<p>74 カミツ¹ マリ ホンタイ リョウメン キュウシ</p>	<p>紙づまりが発生しています。</p> <p>→ この後の「紙づまりの処理」に従って、つまった用紙を取り除いてください。</p>
<p>75 ヨウシサイズエラー¹</p> <p>増設ホッパが選択されているときは、ホッパ番号(1、2または3)が右端に表示されます。</p>	<p>指定サイズと異なる用紙がセットされています。</p> <p>→ 指定サイズの用紙をホッパにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。</p>
<p>76 トナーナシ EPコウカン</p>	<p>EPカートリッジの交換時期です。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」に従ってEPカートリッジを交換後、スタッカをきちんと閉じてください。</p> <p>EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンタをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンタの電源をOFFにし、再び電源をONにしても「76 トナーナシ」アラームは解除できません。</p>

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
77 テイキホシュ	<p>定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。</p> <p>→ 販売店にお問い合わせください。</p> <p>このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンタをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。</p>
82 メモリオーバー	<p>印刷データを蓄えるメモリが不足しています(メモリスイッチ6-2 OFFの場合のみ表示します)。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83 インサツファ”のアラーム表示をします。</p> <p>メモリを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「ページプロテクト」をONにすれば正しい印刷が可能になります。</p>
83 インサツファ	<p>メモリオーバーで解像度をおとして印刷しようとしたのですが、それでもメモリが不足しています。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。</p> <p>メモリを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「ページプロテクト」をONにすれば正しい印刷が可能になります。</p>
84 フォーム オーバーXXX	<p>フォーム登録に必要なメモリが不足しています。</p> <p>→ [印刷可]スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(×××)のフォームデータが読み捨てられます。</p> <p>メモリを増設し、メニューモード「メモリセッテイ」の「メモリワリアテ」を「フォームトウロクユウセン」とすることでフォーム登録用メモリを増加させることができます。</p>
87 OPCジュミョウ EPコウカン	<p>OPCの寿命が近づきました。</p> <p>→ 「EPカートリッジの交換」に従ってEPカートリッジを交換後、スタッカをきちんと閉じてください。</p> <p>EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンタをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンタの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“87 OPCジュミョウ”アラームは解除できません。</p>
88 EPタイプチカイ EPコウカン	<p>EPカートリッジのタイプが違います。</p> <p>→ 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。</p>
18 コール 18 (オプション使用時)	<p>漢字アウトラインフォントカードに異常があります。</p> <p>→ 電源をOFFにしてフォントカードを取り付け直し、もう一度電源スイッチをONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、販売店に修理を依頼してください。</p>
上記以外の表示	<p>障害が発生しています。</p> <p>→ 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンタの故障が考えられます。保守サービス窓口へ修理をお申し付けください。</p>

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、印刷可(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに“74 カミヅマリ ホンタイ リョウメン キュウシ”と表示されます。同時にプリンタは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが赤色に点滅)になります。



紙づまりの処理

ディスプレイ下段の表示は、紙づまりが発生している箇所を表しています。

- “ホンタイ” プリンタ内部または 排出部
- “リョウメン” 両面印刷ユニット (2200XE/2000X2は両面印刷ユニット取り付け時のみ表示)
- “キュウシ” 給紙部

これら3種類の表示のうち、紙づまりが発生している箇所だけがディスプレイに表示されます。

次ページの図を参考にして、、、のいずれかを開けて、つままった箇所を調べてください。つままった箇所に応じて、124ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

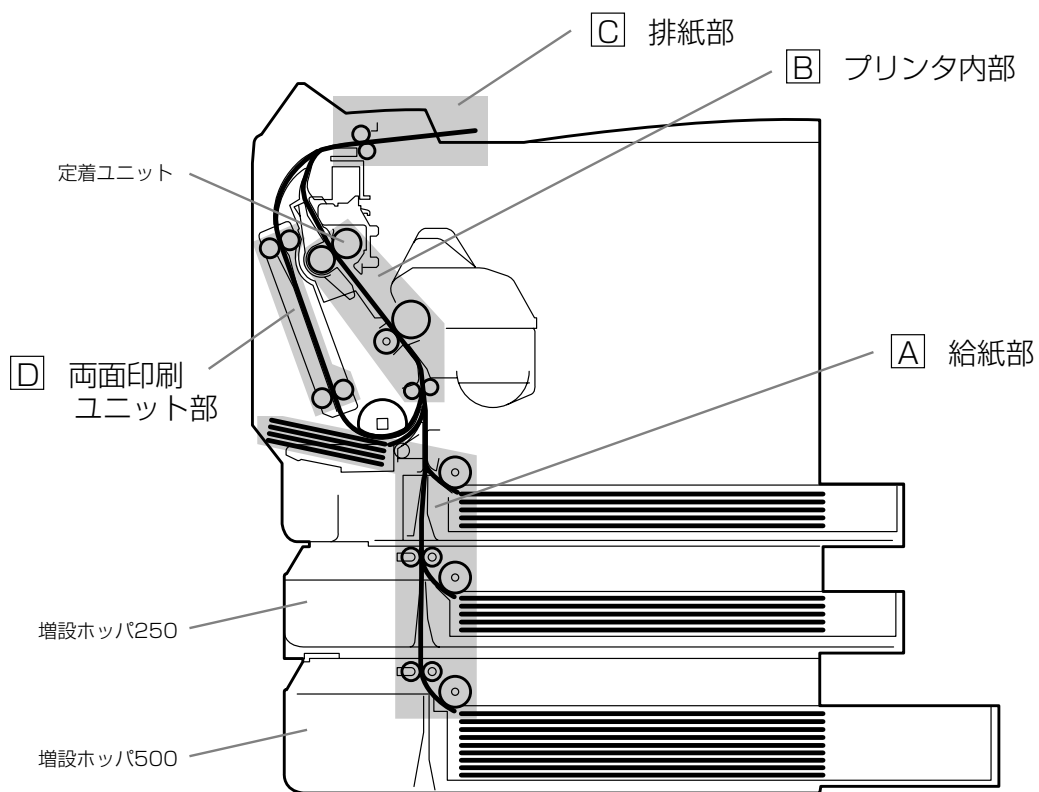
つままった用紙を取り除くことができれば、EPカートリッジを元の場所にセットし直し、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、印刷が再開されます(通常、印刷は紙づまりを起こしたページから再開されますが、紙づまりの状態によってはそれ以降のページから再開される場合があります)。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」(128ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。



チェック

つままった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンタの正しい用紙送りを妨げることがあります。紙づまりが発生した場合、2200X2/2200XE/2000X2では、つままった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開する機能を持っています。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。



注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

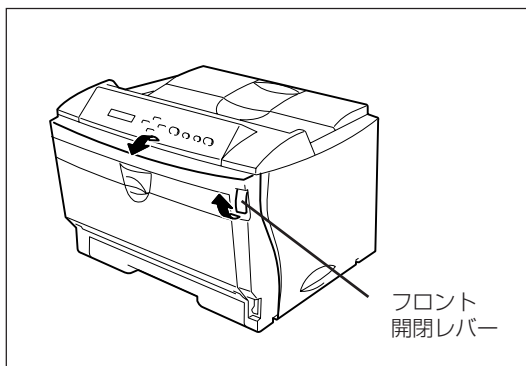
紙づまりの発生箇所

A 給紙部の紙づまり

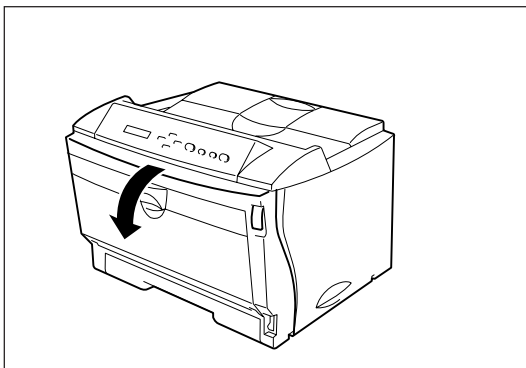
■ ホッパ給紙で紙づまりが発生した場合

1. フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外す。

フロントカバーが少し開いて止まります。



2. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開ける。

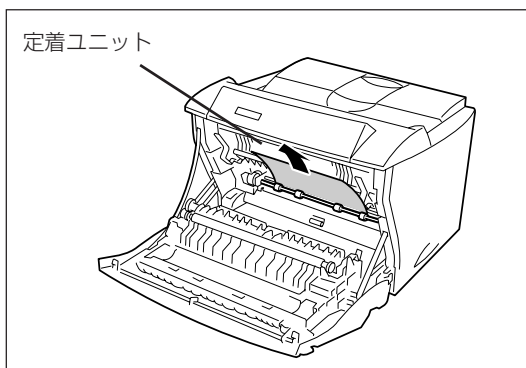


3. つまった用紙をゆっくり引き抜く。

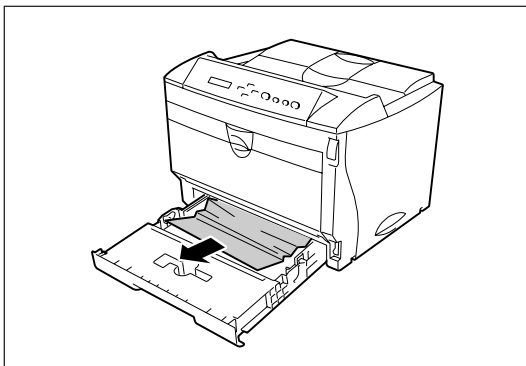
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

⚠ 注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。

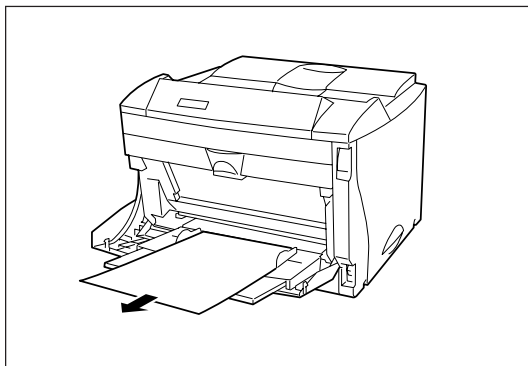


4. 用紙カセット内でつまっている場合は、用紙カセットを静かに引き出し、つまった用紙を取り除く。



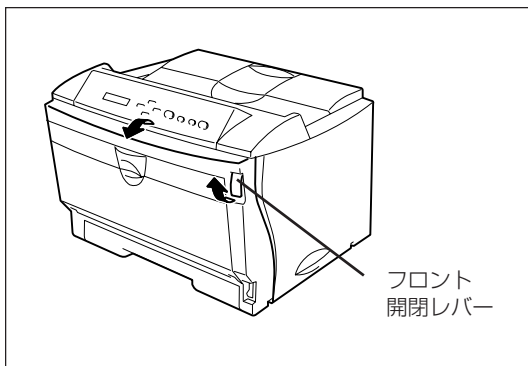
■ トレー給紙で紙づまりが発生した場合

1. トレーにセットしてある用紙を取り除く。



2. トレーを閉じて、フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外し、フロントカバーをゆっくりと開ける。

フロントカバーが少し開いて止まります。

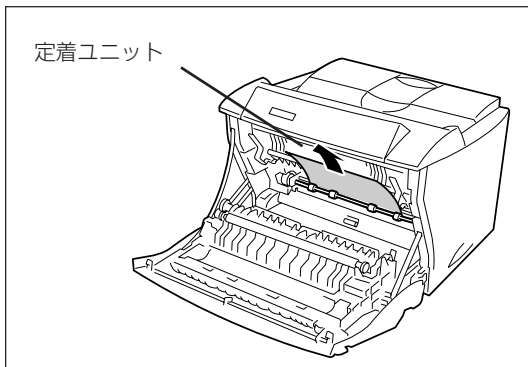


3. つまった用紙をゆっくり引き抜く。

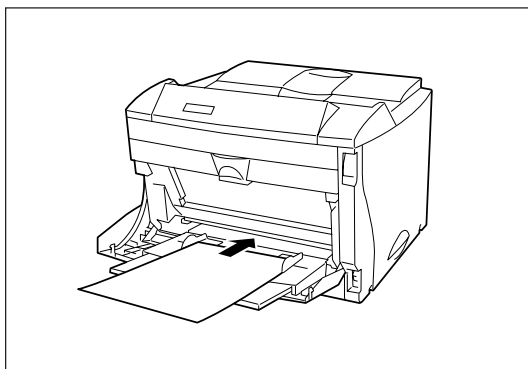
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。



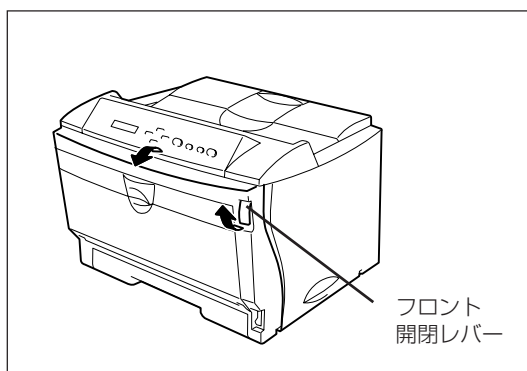
4. フロントカバーを閉じて、トレーを開き、用紙をセットしなおす。



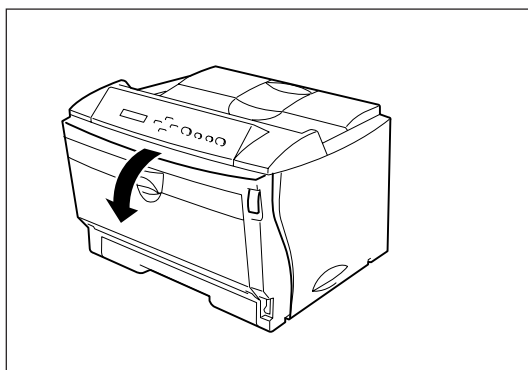
B プリンタ内部の紙づまり

1. フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外す。

フロントカバーが少し開いて止まります。



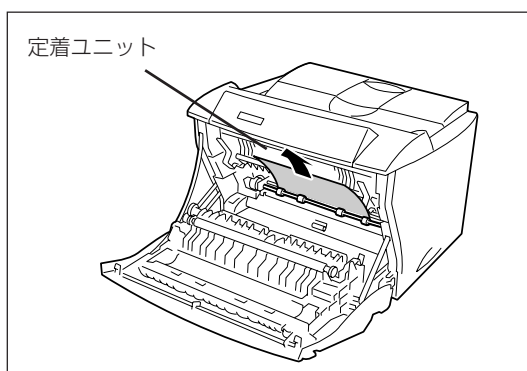
2. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開ける。



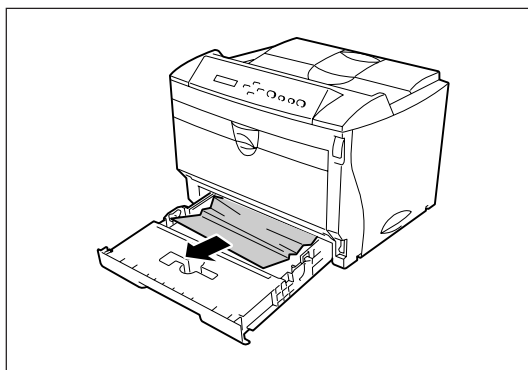
3. つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引き抜く。

⚠ 注意

定着ユニット周辺は高温になっていますので十分に注意してください。



4. 用紙がローラにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜く。



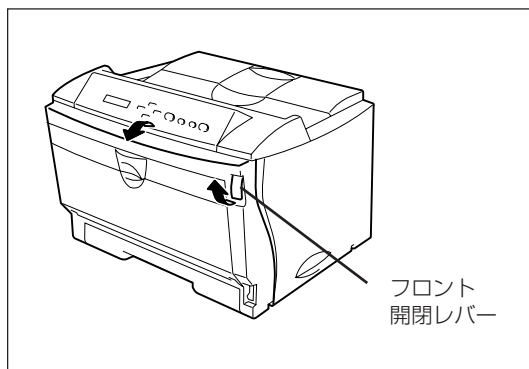
C 排出部の紙づまり

1. フロント開閉レバーを手前に引いてロックを外す。

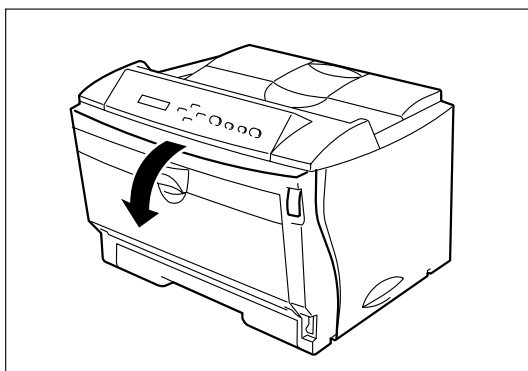
フロントカバーが少し開いて止まります。



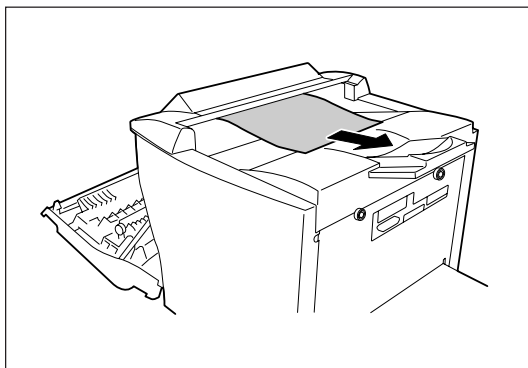
フロントカバーを開けてからつまった用紙を取り除いてください。フロントカバーを開けずに引き抜こうとしても引き抜けません。無理に引き抜くとプリンタの故障の原因となります。



2. フロントカバーを持ち、ゆっくりと開ける。



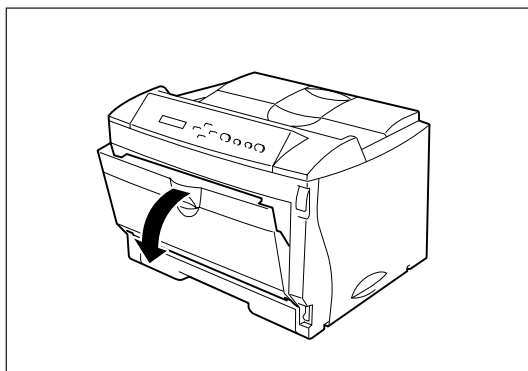
3. 排出口より、用紙をゆっくりと引き抜く。



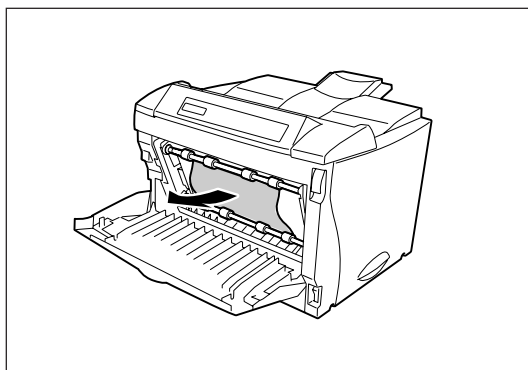
□ 両面印刷ユニット部の紙づまり

1. 両面印刷カバーを開く。

両面印刷カバーのくぼみ部を持ち、手前に引きま
す。



2. つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと引 き抜く。



紙づまり処理後の確認

つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

- 用紙片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- スタッカ、フロントカバー、両面カバーは確実に閉じられていますか。
- 用紙カセットは奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- 用紙カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- 用紙は正しくセットされていますか。
- 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙について」(23ページ)に記載されている事
らは守られていますか。
- 用紙の量が多すぎませんか。(標準ホッパの容量は、普通紙の場合連量55kg用紙で約250枚で
す。)
- 片面印刷されている用紙を使用していませんか。

上記の確認後、「テスト印刷」(33ページ)に従って、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙
づまり処理直後は、ローラ等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページテスト印刷をし
てください。)

付録

仕様

MultiWriter 2200X2/2200XE

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザダイオード+ポリゴンスキャナ 現像方式：1成分乾式
印刷速度*	約 20 枚 / 分 (A4 用紙横置き、ホッパ給紙片面印刷時) * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピュータからのデータの送り方などによって異なります。
ウォームアップの待ち時間	電源投入時：約 60 秒 (20℃)
ファーストプリントタイム	片面印刷時 A3 サイズ 約 14.0 秒 (ホッパ給紙) B4 サイズ 約 13.5 秒 (ホッパ給紙) A4 サイズ 約 11.5 秒 (A4 用紙横置き、ホッパ給紙) 両面印刷時 A3 サイズ 約 25.0 秒 (ホッパ給紙) B4 サイズ 約 23.5 秒 (ホッパ給紙) A4 サイズ 約 20.0 秒 (A4 用紙横置き、ホッパ給紙)
用紙容量	ホッパ：250 枚 (連量 55kg の用紙の場合、標準ホッパ 1 段につき) トレー：100 枚 (連量 55kg の用紙の場合)
スタック容量	250 枚 (A4 用紙、連量 55kg 相当)
ドット間隔	1/600 インチ× 1/600 インチまたは 1/400 インチ× 1/400 インチ
CPU	RV4640 (133MHz)

RAM	標準 8MByte、最大 40MByte（オプション増設時）… 2200X2 標準 4MByte、最大 36MByte（オプション増設時）… 2200XE
オプション RAM ソケット	1 ソケット
インタフェース	セントロニクス仕様に準拠**（前面、背面に 1 つずつ装備） ** IEEE 1284 規格準拠双方向パラレルインタフェース
データ形式	NPDL Level 2（201PL エミュレーション含む）、ESC/P エミュレーション
環境	動作温度： 10～32.5℃ 動作湿度： 20～80%RH（結露しないこと） 保管温度： 0～32.5℃ 保管湿度： 10～80%RH（結露しないこと） 塵埃量： 一般事務室程度 ガス成分： 一般事務室程度 気圧： 1.013 × 10 ⁵ ～ 0.7524 × 10 ⁵ Pa（海拔 0～2500m）
騒音	動作時： 53dBA 待機時： 38dBA
電源	電圧： 100V ± 10% 周波数： 50/60Hz ± 1Hz
消費電力	動作時最大（プリンタ単体時）： 650W（680VA） 動作時最大（フルオプション時）： 760W（800VA） 動作時平均（プリンタ単体時）： 430W 節電モード時： 25W 以下
寸法	幅 520mm × 奥行き 566mm × 高さ 373mm（カセット伸長時） 幅 520mm × 奥行き 495mm × 高さ 373mm（カセット縮小時）
重量	約 19kg（消耗品、オプション含まない）… 2200X2 約 18kg（消耗品、オプション含まない）… 2200XE
製品寿命	印刷枚数 30 万枚または使用年数 5 年のいずれか早い方
消耗品寿命	EP カートリッジ（本体添付）： 約 6,000 枚（印刷枚数） （ただし A4 用紙、画像面積比 5%印刷時）
フォント	アウトラインフォント 2 種類（明朝体、ゴシック体）
対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> ● MS-DOS ver. 3.3 以上、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版、Microsoft Windows NT 3.5 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 ● PC-PTOS Ver. 1.0 以上 ● PC-PTOS Ver. 1.0～2.3 でお使いの場合は、「PTOS IV プリンタ OS 支援パッケージ PS」が必要です。 ● DOS/V（MS-DOS 5.0/V 以上または IBM DOS Ver. J5.0/V 以上） ● Macintosh 漢字 Talk 7.1.x、7.5.x、Mac OS 7.6、7.6.1、8.0（PC-PR-L01 使用時）、ただし、漢字 Talk 7.5.x の QuickDrawGX には未対応

MultiWriter 2000X2

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード+ポリゴンスキャナ 現像方式：1成分乾式		
印刷速度*	約 12 枚 / 分 (A4 用紙横置き、ホッパ給紙片面印刷時) * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピュータからのデータの送り方などによって異なります。		
ウォームアップの待ち時間	電源投入時：約 30 秒 (20℃)		
ファーストプリントタイム	片面印刷時	A3 サイズ	約 19 秒 (ホッパ給紙)
		B4 サイズ	約 18 秒 (ホッパ給紙)
		A4 サイズ	約 15 秒 (A4 用紙横置き、ホッパ給紙)
	両面印刷時	A3 サイズ	約 42 秒 (ホッパ給紙)
		B4 サイズ	約 40 秒 (ホッパ給紙)
		A4 サイズ	約 35 秒 (A4 用紙横置き、ホッパ給紙)
用紙容量	ホッパ：250 枚 (連量 55kg の用紙の場合、標準ホッパ 1 段につき) トレイ：100 枚 (連量 55kg の用紙の場合)		
スタック容量	250 枚 (A4 用紙、連量 55kg 相当)		
ドット間隔	1/600 インチ× 1/600 インチまたは 1/400 インチ× 1/400 インチ		
CPU	RV4640 (100MHz)		
RAM	標準 4MByte、最大 36MByte (オプション増設時)		
オプション RAM ソケット	1 ソケット		
インタフェース	セントロニクス仕様に準拠** (前面、背面に 1 つずつ装備) ** IEEE 1284 規格準拠双方向パラレルインタフェース		
データ形式	NPDL Level 2 (201PL エミュレーション含む)、ESC/P エミュレーション		
環境	動作温度： 10～32.5℃	動作湿度： 20～80%RH (結露しないこと)	
	保管温度： 0～32.5℃	保管湿度： 10～80%RH (結露しないこと)	
	塵埃量： 一般事務室程度	ガス成分： 一般事務室程度	
	気圧： 1.013 × 10 ⁵ ～ 0.7524 × 10 ⁵ Pa (海拔 0～2500m)		
騒音	動作時： 50dBA		
	待機時： 38dBA		
電源	電圧： 100V ± 10%		
	周波数： 50/60Hz ± 1Hz		
消費電力	動作時最大 (プリンタ単体時) : 630W (660VA)		
	動作時最大 (フルオプション時) : 720W (750VA)		
	動作時平均 (プリンタ単体時) : 310W		
	節電モード時 : 25W 以下		

寸法	幅 520mm ×奥行き 566mm ×高さ 373mm (カセット伸長時) 幅 520mm ×奥行き 495mm ×高さ 373mm (カセット縮小時)
重量	約 18kg (消耗品、オプション含まない)
製品寿命	印刷枚数 30 万枚または使用年数 5 年のいずれか早い方
消耗品寿命	EP カートリッジ (本体添付) : 約 6,000 枚 (印刷枚数) (ただし A4 用紙、画像面積比 5%印刷時)
フォント	アウトラインフォント 2 種類 (明朝体、ゴシック体)
対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> ● MS-DOS ver 3.3 以上、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版、Microsoft Windows NT 3.5 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 ● PC-PTOS Ver. 1.0 以上 ● PC-PTOS Ver. 1.0 ~ 2.3 でお使いの場合は、「PTOS IV プリンタ OS 支援パッケージPS」が必要です。 ● DOS/V (MS-DOS 5.0/V 以上または IBM DOS Ver. J5.0/V 以上) ● Macintosh 漢字 Talk 7.1.x、7.5.x、Mac OS 7.6、7.61、8.0 (PC-PR-L01 使用時)、ただし QuickDrawGX には未対応

用紙の規格

■ 普通紙（乾式 PPC 用紙）

寸法	A3 判（297 × 420mm）、A4 判（210 × 297mm）、A5 判（148 × 210mm）、B4 判（257 × 364mm）、B5 判（182 × 257mm）、レターサイズ（約 216 × 280mm）
連量	ホッパ給紙：55 ～ 70kg トレー給紙：55 ～ 110kg （連量とは、用紙 788 × 1091mm（四六判）のサイズ of 用紙 1000 枚あたりの重さを示します。）
坪量	ホッパ給紙：64 ～ 81.4g/m ² トレー給紙：64 ～ 128g/m ² （坪量とは、用紙 1000 × 1000mm（1m ² ）のサイズ of 用紙 1 枚あたりの重さを示します。）
表面電気抵抗	$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

■ はがき

官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、連量のものを使用してください。

ただし、往復はがきは折り目が無いものを使用してください。

寸法	官製はがき（100 × 148mm） 官製往復はがき（200 × 148mm）
連量	135kg 相当
坪量	157g/m ² 相当

■ OHP フィルム

寸法	A4 判（210 × 297mm）
厚さ	0.1mm ± 0.025mm（100 μm ± 25 μm）

乾式 PPC 用、表面処理されているものを使用してください。

■ ラベル紙

寸法	A4 判（210 × 297mm）、B4 判（257 × 364mm）
----	-------------------------------------

乾式 PPC 用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

■ 封筒

洋形 4 号（LIFE 洋封筒 E506 ライフ（株）製）のものに限ります。

寸法	105 × 235mm
----	-------------

両面印刷時の用紙の規格

■ 普通紙（乾式 PPC 用紙）

寸法	A3 判（297 × 420mm）、A4 判（210 × 297mm）、A5 判（148 × 210mm）、B4 判（257 × 364mm）、B5 判（182 × 257mm）、レターサイズ（約 216 × 280mm）
連量	ホッパ給紙：55 ～ 70kg トレー給紙：55 ～ 70kg
坪量	ホッパ給紙：64 ～ 81.4g/m ² トレー給紙：64 ～ 81.4g/m ²
表面電気抵抗	$1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

使用できるプリンタケーブル

MultiWriter 2200X2/2200XE/2000X2で使用できるプリンタケーブルは次の表のとおりです。

コンピュータ		プリンタケーブル
PC98-NXシリーズ		PC-PRCA-01 PC-CA205
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ (除くAp・As・Ae・Af) 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ (除くBA・BX) 98MULTiシリーズ (除くCe) 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CanBeJam CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *3	PC-CA202*1 PC-CA204
	PC-98XA・XL・XL ² ・RL *3	PC-PR801-21 (パソコン本体に標準添付)
	上記以外の14ピンパラレルインタフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA201R*2 PC-CA203
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *3 SV-98シリーズ	PC-CA202*1 PC-CA204
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*1 PC-CA204
	上記以外の20ピンパラレルインタフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*1 PC-CA204
プリンタ増設インタフェースボード (PC-9801-94)		PC-CA202*1 PC-CA204
DOS/V対応機 *4	Packard Bell NEC Japan、IBM、富士通、東芝、EPSON、DEC、その他各社	PC-PRCA-01

*1 PC-H98-K05と同等。長さ1.5m。

*2 PC-CA201と同等。長さ1.5m。

*3 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

*4 MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS J5.0/V以上が動作するIBM PC/AT 100%互換機。



チェック

- 一部のコンピュータによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピュータです。お手持ちのコンピュータが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピュータに添付のマニュアルをご覧ください。

用語解説

16 進ダンブ印刷

プリンタが受信したデータを処理せず、そのまま 16 進数で印刷すること。

201PL

NEC のシリアルプリンタ用標準コードのこと。

AppleTalk

アップル社が開発した Macintosh 専用のネットワーク用ソフトウェアまたはプロトコル。本プリンタの場合マルチプロトコル LAN ボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタドライバ「PR2200NW2-21」が必要。

DPI

Dots Per Inch の略。プリンタの解像度などを表す単位。1 インチ当たりのドット数。(→解像度)

EDO

Extended Data Output の略。高速なアクセスを行うメモリ素子の方式。本プリンタのメモリを増設する場合このタイプの増設 RAM サブボードを使用する。

ESC/P

セイコーエプソン社が開発したプリンタを制御する命令 (コマンド) の集まりのこと。

FF

改ページを行うこと。

IPX/SPX

NetWare をネットワーク OS としてインストールしたコンピュータが使用するプロトコル。

IrDA

Infrared Data Association の略。[ポイントアンドビーム] データ転送に関する国際規格で、赤外線接続によるコンピュータおよびプリンタ相互間の通信方式を規定するもの。本プリンタの場合「赤外線通信アダプタ PC-CA291」を接続することにより赤外線通信が可能となる。PrintAgent のような双方向通信はサポートしていない。

LPI

Lines Per Inch の略。1 インチ当たりの行数。

Macintosh

アップル社が開発したパーソナルコンピュータ。Mac OS には、あらかじめ AppleTalk ソフトウェアが組み込まれており、LocalTalk ケーブルシステムや EtherTalk ケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。本プリンタと接続する場合マルチプロトコル LAN ボード「PC-PR-L01」と拡張プリンタドライバ「PR2200NW2-21」が必要。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating System の略。マイクロソフト社が開発した OS。双方向通信ができないため PrintAgent 機能はサポートされないが本プリンタへの印刷は可能。ただし Windows 95、Windows NT4.0/NT3.51 から「MS-DOS プロンプト」や「DOS 互換ボックス」を使って MS-DOS アプリケーションを使っている場合はリモートパネルを使ったプリンタの設定が可能。

NetBEUI

IBM によって開発された小規模 LAN 用のプロトコル。おもに LAN Manager をネットワーク OS にしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワーク OS。プロトコルには IPX/SPX が用いられる。本プリンタの場合マルチプロトコル LAN ボード「PC-PR-L01」か「PC-PR-L02」を装着することで対応可能。

NMPS

NEC MultiWriter Printing System の略。Windows で使用するプリンタの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。次の 3 要素を含む。

プリンタドライバ
PrintAgent
NEC TCP/IP Printing System

NPDL

NEC Printer Description Language の略。NEC プリンタ記述言語。

OHP フィルム

OHP (オーバーヘッドプロジェクタ) 用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。印刷するときは、トレー給紙を用いる。

OS

Operating Systemの略。コンピュータのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウェアを「基本OS」、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがあります。

PrintAgent

NMPS機能の一部で双方向通信を可能にし、印刷状況の確認、プリンタの設定をコンピュータ画面上から実現したソフトウェア。

SET

Sharp Edge Technologyの略。NECのプリンタに採用されている高精細印字機能の一種。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows NT、Windows 95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカ、モデム、プリンタなどの周辺機器とコンピュータの間の接続をすべて同じコネクタとケーブルで統一しようとするためのインタフェース。本プリンタではUSBコネクタを装備しないがUSBプリンタケーブル「PR-CA-U01」を使ってプリンタ装備のセントロニクス仕様標準コネクタとコンピュータのUSBコネクタを結ぶことができる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発したOS。OS自身に通信ソフトウェアを持つためTCP/IPプロトコルを使ってネットワークの構築が可能。さらにNetWare、LAN ManagerなどのネットワークOSを使えばIPX/SPX、NetBEUIプロトコルを使った通信が可能。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOS。本プリンタと通信可能なバージョンはNT4.0、NT3.51でプロトコルにはDLC、TCP/IPを使う。

イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。縦向きと横向きがある。

印刷範囲

プリンタ用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般には設定するという意味であるがここではソフトウェアをコンピュータに組み込むという意味。

インタフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンタの場合、標準のコネクタでセントロニクスデータコンピュータ社に準拠したインタフェースが利用できる。さらにマルチプロトコルLANボードを装着すれば10BASE2、10BASE-T、100BASE-TX、LocalTalkインタフェースが利用できる。

ウォームアップ

プリンタの電源をONにした後、ヒートローラが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。2200X2/2200XE/2000X2では「節電モード」状態になっている場合、ヒータをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともPSWのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能

他の装置（プリンタ）のために開発されたソフトウェアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンタの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。

解像度

プリンタが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す（単位はDPI）。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC（1BH）、FS（1CH）、のように、あとに続くコードと組み合わせる機能を表すコードをいう。

紙づまり

用紙が詰まってプリンタが動作しなくなった状態をいう。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (0DH)、LF (0AH) のように単独で機能を表すコード。

クライアント

ネットワークを介して他のコンピュータ（またはサーバ）にアクセスしている利用者または、利用者のコンピュータ。

クライアント・サーバLAN

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピュータ（サーバ）が共有の資源（ハードディスクやプリンタ）を管理し、接続を許されたコンピュータ（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバ型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピアLAN）

現像ユニット

OPC ドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。EP カートリッジに内蔵されている。

自動給紙

カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピュータからのデータが一定時間なかったとき、プリンタ内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

制御コード

プリンタの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

セントロニクス・インタフェース

セントロニクスデータコンピュータ社が開発したプリンタとコンピュータ間の通信仕様。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンタ用のインタフェース規格として広く使用されている。本プリンタでは標準の36ピン・パラレルコネクタで使用できる。

双方向通信

コンピュータとプリンタとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent 機能を実現するためには必須な条件。コンピュータから印刷データが送られるだけでなく、プリンタからもコンピュータに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には双方向通信可能なプリンタインタフェースを装備したコンピュータであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア

コンピュータやプリンタなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタドライバなどが含まれる。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させる働きをする。

テストページ

プリンタが正常に動作していることを確認するためのもの。

ドライバ

プリンタドライバの項を参照

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段を用いて接続され、ソフトウェアを使って機器（プリンタなど）を共有し、情報を交換できるようにしたコンピュータの集団。

ハードウェア

コンピュータ本体、キーボード、マウス、コンピュータやプリンタなどコンピュータシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。

ピア・ツー・ピアLAN

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバコンピュータを必要とせず、コンピュータどうし、コンピュータとプリンタ間で対等に通信が可能となる。本プリンタをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはマルチプロトコルLANボード「PC-PR-L01」が「PC-PR-L02」が必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。（→クライアント・サーバLAN）

ヒートローラ

定着ユニットにあり、プレッシャローラとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリ

プリンタの電源をOFFにしても記憶した内容が残っているメモリ。

プリンタケーブル

コンピュータとプリンタを接続するケーブル。インタフェースケーブルとも呼ばれる。

プリンタドライバ

コンピュータとプリンタの間のやり取りを仲介するプログラム。インタフェースやフォントの指定、インストールされたプリンタの機能などの情報を、Windowsに提供する。

ページ記述言語

1 ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンタ

ページ単位で印刷を行うプリンタ。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

メニューモード

プリンタの設定をプリンタの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メモリ

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリスイッチ

不揮発性メモリを利用してプリンタのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン/オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットの一つ。

リブレード

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷したデータを、再度印刷したいときに短時間に印刷出力を可能にした本プリンタの印刷システム。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの内紙1000枚当たりの重さをいう（本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg）。

索引

英数字

136 桁モード	[2/2] 197
8/7ビットモード	[2/2] 196
A4 ポートレート桁数	[2/2] 197
Administrators	[2/2] 51, 101
Adobe Acrobat Reader	[2/2] iv
B4 → A4 縮小率	[2/2] 194
BARCODE	[2/2] iv
CODE39	[2/2] iv
CPU	[1/2] 129, 131
CR コード	[2/2] 203
DC1, DC3 コード	[2/2] 196
DomainAdmins	[2/2] 51, 101
DOS AP 用設定	[2/2] 195
EP カートリッジ	[1/2] 14
～の交換	[1/2] 101
～の交換手順	[1/2] 103
～の寿命	[1/2] 104
～の廃棄と購入	[1/2] 102
～を取り付ける	[1/2] 20
ESC/P	[1/2] 40
ESC/P エミュレーション	[2/2] 171
ESCc1 コード	[2/2] 202
FDCONV	[2/2] iv
FF コード	[2/2] 202
FontAvenue	[2/2] 163
IBM DOS J5.0/V	[2/2] 166
Industrial	[2/2] iv
JAN	[2/2] iv
JIS78 コード	[2/2] 89
LAN ボード	
～使用時の PSW 表示	[2/2] 190
LAN ボード用スロット	[1/2] 19
MANUAL	[2/2] iv
MS-DOS 環境	[2/2] 170
MW1400X	[2/2] iv
MW2000X2	[2/2] iv
MW2200X2	[2/2] iv
MW2200XE	[2/2] iv
NEC TCP/IP Printing System	[2/2] 4
NEC サービス網一覧表	[1/2] 14
NetBEUI プロトコル	[2/2] 3
NMPS ソフトウェア	[2/2] 1, 51, 101, 149
～をインストールする	[2/2] 5
NPD L	[1/2] iv, 40
NPD L (Level 2)	[2/2] 1
NPD L (Level 2) リファレンスマニュアル	[1/2] 63
NW-7	[2/2] iv
OCR 文字	[2/2] 97, 146
OHP	[1/2] 40
OHP フィルム	[1/2] 133
OK ボタン	[2/2] 40, 86, 137, 158
OS	[1/2] 130, 132

PC-PR201 系、101 系プリンタ	[2/2] 170
PC-PTOS 環境	[2/2] 172
PrintAgent	[1/2] iv, [2/2] 1, 3, 175
～が正しく動作しない	[2/2] 204
～の起動	[2/2] 175
PSW	[2/2] 50, 99, 148, 178
～のプロパティ	[2/2] 188
RAM	[1/2] 130, 131
RGB ガンマ	[2/2] 96, 145
RS-232C	[2/2] 199
SET	[1/2] vi
SET 機能	[2/2] 47, 98, 147, 160, 198
TCP/IP プロトコル	[2/2] 3
TrueType	[2/2] 163
TrueType フォント	[2/2] 46, 89, 97, 138, 146
USB プリンタケーブル	[1/2] 63, 67
Window 95 (日本語版)	[2/2] 5
Windows/DOS AP 用設定	[2/2] 193
Windows 95 OSR2 (日本語版)	[2/2] 27
Windows NT3.5 (日本語版)	[2/2] 169
Windows NT3.51 (日本語版)	[2/2] 101
Windows NT4.0 (日本語版)	[2/2] 51
X フリップ	[2/2] 96, 145
Y フリップ	[2/2] 96, 145

ア

明るさ	[2/2] 95, 144
アツガミ	[1/2] 40
アニメーション	[2/2] 186
アラーム表示が出ているときは	[1/2] 120
アンインストール	[2/2] 175
アンインストール	[2/2] 29, 74, 126, 152
PrintAgent の～	[2/2] 30, 75, 127
プリンタドライバの～	[2/2] 29, 74, 126, 152
安全上のご注意	[1/2] 2

イ

異常	
印刷に～が見られるとき	[1/2] 116
色	[2/2] 96, 145
印刷	
～一時停止	[2/2] 183
～が薄い	[1/2] 116
～がおかしいときは	[1/2] 111
～再開	[2/2] 183
～されない	[1/2] 117
～速度	[1/2] 129, 131
～中止	[2/2] 183
～できない	[1/2] 118
～の設定	[2/2] 33
～方向	[1/2] 40
～方式	[1/2] 129
～ログ出力機能	[1/2] v
印刷位置調整	[2/2] 197
印刷位置調整量	[2/2] 197
印刷開始コード	[2/2] 203
印刷開始ページ	[2/2] 44, 94, 143, 162

印刷設定ダイアログボックス	[2/2]	159
印刷濃度	[2/2]	47, 147, 160, 198
印刷の向き	[2/2]	42, 82, 141, 159
印刷範囲	[2/2]	184
従来互換の～	[2/2]	46, 88, 139, 160
印刷品質	[2/2]	198
印刷品質シート	[2/2]	47, 98, 147
印刷部数	[2/2]	196
印刷ログ出力機能	[2/2]	217
印刷ログファイル	[2/2]	218
インストール	[2/2]	5
～NMPSソフトウェアの	[2/2]	51
ネットワーククライアントへの～	[2/2]	73
ネットワークサーバの～準備	[2/2]	72
プリンタドライバを～	[2/2]	149
NMPSソフトウェアを～	[2/2]	101
インストール方法		
～の選択	[2/2]	6, 52, 102
インタフェース	[1/2]	130, 131

ウ

ウィンドウ	[2/2]	186
ウォームアップ	[2/2]	180
ウォームアップ開始	[2/2]	50, 99, 148
運搬		
プリンタを～	[1/2]	38

エ

エミュレーション	[2/2]	196
エラー表示	[2/2]	165, 179

オ

置き換えるフォント	[2/2]	47, 89, 139
お客様登録申込書	[1/2]	7, 14
オプション	[1/2]	63
オプション装置	[2/2]	50, 91, 140
オプションダイアログボックス	[2/2]	160
音声メッセージ	[2/2]	186

カ

海外でのご使用	[1/2]	ii
解像度	[2/2]	45, 95, 144, 159
解像度指定	[2/2]	198
快適高速印刷	[1/2]	iv
拡大	[2/2]	42, 92, 141, 159
各部の名称	[1/2]	19
各種ネットワーク OS	[1/2]	iv
カスタマバーコード	[2/2]	iv
画像面積比 5%の印刷例	[1/2]	104
片面	[2/2]	93, 142
紙づまり		
給紙部の～	[1/2]	124
～処理後の確認	[1/2]	128

トレー給紙で～	[1/2]	125
～の処理	[1/2]	122
～の発生箇所	[1/2]	123
排出部の～	[1/2]	127
プリンタ内部の～	[1/2]	126
ホッパ給紙で～	[1/2]	124
両面印刷ユニット部の～	[1/2]	128
紙づまりのときは	[1/2]	122
空にするボタン	[2/2]	190
環境	[1/2]	130, 131
漢字アウトラインフォント	[1/2]	63
漢字アウトラインフォントカード*	[1/2]	67, 91
テスト印刷	[1/2]	92
取り付け	[1/2]	91
取り外し	[1/2]	94
～を使って印刷するには	[1/2]	93
管理銘板	[1/2]	8

キ

記号	[1/2]	vii, [2/2] vi
疑似 OCR-B フォント	[2/2]	47, 97, 139, 146, 164
輝度	[2/2]	90, 139
キャノピー	[1/2]	14, 19
キャンセルボタン	[2/2]	40, 86, 137, 158
給紙装置	[2/2]	181
給紙方法	[2/2]	43, 92, 141, 159, 196
教科書体-M	[1/2]	93, [2/2] 49, 91, 140
共有シート	[2/2]	42, 88
共有プリンタ	[2/2]	13, 57, 108, 189

ク

国別文字セット	[2/2]	194
クライアント	[2/2]	3
暗い色	[2/2]	96, 145
グラフィックスシート	[2/2]	45, 95, 144
グラフィックスダイアログボックス	[2/2]	162
グラフィックモード	[2/2]	196
クリーニングキット	[1/2]	105
クリップ機能	[1/2]	48, [2/2] 202
グレー印刷ができない	[1/2]	117
グレイスケールの網点	[2/2]	46, 95, 144, 163
黒 / 白の混合率	[2/2]	96, 145

ケ

ケーブルクランプ	[1/2]	14, 19
警告ラベル	[1/2]	1
契約保守	[1/2]	9

コ

更新ボタン	[2/2]	40
構成情報		
プリンタの～	[2/2]	179
購入		
EP カートリッジの～	[1/2]	102

誤差拡散法	[2/2] 45, 162
ゴシック	[2/2] 46, 89, 138
ゴシック体-M	[2/2] 163
固定用部材	[1/2] 17
コピー枚数	[2/2] 43, 93, 142, 159
コメント	[2/2] 164
コントラスト	[2/2] 95, 144
コンピュータ	
～に接続する	[1/2] 36
コンボボックス	[2/2] 40, 158

サ

サーバ	[2/2] 3
最大化	[2/2] 96, 145
削除	
プリンタドライバの～	[2/2] 29, 74, 126, 152

シ

システム起動	[2/2] 175
システムメニュー	[2/2] 175, 187
自動起動	[2/2] 188, 189
自動縮小	[2/2] 193
自動排出時間	[2/2] 200
自動復帰改行	[2/2] 202
修理	[1/2] 8
重量	[1/2] 130, 132
縮小	[2/2] 42, 92, 141, 159
縮小／拡大モード	[1/2] 40
受信パッファ	[2/2] 195
出張修理	[1/2] 9
仕様	[1/2] 129
詳細シート	[2/2] 41
照度	[2/2] 144
消費電力	[1/2] 130, 131
情報サービス	[1/2] 7
情報シート	[2/2] 41
消耗品寿命	[1/2] 130, 132
ジョブセパレート	[2/2] 196
ジョブセパレート機能	
.....	[1/2] v, [2/2] 43, 93, 142, 160, 210
ジョブタイムアウト	[2/2] 199
白く抜ける	[1/2] 117
(縦線の形状)	[1/2] 118
白黒	
～で印刷	[2/2] 97, 146, 161
白黒で印刷	[2/2] 47
しわ	[1/2] 116
新郵便番号	[2/2] iv

ス

スイッチ	[1/2] 42
印刷可～	[1/2] 42
印刷方向～	[1/2] 44
▲	[1/2] 45
▼	[1/2] 45

▶	[1/2] 45
◀	[1/2] 45
シフト～	[1/2] 46
縮小～	[1/2] 44
ストップ	[1/2] 43
設定変更～	[1/2] 45
トレイ	[1/2] 43
排出～	[1/2] 46
ホッパ～	[1/2] 44
メニュー～	[1/2] 43
メニュー終了～	[1/2] 45
リセット～	[1/2] 46
両面～	[1/2] 43
瑞筆行書体-M	[1/2] 93, [2/2] 49, 91, 140
スケール	[2/2] 97, 145
スケジュールシート	[2/2] 89
スタートボタン	[2/2] 39
スタッカ	[1/2] 19
スタッカ開閉レバー	[1/2] 19
スタック容量	[1/2] 129, 131
ステータス印刷	
(増設ホッパ)	[1/2] 74
ステータス情報エリア	[2/2] 178, 179
ステータスパー	[2/2] 178, 185, 191
ステータスヘルプボタン	[2/2] 178
スプールの設定	[2/2] 41
スプールファイル	[2/2] 184
～を削除	[2/2] 184
スライドバー	[2/2] 40
寸法	[1/2] 130, 131

セ

清掃	[1/2] 105
～箇所と時期	[1/2] 105
～手順	[1/2] 106
製品寿命	[1/2] 130, 132
赤外線通信 (IrDA)	[2/2] 177
赤外線通信インタフェースアダプタ	[1/2] 63, 65, 82
接続例	[1/2] 83
動作環境	[1/2] 82
取り付け	[1/2] 83
取り外し	[1/2] 84
赤外線通信インタフェースボード	[1/2] 63, 65, 79
接続例	[1/2] 80
動作環境	[1/2] 79
取り付け	[1/2] 80
取り外し	[1/2] 81
セキュリティシート	[2/2] 88
設置	
～してはいけない場所	[1/2] 13
～に必要なスペース	[1/2] 12
～に必要な高さ	[1/2] 68
設定	
印刷の～	[2/2] 78, 129, 154
印刷の詳細～	[2/2] 35, 80, 131, 156
～の詳細	[2/2] 159
プリンタドライバから～	[2/2] 133

用紙の高度な～	[2/2] 196
設定変更	
リモートパネルの～	[2/2] 192
接続状態	[2/2] 181
節電機能	[1/2] vi
節電状態	[2/2] 180
節電モード	[2/2] 193
全角ゼロ	[2/2] 194
全角フォント	[2/2] 198
選択	
プリンタを～	[2/2] 34, 79, 130, 155, 169
全般シート	[2/2] 87

ソ

騒音	[1/2] 130, 131
操作パネル	[1/2] 19, 39
～表示	[2/2] 48, 165
増設RAM サポート	[1/2] 63, 66, 95
テスト印刷	[1/2] 96
取り付け	[1/2] 95
取り外し	[1/2] 97
増設カセット	[1/2] 77
取り付け	[1/2] 77
取り外し	[1/2] 78
増設カセット (250)	[1/2] 63, 64
増設カセット (500)	[1/2] 63, 64
増設ホッパ	[2/2] 50, 91, 140
取り外し	[1/2] 75
増設ホッパ (250)	[1/2] 63, 64
増設ホッパ (500)	[1/2] 63, 64
測光用の光	[2/2] 95
その他	[2/2] 202
ソフトウェアのご使用条件	[1/2] 14

タ

ダイアログボックス	
～の使い方	[2/2] 40, 86, 137, 158
～の開き方	[2/2] 83, 133, 156
縦置き	[1/2] 27
縦線や横線が入る	[1/2] 117
短辺綴じ	[2/2] 93, 142, 200

チ

チェックボックス	[2/2] 40, 86, 137
中央合わせ	[2/2] 197
丁合い	[2/2] 42, 92, 141
長辺綴じ	[2/2] 93, 142, 200

ツ

ツールバー	[2/2] 185
追加インストール	[2/2] 15, 20, 58, 63, 109, 115
通常表示	[2/2] 179
通知形式	[2/2] 185

通知表示	[2/2] 179
ツリービュー	[2/2] 191

テ

データ形式	[1/2] 130, 131
ディザリング	[2/2] 45, 162
ディスク領域	[2/2] 190
ディスプレイ	[1/2] 40
ディレクトリ	[2/2] 164
テキストボックス	[2/2] 158
テスト印刷	
(増設ホッパ)	[1/2] 74
～をする	[1/2] 33
テストパターン	[2/2] 96, 145
デバイスガンマ	[2/2] 90, 139
デバイスプロパティ	[2/2] 82, 87, 133, 138
デフォルト	[2/2] 164
電源	[1/2] 130, 131
電源コード	[1/2] 14
～を接続する	[1/2] 32
電源コネクタ	[1/2] 19
電源スイッチ	[1/2] 19
電源の瞬時電圧低下対策	[1/2] ii

ト

動作環境	[2/2] 200
ドキュメント情報	[2/2] 185
ドキュメント情報エリア	[2/2] 178, 182
ドキュメント数	[2/2] 190
ドキュメントプロパティ	[2/2] 82, 92, 133, 141
特殊文字	[2/2] 164
特長	[1/2] iv
とじしろ	[2/2] 200
綴じしろ	[2/2] 44, 93, 143, 162
とじしろ付加サイズ	[2/2] 201
綴じ方向	[2/2] 44, 93, 142, 161
閉じるボタン	[2/2] 40, 86, 137
ドット間隔	[1/2] 129, 131
トナー節約機能	[1/2] vi, [2/2] 47, 147, 160
トナー節約モード	[2/2] 98, 198
ドラム保護シャッタ	[1/2] 20
トレー	[1/2] 19, 40
～の用紙サイズ	[2/2] 193
～の用紙の種類	[2/2] 194

ニ

にじむ	[1/2] 116
日本語ページプリンタ言語 NPDL (Level 2)	
リファレンスマニュアル	[1/2] 67

ネ

ネットワーク環境	[2/2] 3
ネットワーク管理者	[2/2] 123

ネットワーククライアント	
～へのインストール	[2/2] 125
ネットワークサーバ	
～のインストール準備	[2/2] 124
ネットワーク接続	[2/2] 181

ノ

濃淡	[2/2] 96, 145
濃度	[2/2] 45, 162

ハ

バージョン情報	[2/2] 43, 93, 142, 160
ハードディスク容量	[2/2] v
ハーフトーン	[2/2] 90, 139
ハーフトーンカラー	[2/2] 95, 144
ハーフトーンセットアップ	[2/2] 90
廃棄	
EPカートリッジの～	[1/2] 102
プリンタを～	[1/2] 38
はがき	[1/2] 133
白紙を出力	[2/2] 202
箱の中身を確認する	[1/2] 14
パターン	[2/2] 45, 162
パレット	[2/2] 96, 145
半角ゼロ	[2/2] 194
半角フォント	[2/2] 198
反転	[2/2] 96, 145

ヒ

ピア・ツー・ピア	[2/2] 4
引取修理	[1/2] 9
ピクセル	[2/2] 90, 139
ビジュアル情報	[2/2] 185
ビジュアル情報エリア	[2/2] 178, 181
左端あわせ	[2/2] 197
ビットマップ	[2/2] 144
～で印刷	[2/2] 95
～を低解像度で印刷	[2/2] 45, 163
描画方法	[2/2] 45
表示	[2/2] 96, 145
表示内容	[2/2] 183
標準に戻すボタン	[2/2] 40, 86

フ

封筒	[1/2] 133
フォーム印刷	[2/2] 48, 98, 147, 161, 164
フォームシート	[2/2] 48, 98, 147
フォーム設定ダイアログボックス	[2/2] 164
フォーム登録	[2/2] 195
フォームファイル	[2/2] 164
フォント	[1/2] 130, 132, [2/2] 197
～の置き換え	[2/2] 89, 97, 139, 146, 164

フォントカード	[2/2] 46, 49, 89, 91, 97, 138, 140, 146, 159
フォントカードガイド	[1/2] 14
フォントカード用スロット	[1/2] 19
フォントシート	[2/2] 46, 97, 146
フォント置換設定ダイアログボックス	[2/2] 163
プザー	[2/2] 193
部数	[2/2] 43, 93, 142, 159, 184
フツウシ	[1/2] 40
普通紙	[1/2] 133
ブラシパターン	[2/2] 45, 95, 144, 162
プリンタ	
通常使う～	[2/2] 34
～の寿命	[1/2] 10
～の設定	[1/2] 71
増設ホッパ	[1/2] 71
～を選択する	[2/2] 34, 79, 130, 155, 169
プリンタステータスウィンドウ	[2/2] 2, 175, 178
プリンタソフトウェア CD-ROM	[1/2] 14, [2/2] iii
プリンタドライバ	
～の削除	[2/2] 29, 74, 126, 152
プリンタの構成シート	[2/2] 49, 91, 140
プリンタの状態シート	[2/2] 50, 100, 148
プリンタの設定シート	[2/2] 89, 138
プリンタ名	[2/2] 178
プロッタエミュレーションボード	
取り外し	[1/2] 87
プロッタ	[1/2] 40
プロッタエミュレーションボード	[1/2] 63, 65, 85
テスト印刷	[1/2] 87
取り付け	[1/2] 85
プロッタボード用スロット	[1/2] 19
フロッピーディスク	[2/2] v
プロパティ	
プリンタの～	[2/2] 38
プロパティダイアログボックス	
～の開き方	[2/2] 38
フロントインタフェースコネクタ	[1/2] 19
フロントインタフェースコネクタカバー	[1/2] 19
フロント開閉レバー	[1/2] 19
フロントカバー	[1/2] 19
フロントポート	[2/2] 199

ヘ

ページプロテクト	[2/2] 194
ペーパーサポート	[1/2] 19
ヘルプ	[2/2] 175, 186
ヘルプボタン	[2/2] 40, 86, 137, 158
変更ボタン	[2/2] 190

ホ

ポート	[1/2] 40
ポートエミュレーション	[2/2] 199
ポートシート	[2/2] 87
ポートレート	[2/2] 42, 92, 141, 159, 201
保守	[1/2] 101
～サービス	[1/2] 9

補修用部品	[1/2] 10
保証	[1/2] 7
保証書	[1/2] 14
補助機能シート	[2/2] 48
補助機能ダイアログボックス	[2/2] 165
ホッパ	[1/2] 19, 40
～の切り換え	[1/2] 72
～の用紙サイズ	[2/2] 194
ホッパの種類	[2/2] 193

マ

真っ黒	[1/2] 117
丸ゴシック体-M	[1/2] 92, [2/2] 49, 91, 140
マルチプロトコルLANボード	[1/2] 63, 65, 66, 88
取り付け	[1/2] 89
取り外し	[1/2] 90

ミ

明朝	[2/2] 46, 89, 138
明朝体-L	[2/2] 163

メ

メッセージ	[2/2] 178
メニュー&ツールバー	[2/2] 178
メニューモード	
～設定項目一覧	[1/2] 48
～の設定変更のしかた	[1/2] 47
メモリ	[2/2] 49, 91, 140
メモリアーバ	[2/2] 200
メモリ増設	[2/2] 214
メモリ割り当て	[2/2] 195

モ

文字キャッシュ	[2/2] 195
文字セット	[2/2] 198
文字列	
指定～	[2/2] 48, 165
表示～	[2/2] 48, 165
持込修理	[1/2] 9

ユ

ユーザズマニュアル	[1/2] 14
～の再購入	[1/2] 10
ユーザ名	[2/2] 165
有効期限	[2/2] 190

ヨ

用紙	[2/2] 195
～が汚れている	[1/2] 116
～の裏が汚れる	[1/2] 117

～のセット	[1/2] 70
～のセット方向	[1/2] 27
～をセットする	[1/2] 23
用紙カセット	[1/2] 14, 19
用紙サイズ	[1/2] 40, [2/2] 42, 92, 141, 159
用紙残量	[2/2] 181
用紙残量インジケータ	[2/2] 178
用紙残量表示	[2/2] 220
用紙シート	[2/2] 42, 92, 141
用紙種類	[2/2] 43, 92, 141, 159
用紙方向	[2/2] 196
用紙容量	[1/2] 129, 131
横置き	[1/2] 27

ラ

ラジオボタン	[2/2] 40, 158
ラベル紙	[1/2] 133
ランド	[1/2] 40
ランドスケープ	[2/2] 42, 92, 141, 159, 201
ランプ	[1/2] 41
印刷可～	[1/2] 41
データ～	[1/2] 41
電源～	[1/2] 41
トナー～	[1/2] 41
両面～	[1/2] 41

リ

リアインタフェースコネクタ	[1/2] 19
リアカバー	[1/2] 19
リアポート	[2/2] 199
リストボックス	[2/2] 86, 137
リセットコード	[2/2] 202
リプリント	[2/2] 184
リプリント機能	[1/2] v, [2/2] 43, 93, 142, 190, 207
リモートパネル	[2/2] 2
～での設定変更	[2/2] 50, 99, 148, 175, 191, 192
両面印刷	[1/2] v, [2/2] 43, 93, 142, 161, 200
両面印刷カバー	[1/2] 19
両面印刷機能	[2/2] 214
両面印刷ユニット	[1/2] 63, 67, 98, [2/2] 50, 91, 140
取り付け	[1/2] 98
両面インジケータ	[2/2] 178
リレー給紙	[1/2] vi, [2/2] 193

レ

レイアウトシート	[2/2] 43, 93, 142
レイアウトダイアログボックス	[2/2] 161
レフトマージン初期設定	[2/2] 197
レフトマージン量	[2/2] 197

ロ

ローカル接続	[2/2] 181
--------------	-----------